
**「第２次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）」
男女共同参画に関する意識調査報告書
【市民アンケート】**

平成３０年１月
香川県 さぬき市

～ 目 次 ～

I 調査概要	1
II 回答者属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 同居世帯の構成	4
4 同居家族の構成	4
5 婚姻の状況	5
6 共働きの状況	6
7 職業	6
III 調査結果	7
【1】男女平等について	7
1 男女の平等意識	7
2 取組に対する満足度	12
【2】職業について	16
1 進路や職業選択時の性別意識	16
2 女性の働きやすさ	18
3 ライフステージの節目での働き方	19
4 仕事をやめた理由	20
5 望ましい女性の働き方	21
6 育児休業・介護休業の取得状況	23
7 日常生活に対する考え方（現実と理想）	25
8 働きやすい社会環境をめざす取組	27
【3】家庭生活について	29
1 家庭生活に対する考え方	29
2 望ましい子どもの育て方	33
3 家庭生活の役割分担（現実）	36
4 家庭生活の役割分担（理想）	40
【4】社会参加について	45
1 地域活動への参加状況	45
2 地域活動に参加していない理由	49
3 防災における女性活躍の取組	52
【5】男女間の暴力について	53
1 ハラスメントの経験	53
2 DVの相談先	59
3 相談しなかった理由	61
4 DV防止に求める取組	63

【6】男女共同参画社会の形成について	66
1 用語の認知度	66
2 さぬき市に期待する取組	69
【7】その他	72
1 自由意見・要望	72
資料1 集計表	82
資料2 調査票	100

I 調査概要

【調査目的】

「第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）」の策定に当たり、市民の男女共同参画に関する意識や実態、問題点や意見等を調査し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布～郵送回収

【調査期間】

2017年（平成29年）8月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 791件

有効回収率 ----- 39.6%

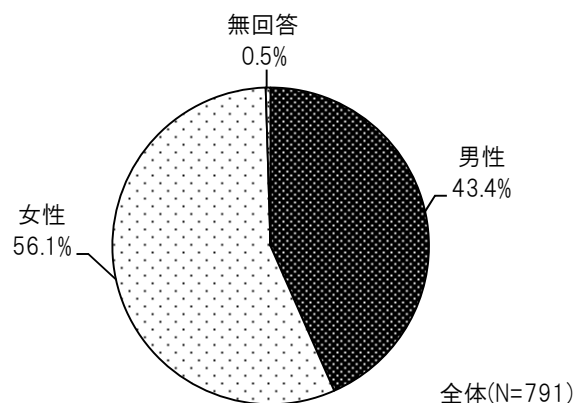
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、平成20年度及び24年度に実施された、同調査との比較を行っている（時系列推移）。その際、図表等の表記は平成20年度調査を「前々回（H20）」、平成24年度調査を「前回（H24）」と略記している。また、「香川県県政世論調査（平成28年6月実施）」（図表等では「香川県」と表記）及び国の「男女共同参画社会に関する世論調査（平成28年9月実施）」（図表等では「国」と表記）との比較を行っている。
- (7) 「その他」については、比較的割合が高いものについて回答例を表記している。
- (8) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者属性

1 性別

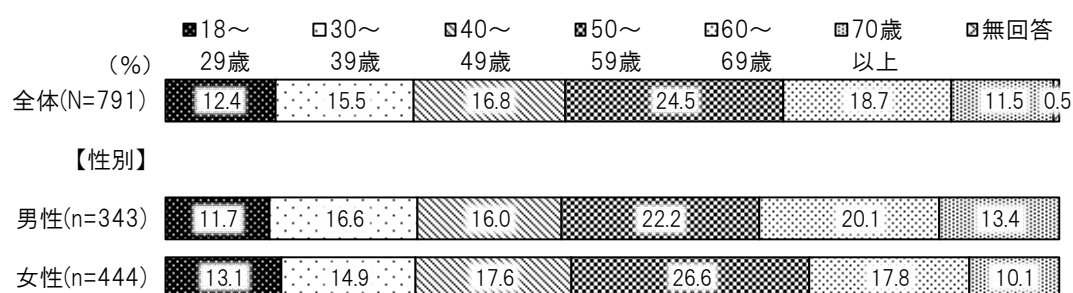
回答者の性別構成比は、「男性」が 43.4%、「女性」が 56.1%と、女性の割合がやや高い。



2 年齢

年齢別構成は、「50～59 歳」が 24.5%と最も高く、次いで「60～69 歳」(18.7%)、「40～49 歳」(16.8%) の順となっており、『50 歳以上 (合計)』で全体の過半数 (54.7%) を占めている。

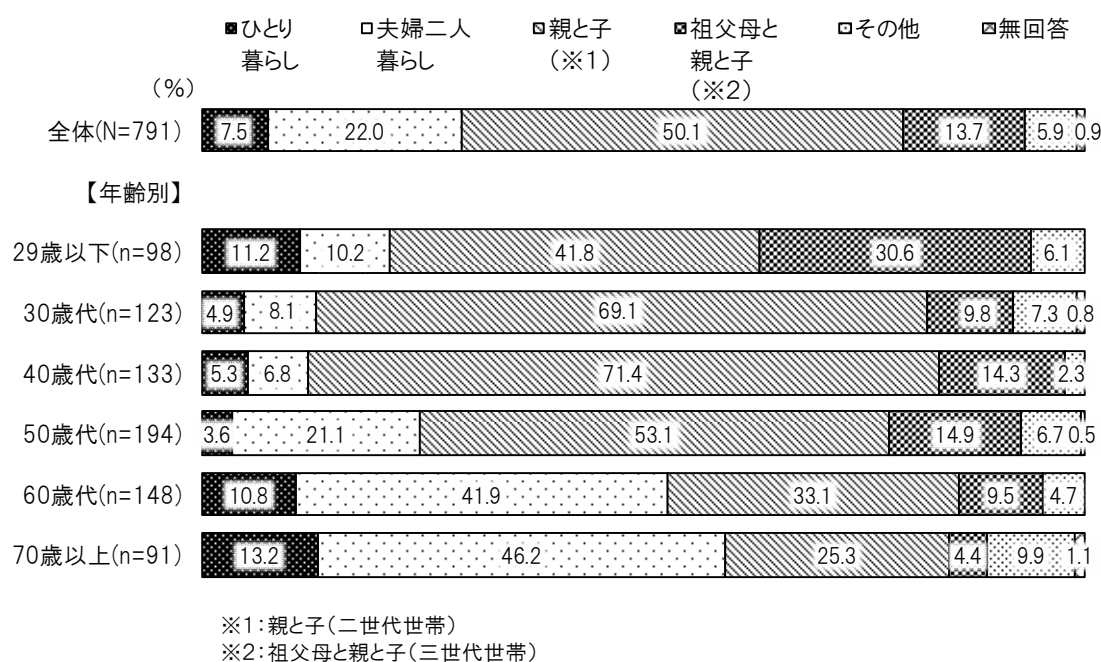
性別では、女性は男性に比べ「50～59 歳」の割合がやや高いものの、大きな差はみられない。



3 同居世帯の構成

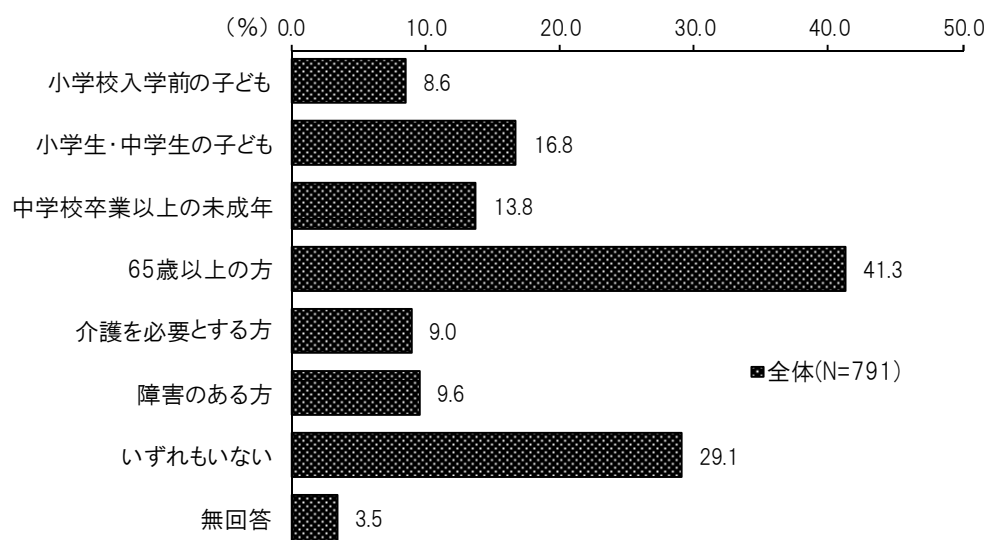
同居している家族構成については、「親と子（二世代世帯）」の割合が半数（50.1％）を占め最も高く、次いで「夫婦二人暮らし」（22.0％）、「祖父母と親と子（三世代世帯）」（13.7％）が続いている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「夫婦二人暮らし」の割合が増える傾向にあり、29歳以下では「祖父母と親と子（三世代世帯）」の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。



4 同居家族の構成

同居している家族については、「65歳以上の方」の割合が約4割（41.3％）を占め最も高く、次いで「小学生・中学生の子ども」（16.8％）、「中学校卒業以上の未成年」（13.8％）が続いている。また、約3割（29.1％）が「いずれもない」と回答している。

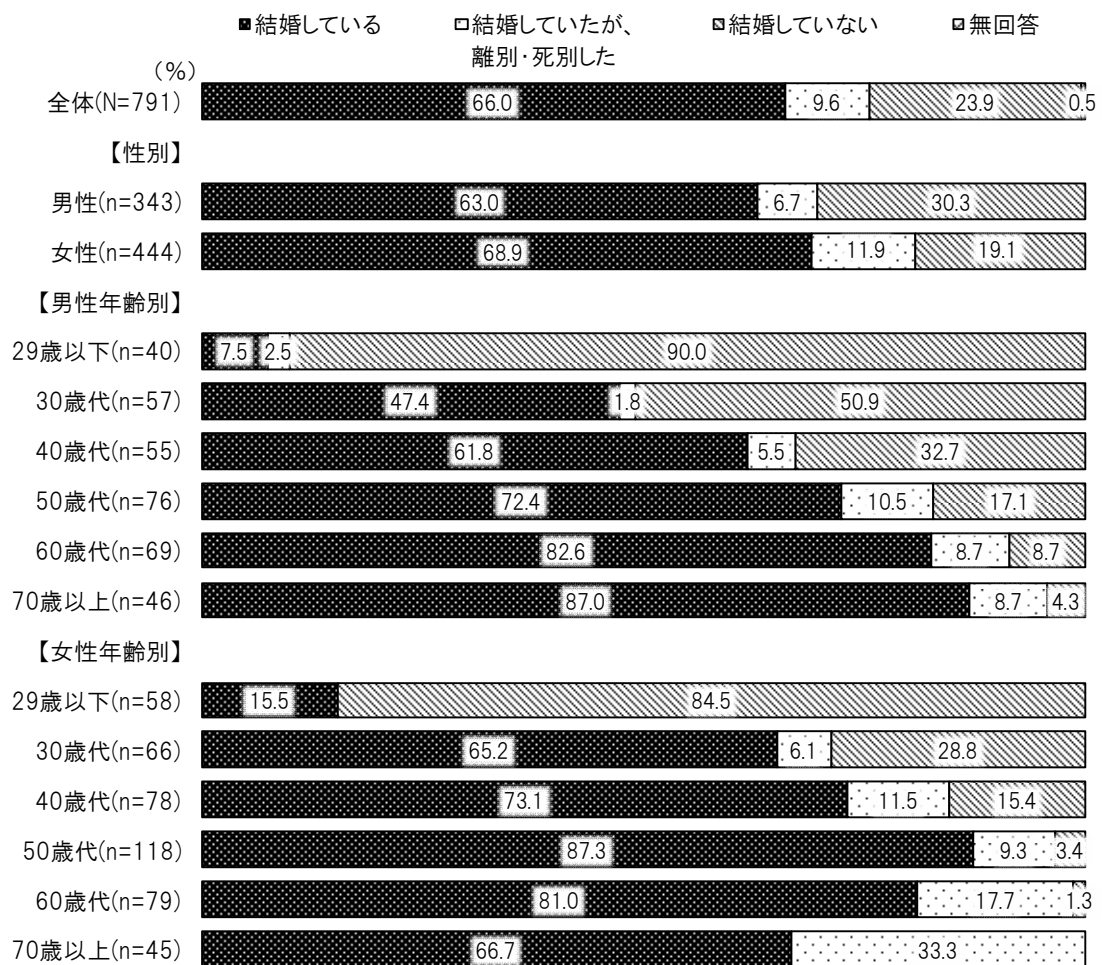


5 婚姻の状況

未婚については、「結婚している」割合が6割以上（66.0%）を占め最も高く、「結婚していない」は23.9%であった。また、約1割（9.6%）が「結婚していたが、離別・死別した」と回答している。

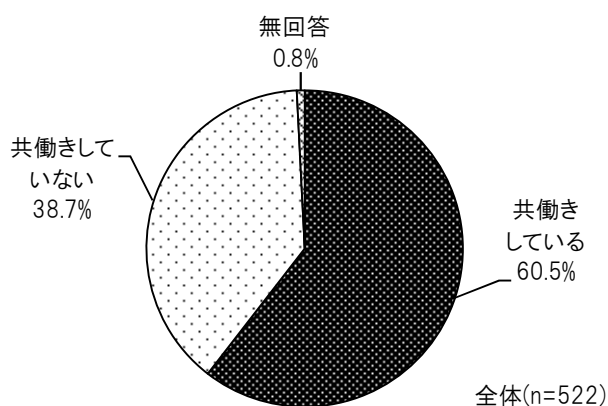
性別では、男性は「結婚していない」が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「結婚している」「結婚していたが、離別・死別した」がやや高くなっている。

年齢別では、男女ともに29歳以下は「結婚していない」が大半を占めている。また、男性は年齢が上がるほど「結婚している」が増える傾向にあり、女性は60歳以上で「結婚していたが、離別・死別した」の割合が増える傾向にある。



6 共働きの状況

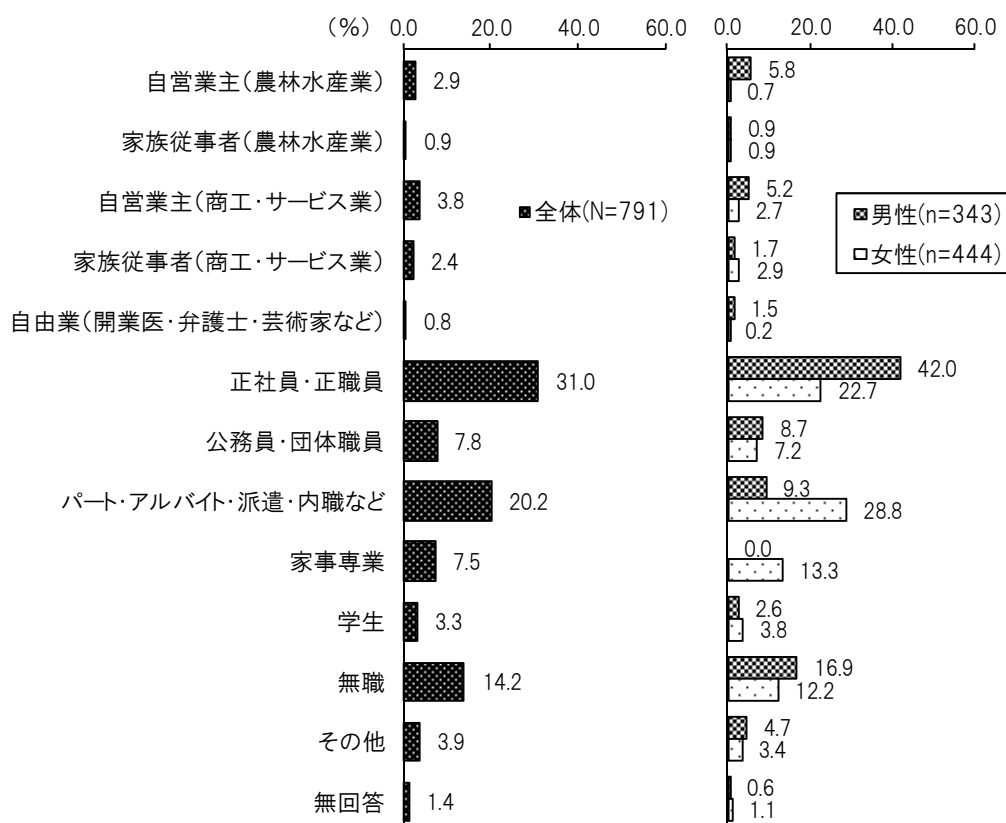
共働きの有無については、「共働きしている」が60.5%、「共働きしていない」が38.7%と、およそ6：4に近い割合となっている。



7 職業

職業別構成については、「正社員・正職員」の割合が約3割（31.0%）を占め最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣・内職など」（20.2%）、「無職」（14.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「正社員・正職員」「自営業主（農林水産業）」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣・内職など」「家事専業」などで男性を大きく上回っている。



Ⅲ 調査結果

【1】男女平等について

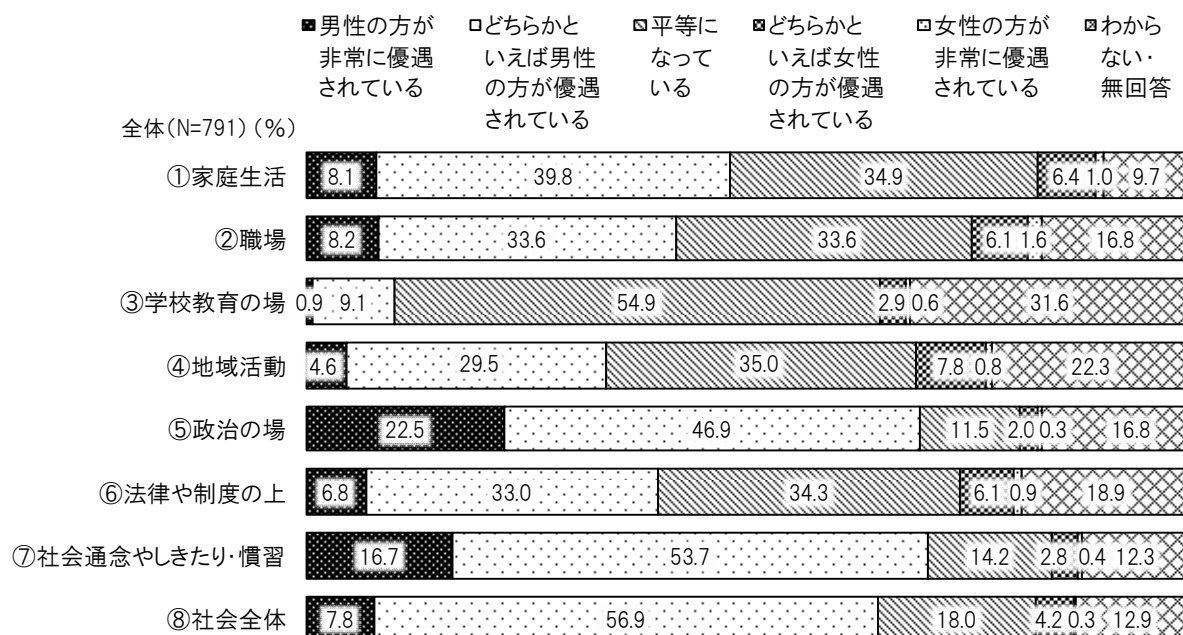
1 男女の平等意識

問8 あなたは、次の分野で、男女は平等になっていると思いますか。

①から⑧までの項目についてお答えください。（○印1つつつ）

男女の地位の平等意識については、全ての分野において、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）の割合が『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計）の割合を上回っている。特に、「⑦社会通念やしきたり・慣習」（70.4%）、「⑤政治の場」（69.4%）、「⑧社会全体」（64.7%）で『男性優遇』の割合が高くなっている。

一方、「平等になっている」割合が高い分野としては、「③学校教育の場」（54.9%）が最も高く、次いで「④地域活動」（35.0%）、「①家庭生活」（34.9%）、「⑥法律や制度の上」（34.3%）、「②職場」（33.6%）があげられる。

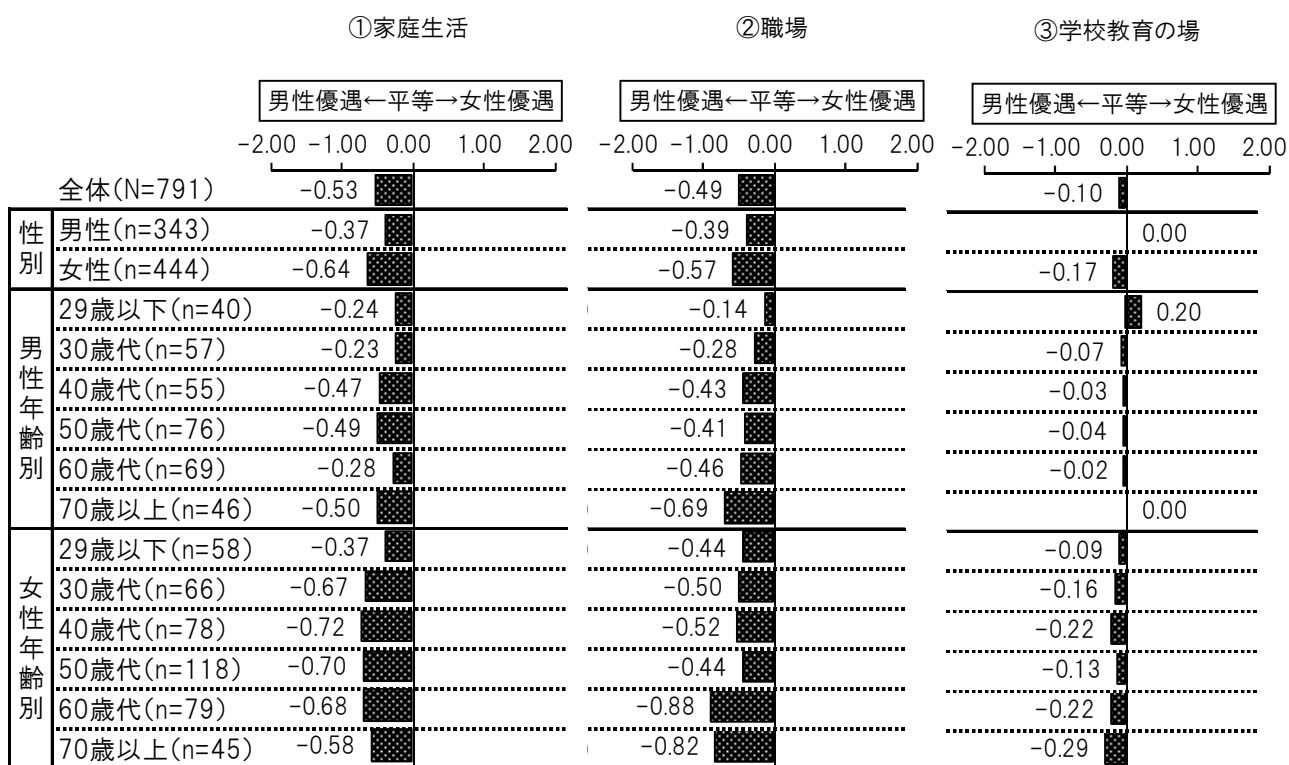


平均評定値による属性別傾向をみると、性別では、全ての分野において女性で『男性優遇』の意識が高くなっている。

性年齢別では、男性の 29 歳以下の年齢層において「②職場」「③学校教育の場」「④地域活動」「⑦社会通念やしきたり・慣習」などの分野で『平等』あるいは『女性優遇』意識が高くなっている。一方、女性の 40～60 歳代の年齢層では、特に「④地域活動」で『男性優遇』意識が高く、女性の 60 歳代以上の年齢層では「②職場」の分野で『男性優遇』意識が高くなっている。

◆平均評定値による属性別傾向◆

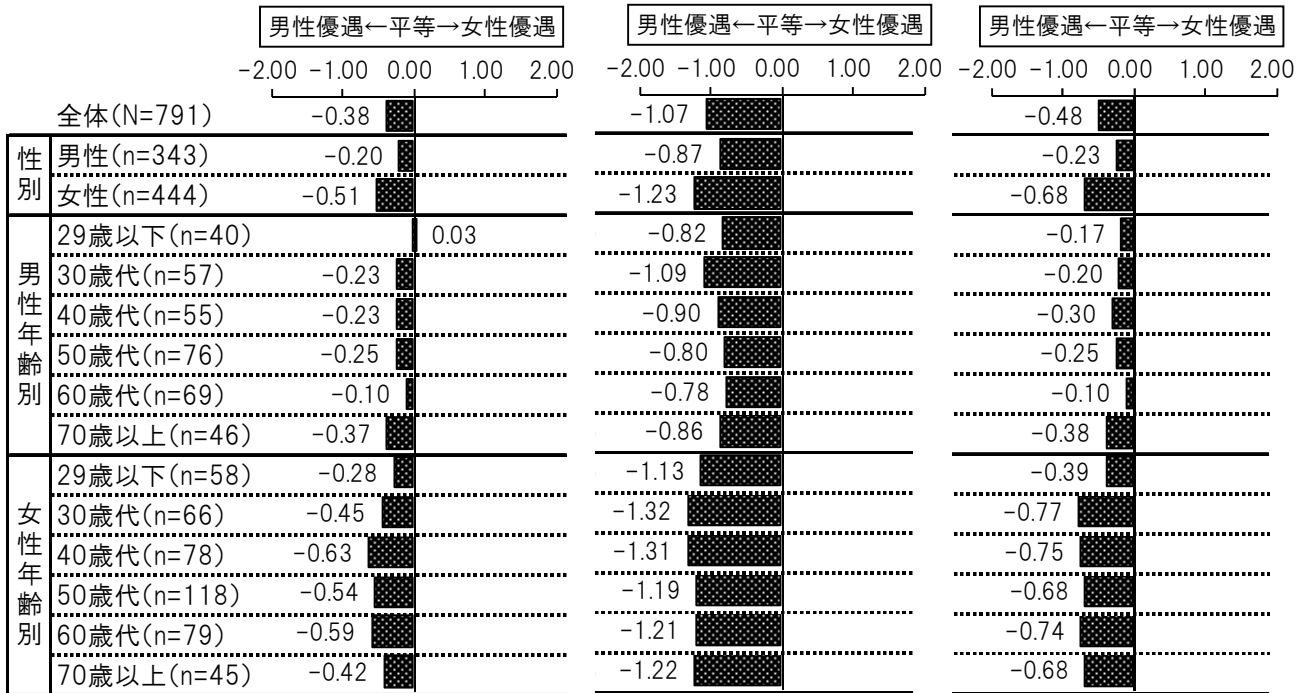
平均評定値とは、「男性の方が非常に優遇されている」に－2点、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」に－1点、「平等」に0点、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」に＋1点、「女性の方が非常に優遇されている」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2に近いほど男性優遇、＋2に近いほど女性優遇、0に近いほど平等を示す指標である。また、この数値はあくまでも「統計上の指標」であり、マイナス、プラスによって男女の優劣を判定するものではない。



④地域活動

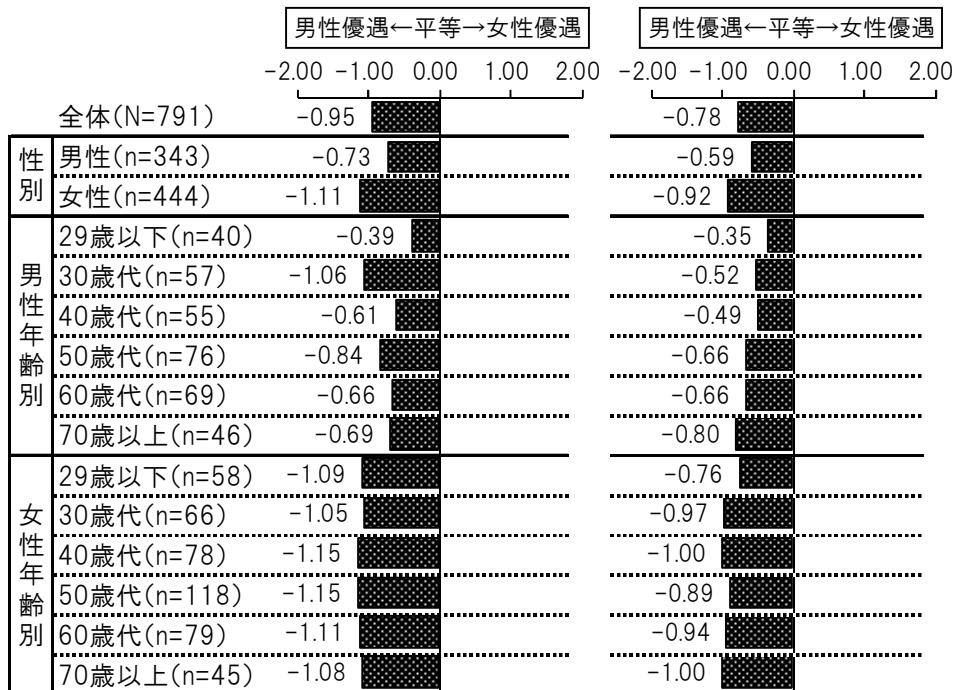
⑤政治の場

⑥法律や制度の上

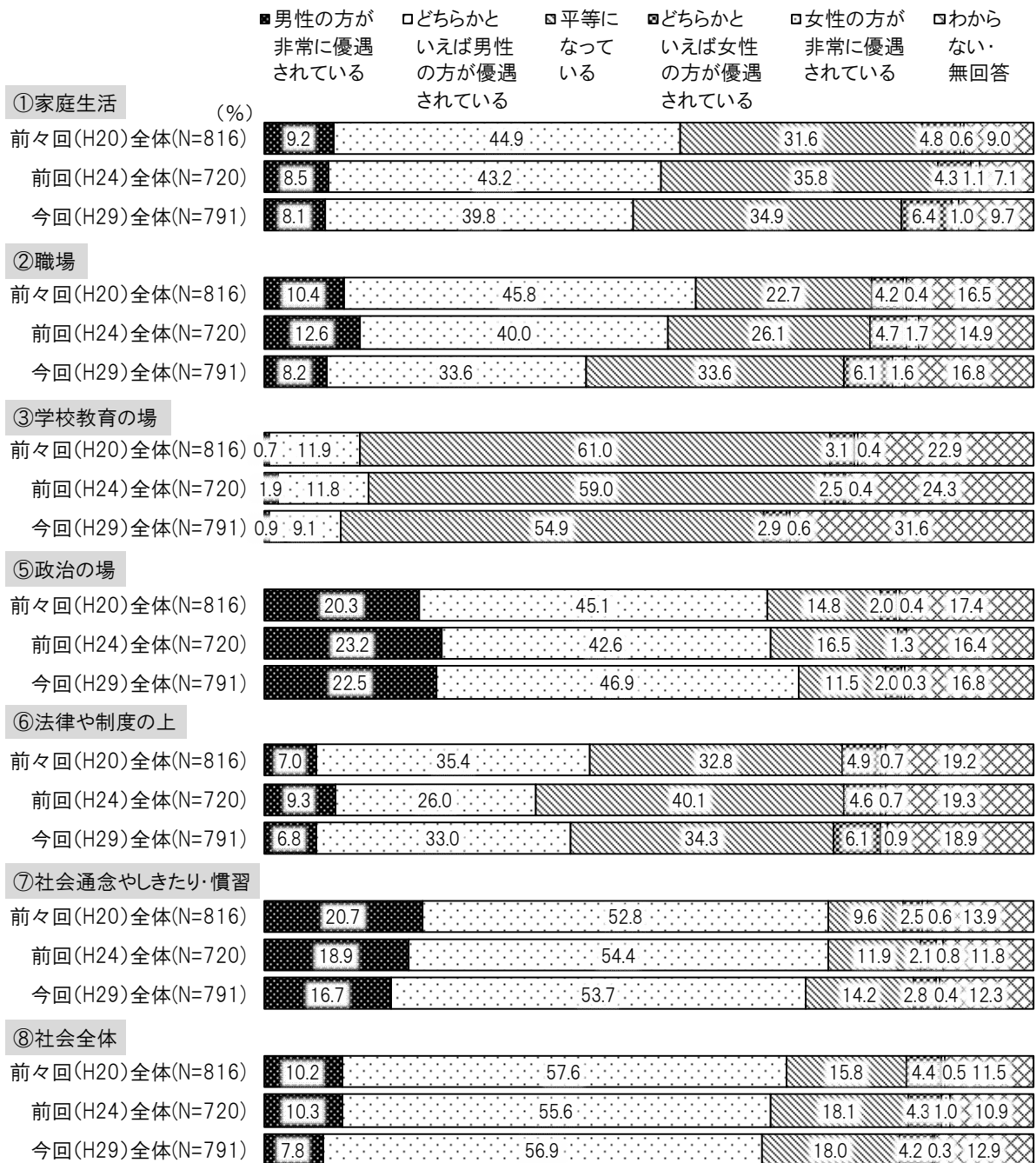


⑦社会通念やしきたり・慣習

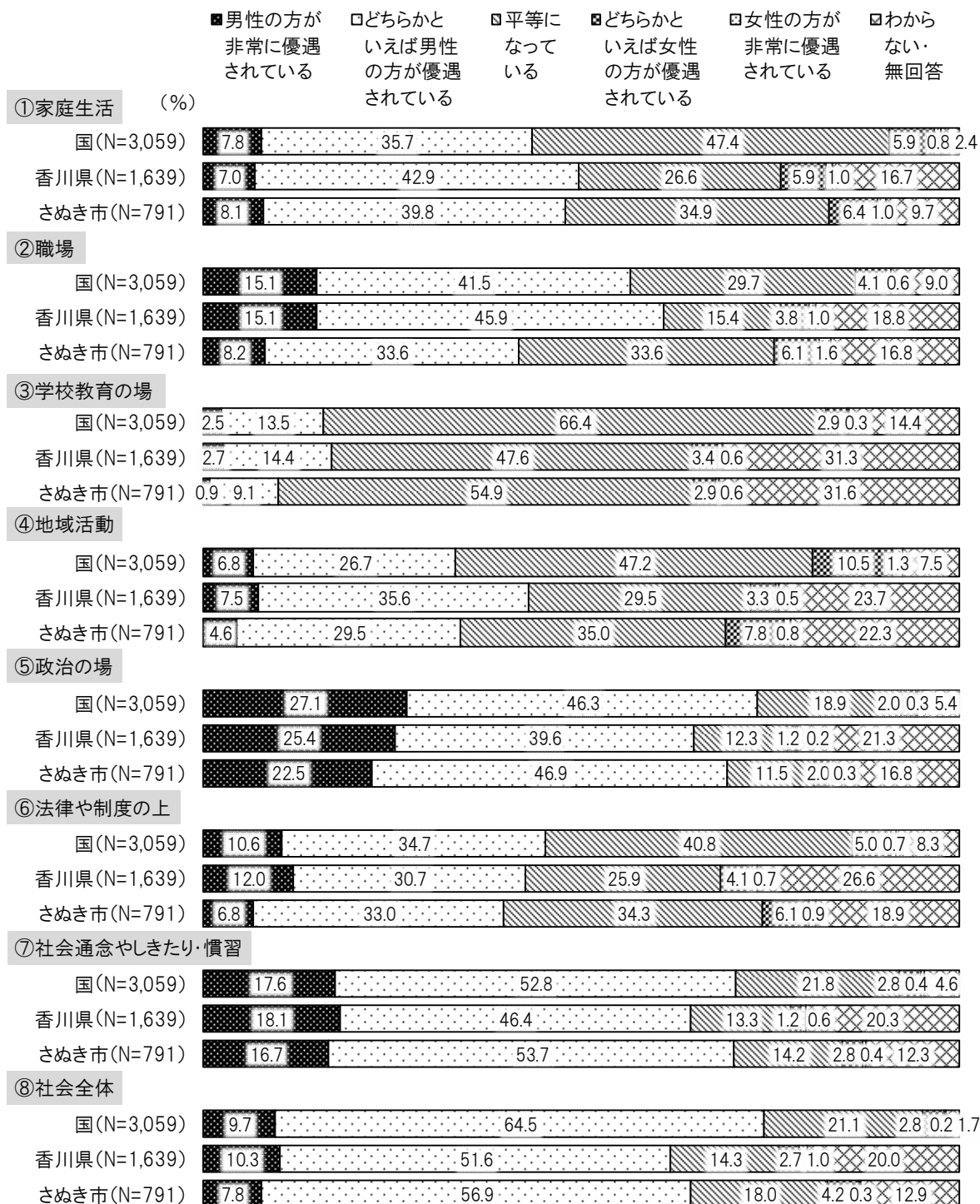
⑧社会全体



【参考／時系列推移】 ※前回、前々回に調査を実施している項目のみ掲載(以下同様)



【参考／香川県・国との比較】

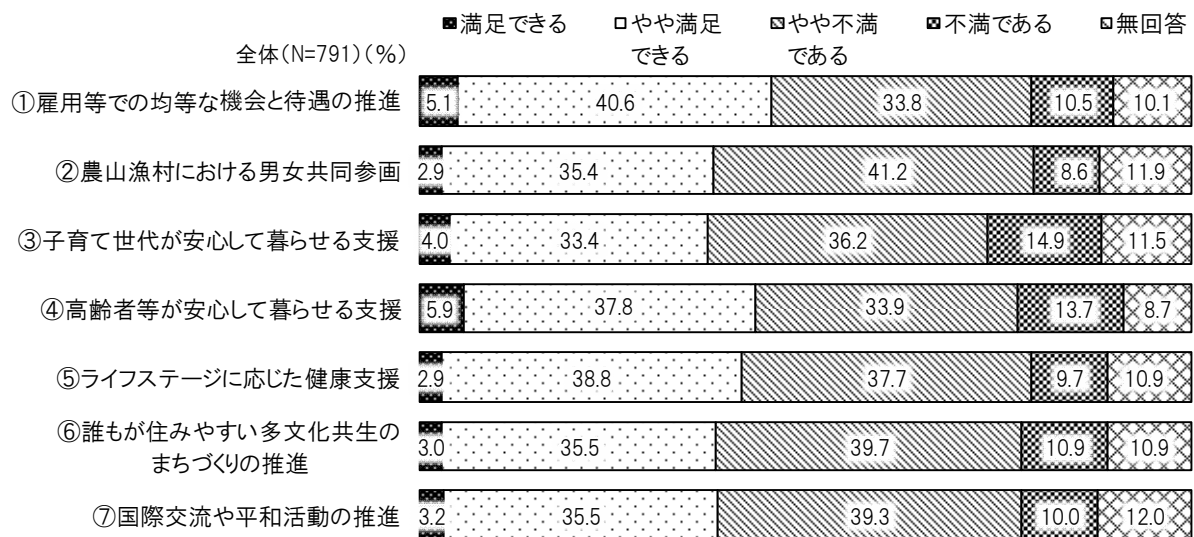


2 取組に対する満足度

問9 あなたは、次の分野で、さぬき市の男女共同参画の取組に満足していますか。

①から⑦までの項目についてお答えください。（○印1つずつ）

男女共同参画の視点からみた市の現状については、「満足できる」と「やや満足できる」を合計した『満足』の割合が高い順に、「①雇用等での均等な機会と待遇の推進」（45.7%）、「④高齢者等が安心して暮らせる支援」（43.7%）、「⑤ライフステージに応じた健康支援」（41.7%）があげられる。一方、「やや不満である」と「不満である」を合計した『不満』は、「③子育て世代が安心して暮らせる支援」（51.1%）、「⑥誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりの推進」（50.6%）、「②農山漁村における男女共同参画」（49.8%）などがあげられる。

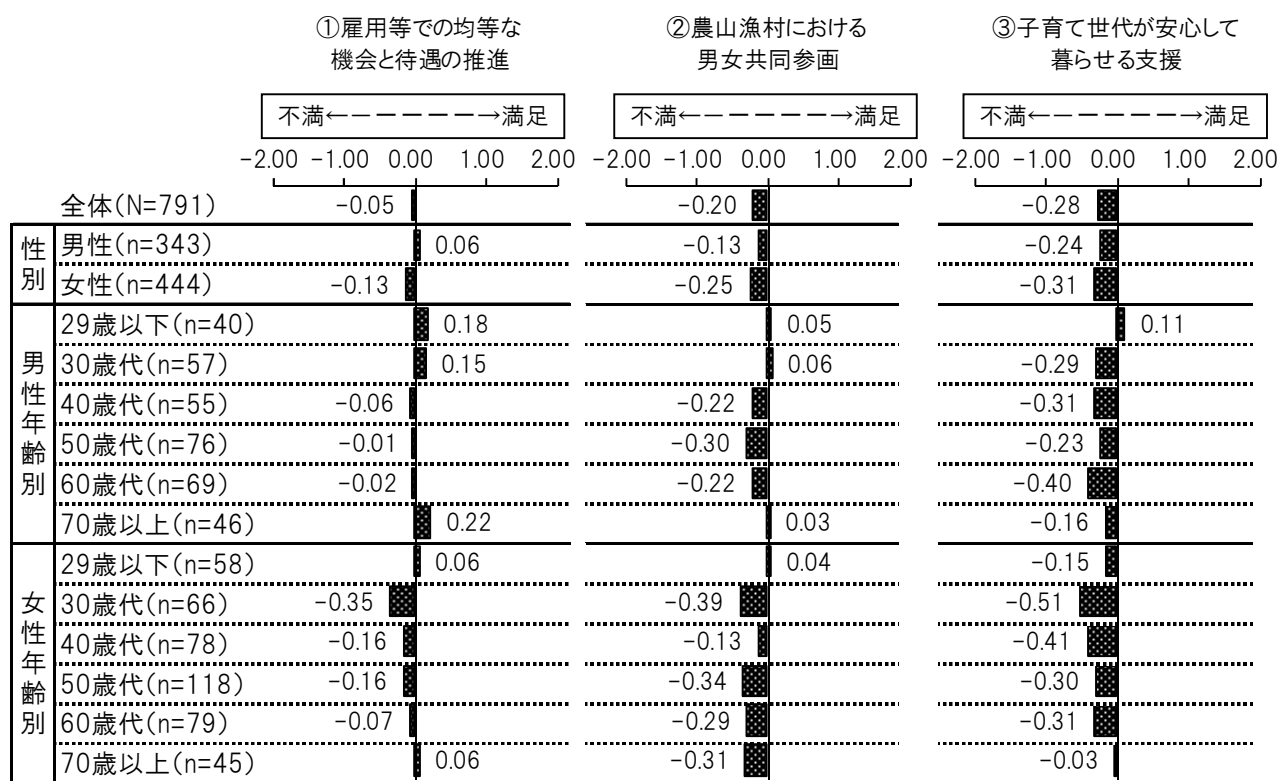


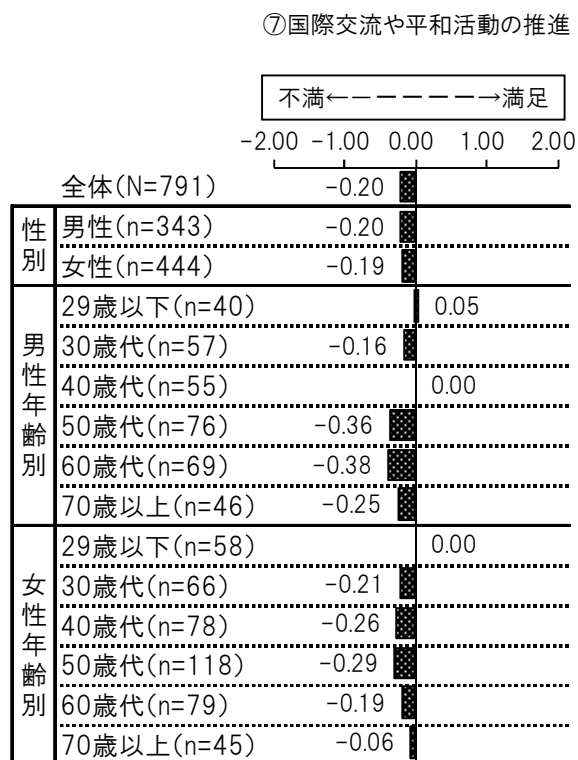
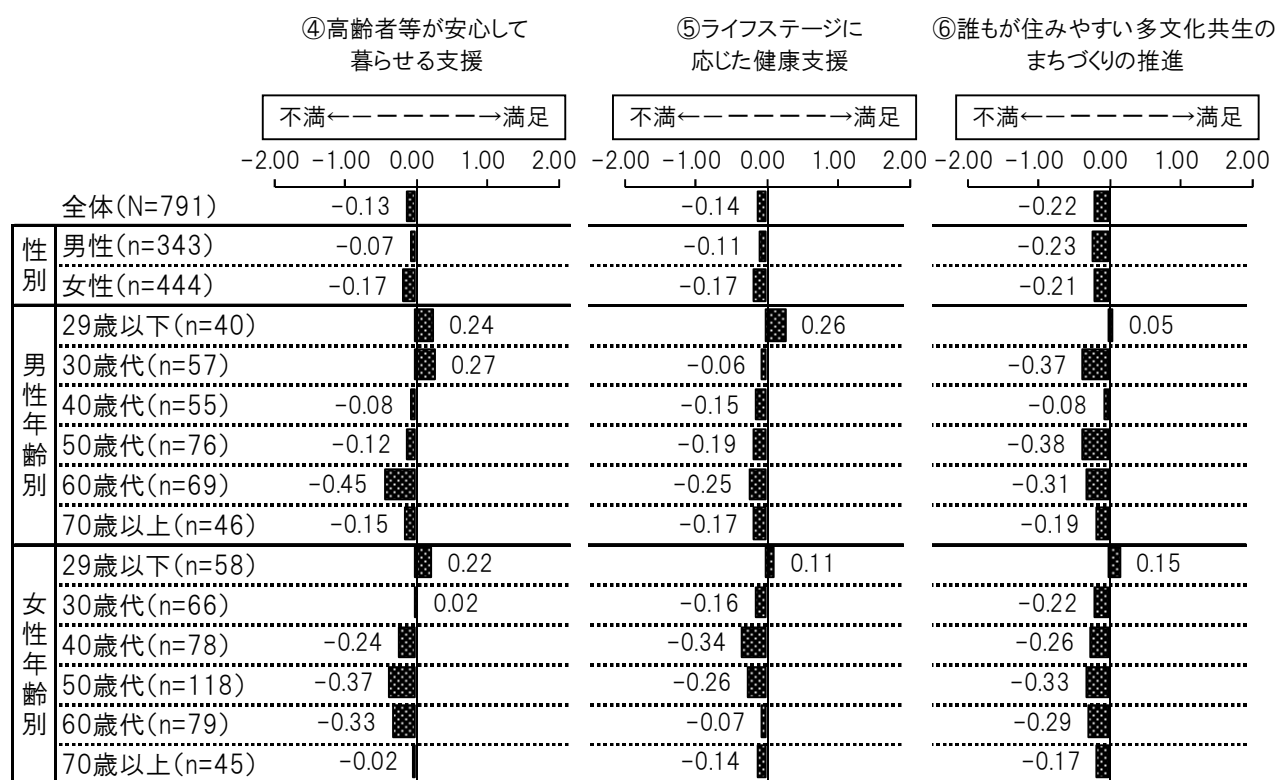
平均評定値による属性別傾向をみると、性別では、女性は男性に比べ「①雇用等での均等な機会と待遇の推進」「②農山漁村における男女共同参画」「④高齢者等が安心して暮らせる支援」などで『不満』意識が高い。

性年齢別では、女性の30歳代で「①雇用等での均等な機会と待遇の推進」「③子育て世代が安心して暮らせる支援」などの『不満』意識が高くなっている。また、男女ともに29歳以下では、全体的に『満足』意識が高くなっている。

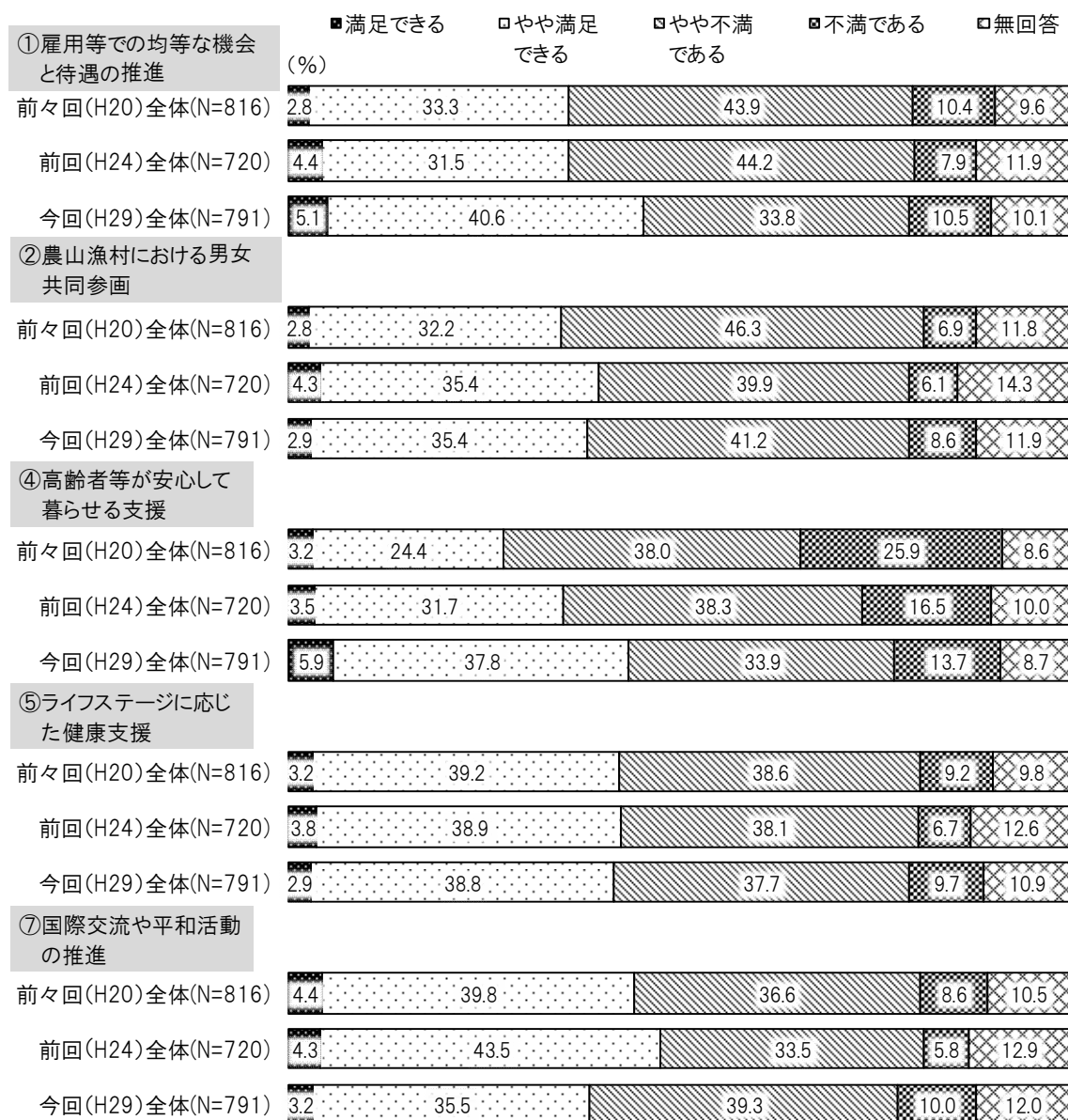
◆平均評定値による属性別傾向◆

平均評定値とは、「不満である」に－2点、「やや不満である」に－1点、「やや満足できる」に＋1点、「満足できる」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2に近いほど不満、＋2に近いほど満足を示す指標である。





【参考／時系列推移】



注1:「①雇用等での均等な機会と待遇の推進」は、前回、前々回調査では「雇用等での均等な機会と待遇」

注2:「④高齢者等が安心して暮らせる支援」は、前回、前々回調査では「高齢者等が安心して暮らせる条件」

注3:「⑤ライフステージに応じた健康支援」は、前回、前々回調査では「生涯を通じた女性の健康」

注4:「⑦国際交流や平和活動の推進」は、前回、前々回調査では「地球社会の平等・開発・平和」

【2】職業について

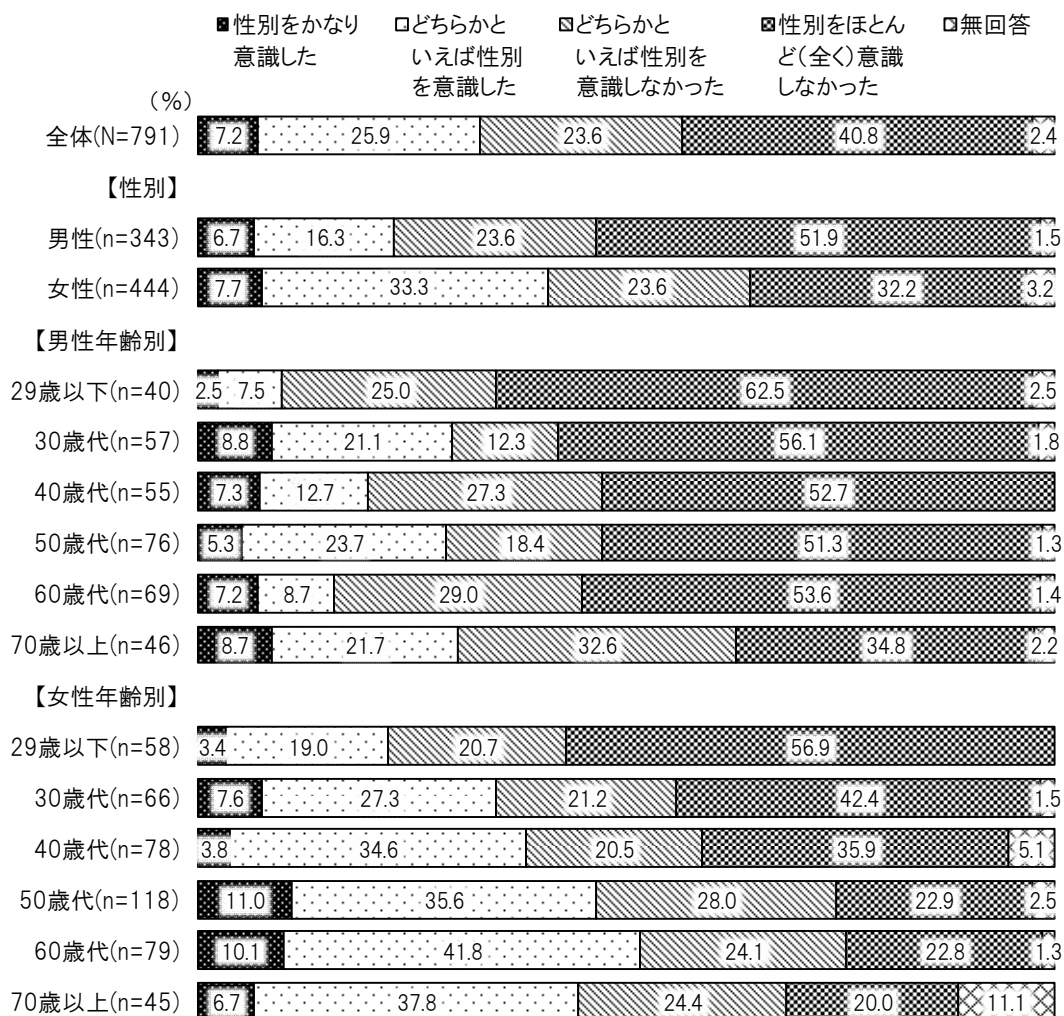
1 進路や職業選択時の性別意識

問 10 あなたは、進路や職業を選ぶ時に、性別を意識しましたか。（○印1つ）

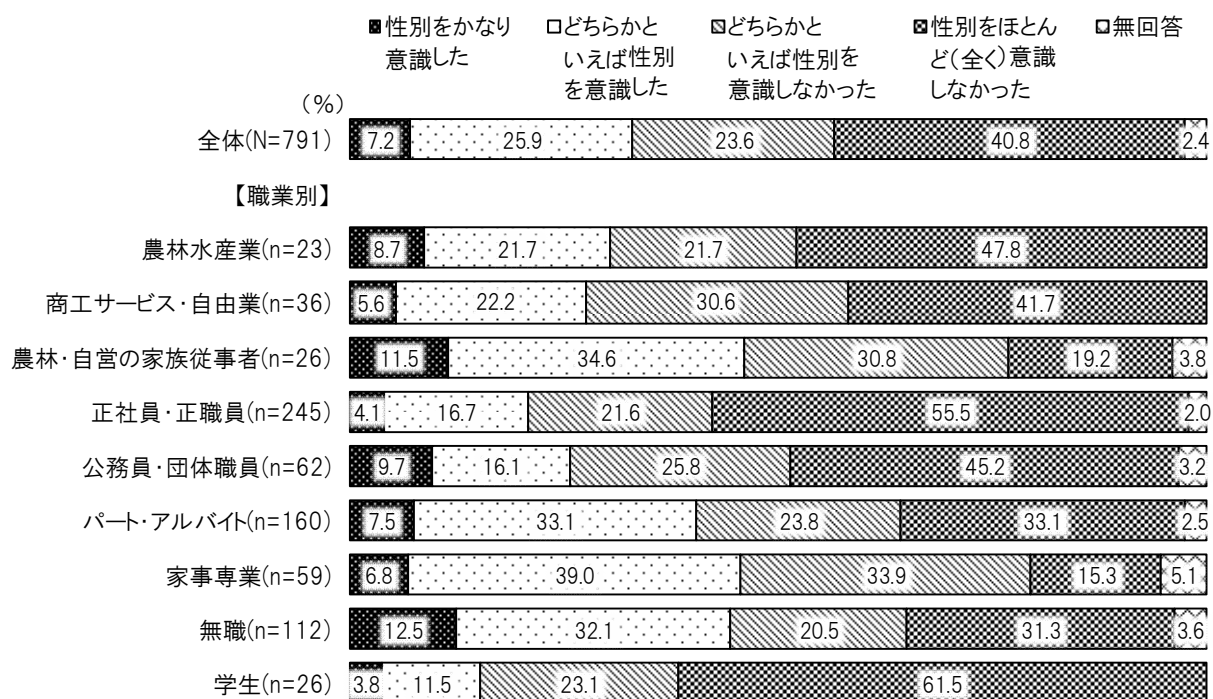
進路や職業選択時での性別意識については、「性別をかなり意識した」が7.2%、「どちらかといえば性別を意識した」が25.9%で、合計3割以上（33.1%）が『意識した』と回答している。一方、「どちらかといえば性別を意識しなかった」（23.6%）、「性別をほとんど（全く）意識しなかった」（40.8%）の合計は64.4%であった。

性別では、男性は女性に比べ「性別をほとんど（全く）意識しなかった」の割合が高く、女性は「どちらかといえば性別を意識した」の割合が男性を大きく上回っている。

性年齢別では、女性はおおむね年齢が上がるほど『意識した（合計）』の割合が増える傾向にあり、若い年齢層ほど「性別をほとんど（全く）意識しなかった」が増える傾向にある。



職業別にみると、農林・自営の家族従事者、家事専業、無職、パート・アルバイトでは『意識した（合計）』の割合が4割以上を占め高くなっている。



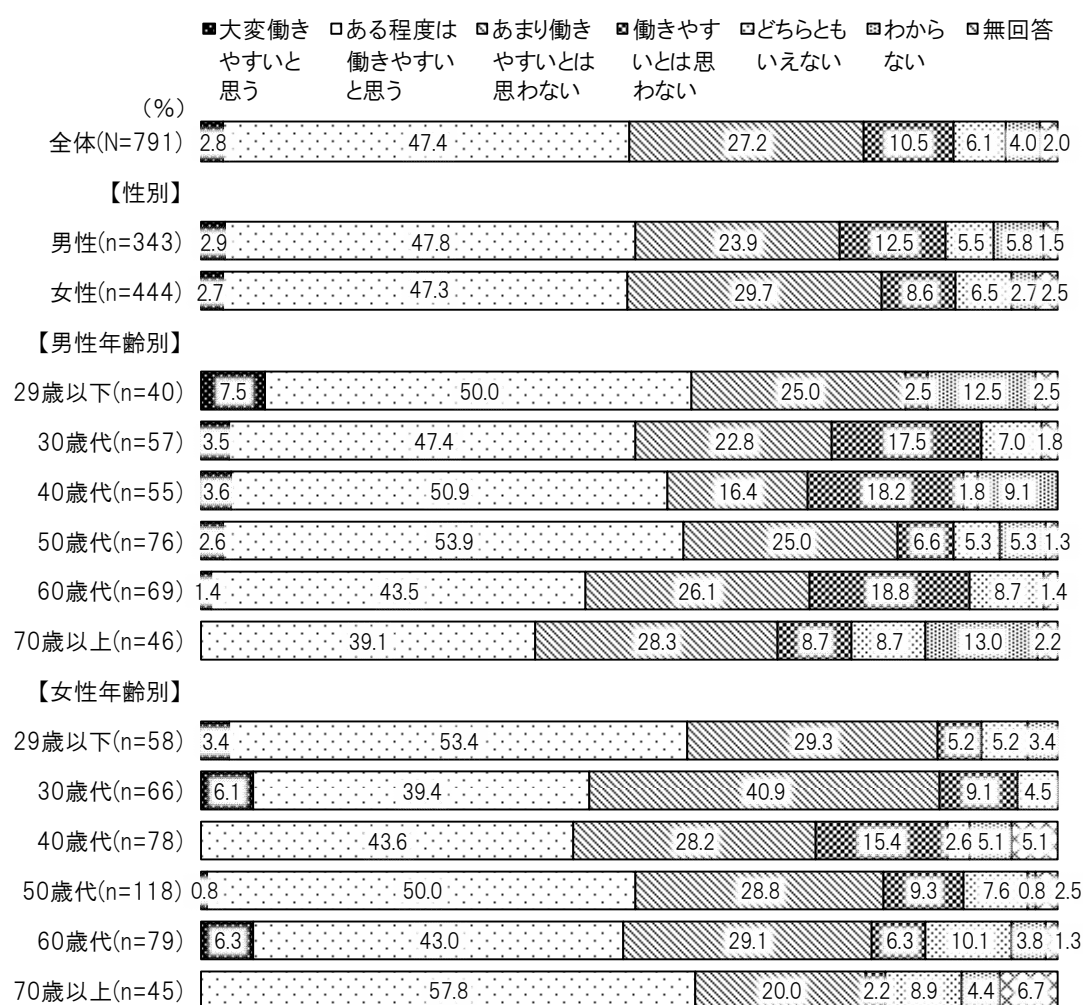
2 女性の働きやすさ

問 11 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。（○印1つ）

女性の働きやすさについては、「大変働きやすいと思う」が 2.8%、「ある程度は働きやすいと思う」が 47.4%で、合計約半数（50.2%）が『働きやすいと思う』と回答している。一方、「あまり働きやすいとは思わない」（27.2%）、「働きやすいとは思わない」（10.5%）の合計は 37.7%であった。

性別では、男性は女性に比べ「働きやすいとは思わない」の割合がやや高く、女性は「あまり働きやすいとは思わない」の割合が男性を上回っている。

性年齢別では、男性の 30～40 歳代と 60 歳代の年齢層で「働きやすいとは思わない」の割合が高くなっている。一方、女性の 30 歳代では「あまり働きやすいとは思わない」、40 歳代では「働きやすいとは思わない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。

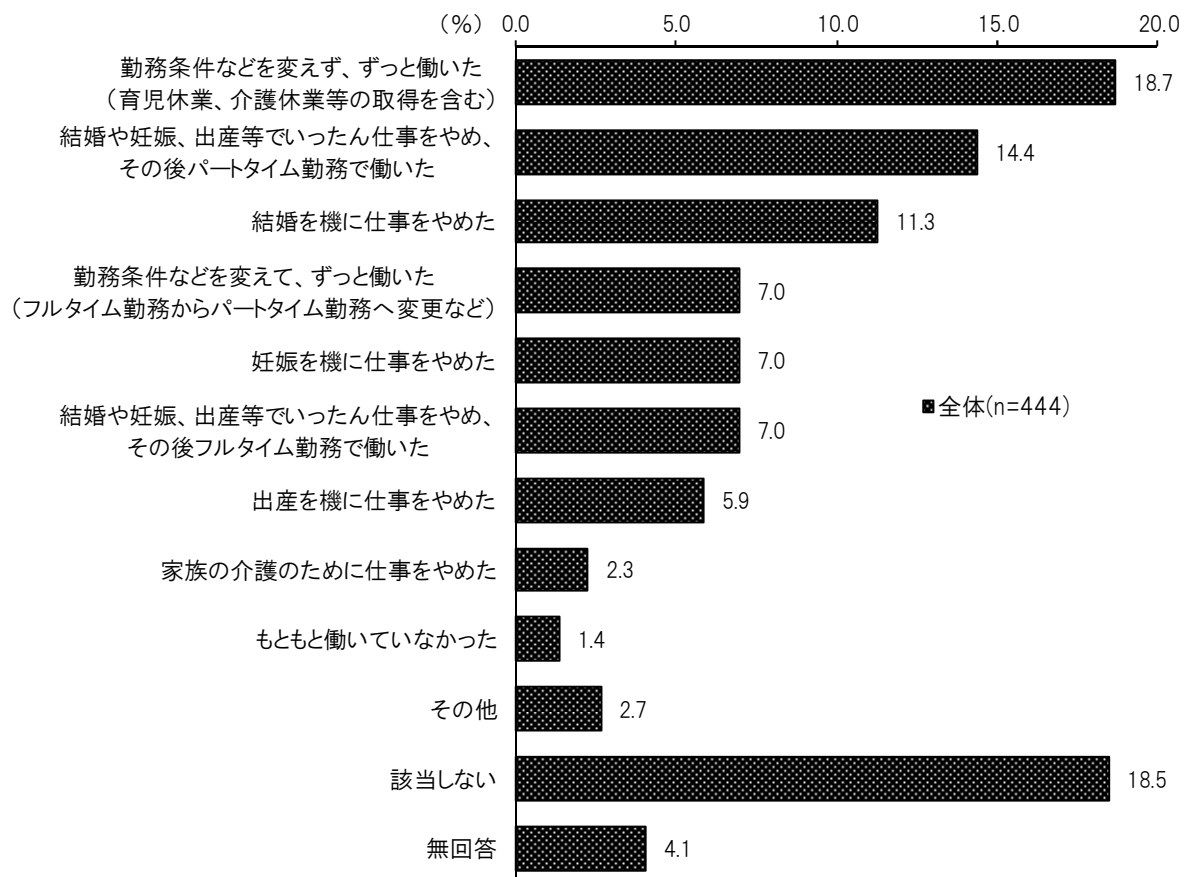


3 ライフステージの節目での働き方

【女性の方におたずねします】

問 12 あなたは、結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目に、どのような働き方を選びましたか。過去の経験を含めてお答えください。（○印1つ）

ライフステージの節目の働き方については、「勤務条件などを変えず、ずっと働いた（育児休業、介護休業等の取得を含む）」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「結婚や妊娠、出産等でいったん仕事をやめ、その後パートタイム勤務で働いた」（14.4%）、「結婚を機に仕事をやめた」（11.3%）が続いている。



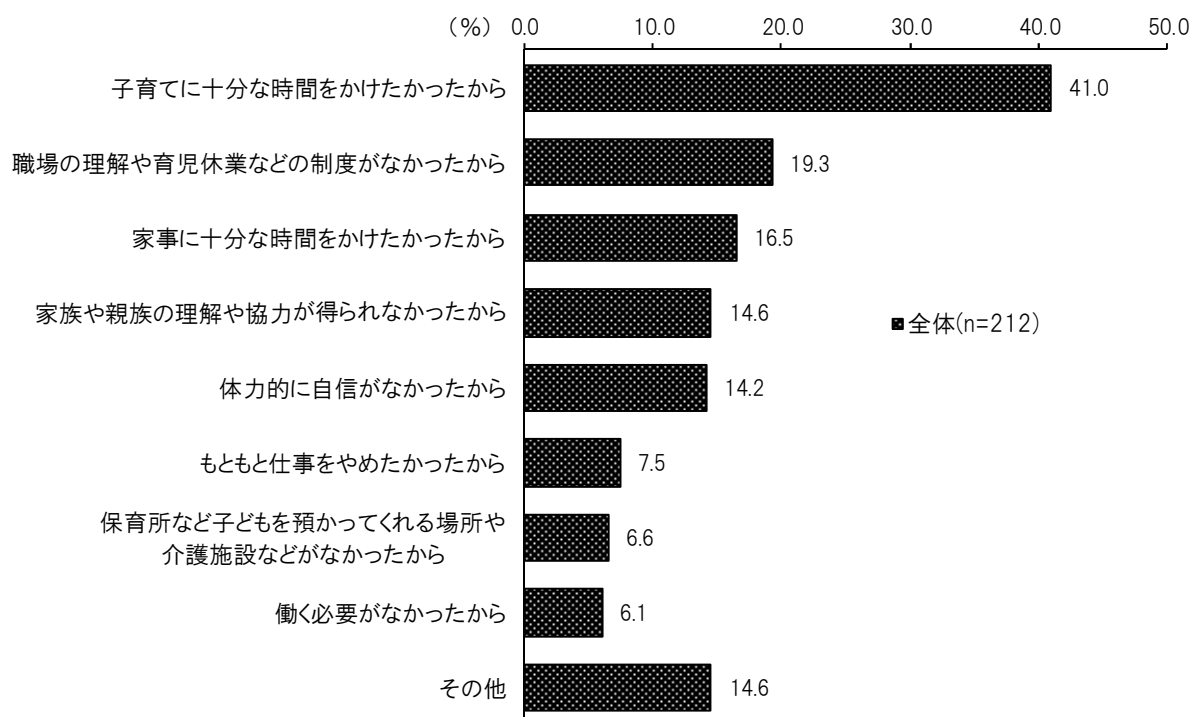
4 仕事をやめた理由

【問 12 で「3～8」と答えた方におたずねします】

問 13 仕事をやめた理由は何ですか。（○印いくつでも）

仕事をやめた理由については、「子育てに十分な時間をかけたかったから」の割合が 41.0%と突出して最も高く、次いで「職場の理解や育児休業などの制度がなかったから」（19.3%）、「家事に十分な時間をかけたかったから」（16.5%）、「家族や親族の理解や協力が得られなかったから」（14.6%）、「体力的に自信がなかったから」（14.2%）の順となっている。

「その他」については、「結婚による県外への転居」「配偶者の転勤に伴う県外への転居」などの回答が多くみられた。



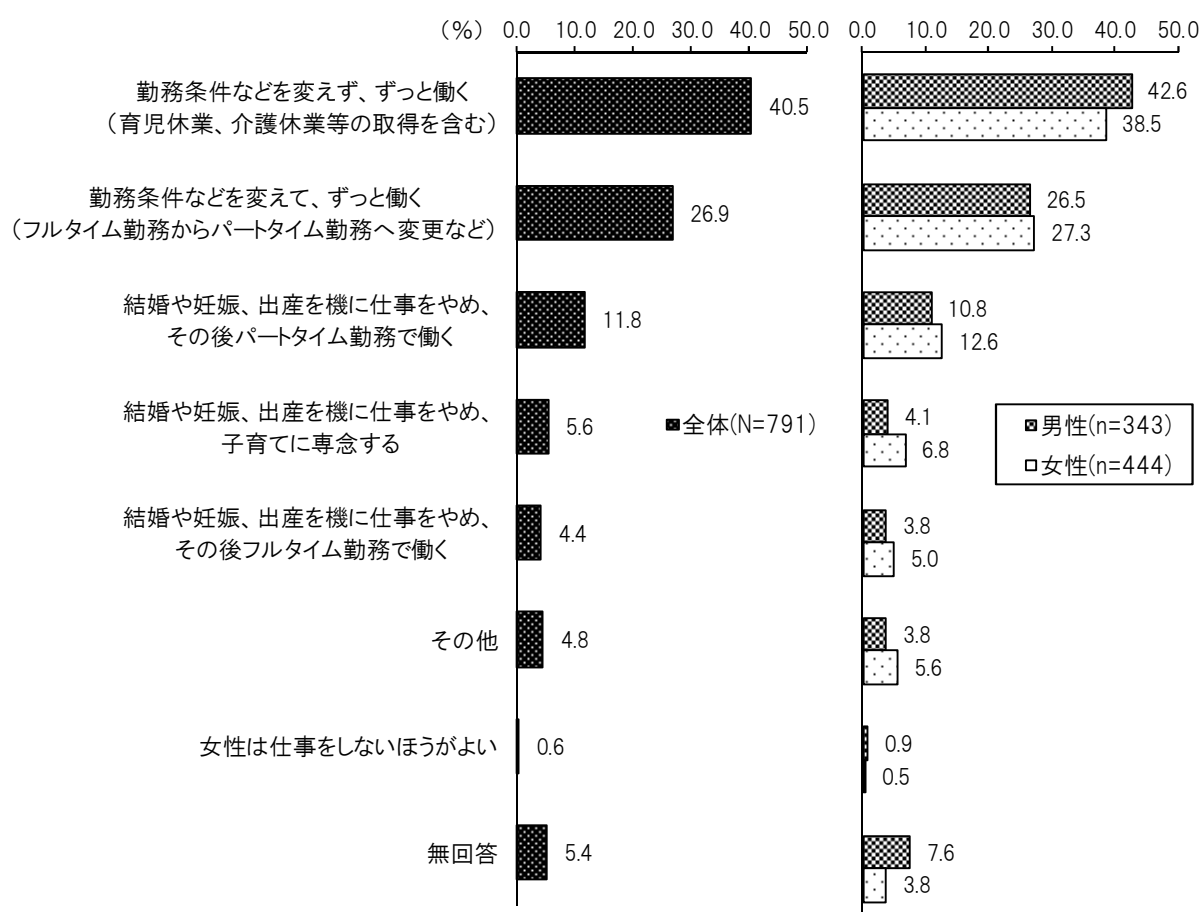
5 望ましい女性の働き方

【全ての方におたずねします】

問 14 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。（○印1つ）

望ましい女性の働き方については、「勤務条件などを変えず、ずっと働く（育児休業、介護休業等の取得を含む）」の割合が40.5%と最も高く、次いで「勤務条件などを変えて、ずっと働く（フルタイム勤務からパートタイム勤務へ変更など）」（26.9%）、「結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、その後パートタイム勤務で働く」（11.8%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「勤務条件などを変えず、ずっと働く（育児休業、介護休業等の取得を含む）」の割合がやや高く、女性は「結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、子育てに専念する」などで男性を上回っている。



職業別にみると、学生、公務員・団体職員では「勤務条件などを変えず、ずっと働く（育児休業、介護休業等の取得を含む）」、パート・アルバイト、無職では「結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、その後パートタイム勤務で働く」、家事専業、学生では「結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、子育てに専念する」の割合がそれぞれ高くなっている。

(単位:%)

	勤務条件などを変えず、 ずっと働く（育児休業、 介護休業等の取得を含む）	勤務条件などを変えて、 パートタイム勤務からパート タイムフルタイム勤務へ変更など	結婚や妊娠、出産を機に 仕事をやめ、その後パート タイム勤務で働く	結婚や妊娠、出産を機に 仕事をやめ、子育てに専念する	結婚や妊娠、出産を機に 仕事をやめ、その後フル タイム勤務で働く	その他	女性 は仕事 をしない ほうが よい
全体(N=791)	40.5	26.9	11.8	5.6	4.4	4.8	0.6
【職業別】							
農林水産業(n=23)	47.8	21.7	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0
商工サービス・自由業(n=36)	33.3	33.3	13.9	2.8	5.6	8.3	0.0
農林・自営の家族従事者(n=26)	34.6	38.5	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0
正社員・正職員(n=245)	44.1	28.2	9.4	4.5	3.7	4.1	0.0
公務員・団体職員(n=62)	59.7	16.1	8.1	3.2	0.0	8.1	0.0
パート・アルバイト(n=160)	31.3	31.9	15.6	3.1	6.3	5.6	1.9
家事専業(n=59)	33.9	23.7	11.9	16.9	6.8	1.7	1.7
無職(n=112)	35.7	25.0	15.2	5.4	4.5	5.4	0.0
学生(n=26)	65.4	11.5	3.8	15.4	0.0	3.8	0.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。

（例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

6 育児休業・介護休業の取得状況

問 15 あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。（○印1つつつ）

①育児休業

育児休業の取得状況については、「取得したことがない」が約4割（39.8%）を占め最も高く、次いで「制度がなかった」（24.8%）、「取得する必要がなかった」（17.4%）が続いている。一方、「取得したことがある」は約1割（9.6%）であった。

性別では、男性は女性に比べ「制度がなかった」の割合が高く、女性は「取得したことがある」が男性を大きく上回っている。

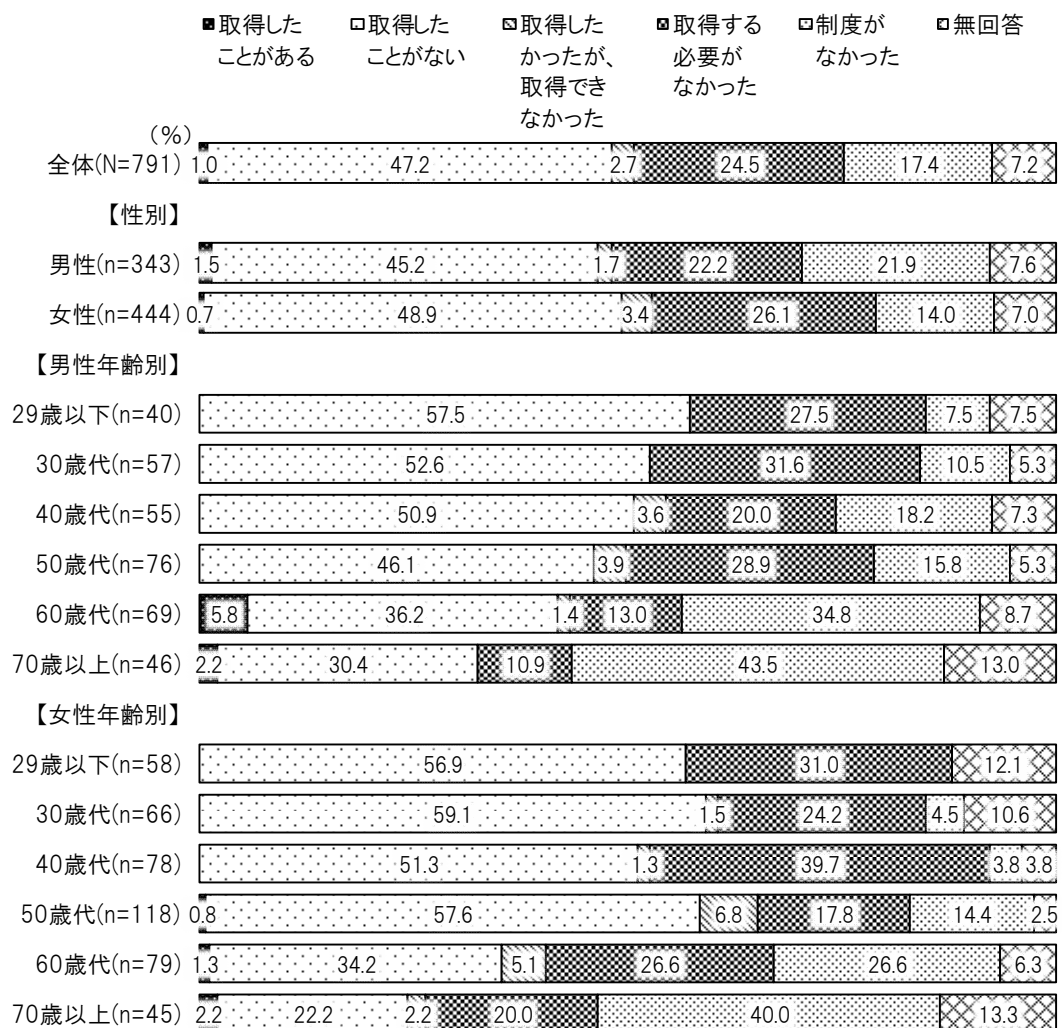
性年齢別では、男性はおおむね年齢が上がるほど「制度がなかった」の割合が増える傾向にあり、女性は若い年齢層ほど「取得したことがある」の割合が増える傾向にある。



②介護休業

介護休業の取得状況については、「取得したことがない」が半数近く（47.2％）を占め最も高く、次いで「取得する必要がなかった」（24.5％）、「制度がなかった」（17.4％）が続いている。

性別では、男性は女性に比べ「制度がなかった」の割合が高くなっており、男女ともに、おおむね年齢が上がるほど「制度がなかった」の割合が増える傾向にある。

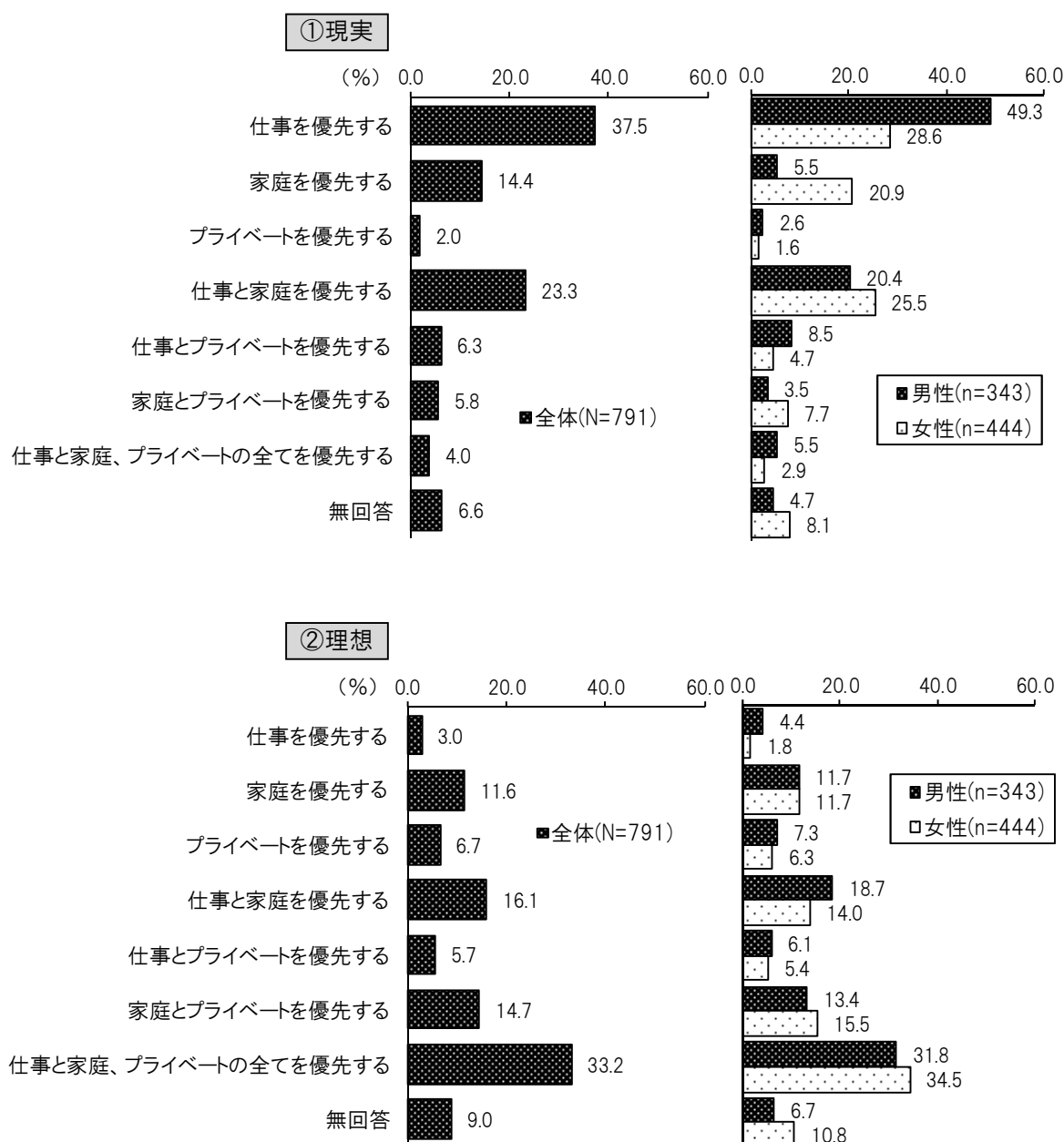


7 日常生活に対する考え方（現実と理想）

問 16 日常生活における「仕事」「家庭（家事・育児・介護を含む）」「プライベート（趣味や学習・地域活動・付き合いなど）」のバランスについて、①あなたの現実と②あなたの理想とする優先度をお答えください。（○印1つずつ）

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、①現実では、「仕事を優先する」が 37.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭を優先する」（23.3%）、「家庭を優先する」（14.4%）の順となっている。一方、②理想では、「仕事と家庭、プライベートの全てを優先する」が 33.2%と最も高く、次いで「仕事と家庭を優先する」（16.1%）、「家庭とプライベートを優先する」（14.7%）の順となっている。

性別では、①現実では、男性で「仕事を優先する」が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「家庭を優先する」「仕事と家庭を優先する」などが高くなっている。一方、②理想では、男性は女性に比べ「仕事と家庭を優先する」がやや高くなっている。



【参考／国との比較】

(単位：％)

			独立優先				両立				
			「仕事」 を優先	「家庭」 を優先	「プ ライ ベ ー ト」 を	計	「仕 事」と「家 庭」 を優先	「仕 事」と「プ ライ ベ ー ト」 を優先	「家 庭」と「プ ライ ベ ー ト」 を優先	「仕 事」と「家 庭」 の 全 て を 優 先	計
国	全体	現実(N=3,059)	36.1	23.0	2.0	61.1	24.9	4.9	1.7	5.7	37.2
		理想(N=3,059)	4.8	22.2	3.8	30.8	36.1	4.9	8.0	18.4	67.4
		差（現実－理想）	31.3	0.8	-1.8	30.3	-11.2	0.0	-6.3	-12.7	-30.2
	男性	現実(n=1,404)	47.7	13.2	2.5	63.4	24.6	4.0	1.2	4.6	34.4
		理想(n=1,404)	8.0	20.6	3.4	32.0	37.5	3.4	8.9	15.4	65.2
		差（現実－理想）	39.7	-7.4	-0.9	31.4	-12.9	0.6	-7.7	-10.8	-30.8
	女性	現実(n=1,655)	25.8	31.8	1.6	59.2	25.2	5.8	2.2	6.6	39.8
		理想(n=1,655)	1.9	23.6	4.1	29.6	34.8	6.3	7.1	21.1	69.3
		差（現実－理想）	23.9	8.2	-2.5	29.6	-9.6	-0.5	-4.9	-14.5	-29.5

さぬき市	全体	現実(N=791)	37.5	14.4	2.0	53.9	23.3	6.3	5.8	4.0	39.4
		理想(N=791)	3.0	11.6	6.7	21.3	16.1	5.7	14.7	33.2	69.7
		差（現実－理想）	34.5	2.8	-4.7	32.6	7.2	0.6	-8.9	-29.2	-30.3
	男性	現実(n=343)	49.3	5.5	2.6	57.4	20.4	8.5	3.5	5.5	37.9
		理想(n=343)	4.4	11.7	7.3	23.4	18.7	6.1	13.4	31.8	70.0
		差（現実－理想）	44.9	-6.2	-4.7	34.0	1.7	2.4	-9.9	-26.3	-32.1
	女性	現実(n=444)	28.6	20.9	1.6	51.1	25.5	4.7	7.7	2.9	40.8
		理想(n=444)	1.8	11.7	6.3	19.8	14.0	5.4	15.5	34.5	69.4
		差（現実－理想）	26.8	9.2	-4.7	31.3	11.5	-0.7	-7.8	-31.6	-28.6

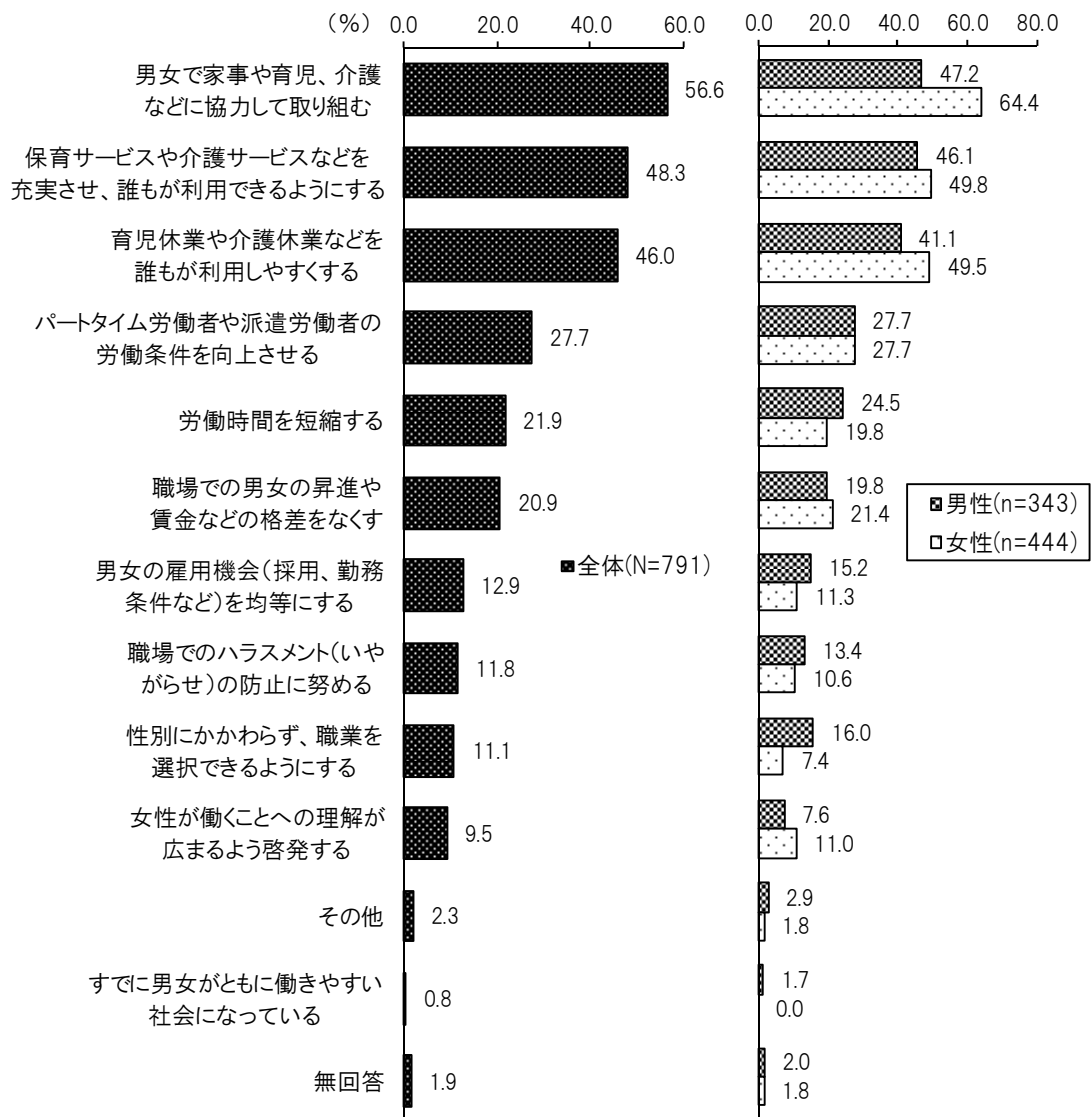
注：「プライベート」は、国の調査では「地域・個人の生活」

8 働きやすい社会環境をめざす取組

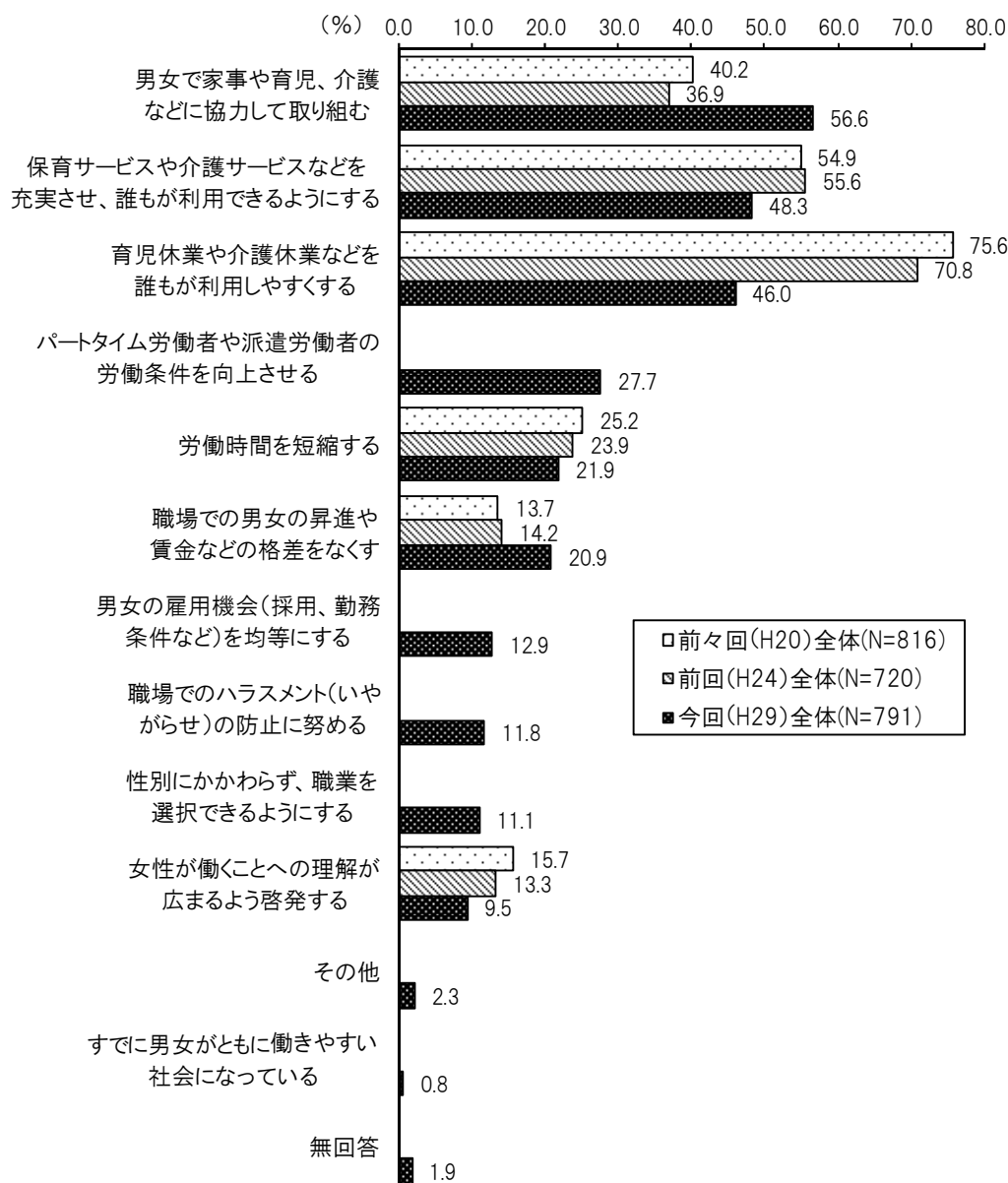
問 17 あなたは、男女がともに働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印3つまで）

男女がともに働きやすい社会環境をつくるために必要なことについては、「男女で家事や育児、介護などに協力して取り組む」の割合が56.6%と最も高く、次いで「保育サービスや介護サービスなどを充実させ、誰もが利用できるようにする」（48.3%）、「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」（46.0%）、「パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる」（27.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「労働時間を短縮する」「性別にかかわらず、職業を選択できるようにする」などの割合が高く、女性は「男女で家事や育児、介護などに協力して取り組む」「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」などで男性を大きく上回っている。



【参考／時系列推移】



注1：前回、前々回調査では、女性が働き続けたり、再就職をするための取組として回答

注2：「男女で家事や育児、介護などに協力して取り組む」は、前回、前々回調査では「家族の家事・育児・介護への参加・協力」

注3：「保育サービスや介護サービスなどを充実させ、誰もが利用できるようにする」の前回、前々回調査結果は「保育施設やサービス(一時保育、病児保育、療育保育など)の充実」の結果を表記

注4：「育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする」は、前回、前々回調査では「育児・介護休暇の取りやすい職場環境づくり」

注5：「職場での男女の昇進や賃金などの格差をなくす」は、前回、前々回調査では「昇進・昇給などの職場での男女平等の確保」

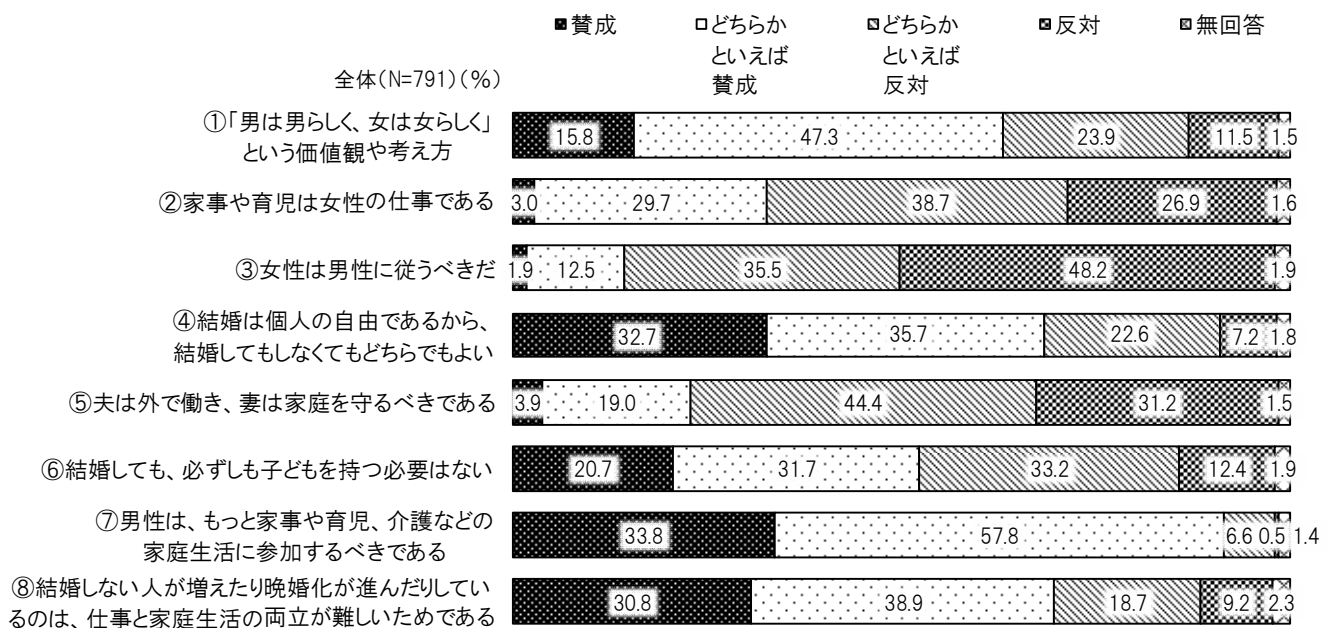
注6：「女性が働くことへの理解が広まるよう啓発する」の前回、前々回調査結果は「男性の意識(男は仕事、女は家庭など)を変えること」の結果を表記

【3】家庭生活について

1 家庭生活に対する考え方

問 18 あなたは、次の①から⑧までの項目について、どのように思いますか。
(○印 1 つずつ)

結婚、家庭生活と男女の役割については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した『賛成意識』の割合が高い順に、「⑦男性は、もっと家事や育児、介護などの家庭生活に参加するべきである」(91.6%)、「⑧結婚しない人が増えたり晩婚化が進んだりしているのは、仕事と家庭生活の両立が難しいためである」(69.7%)、「④結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」(68.4%)、「①男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」(63.1%)があげられる。一方、「どちらかといえば反対」と「反対」を合計した『反対意識』では、「③女性は男性に従うべきだ」(83.7%)、「⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(75.6%)、「②家事や育児は女性の仕事である」(65.6%)などがあげられる。

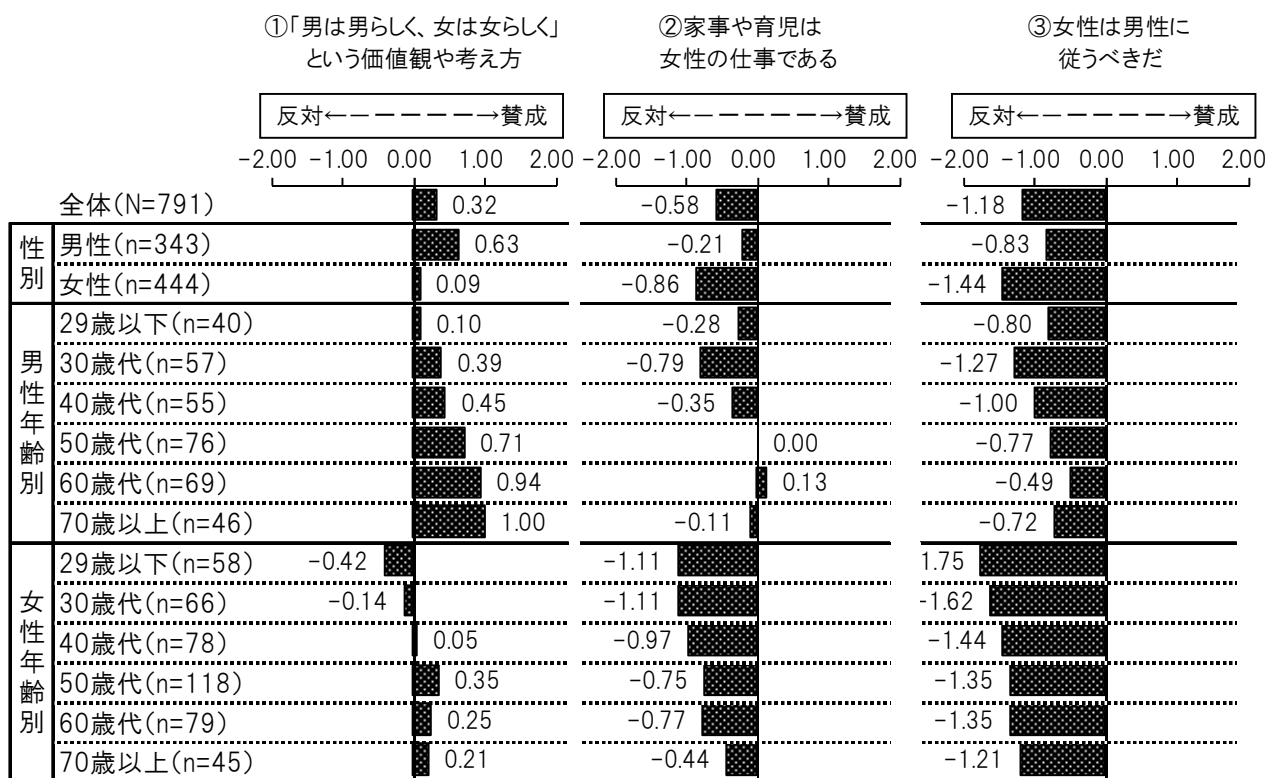


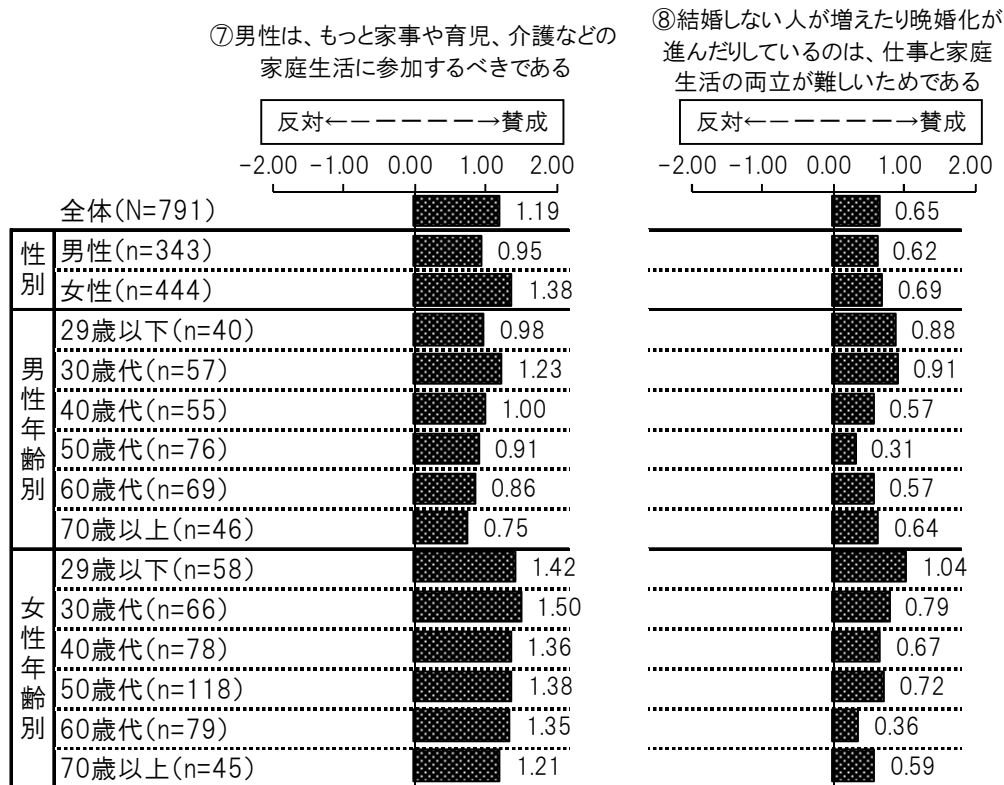
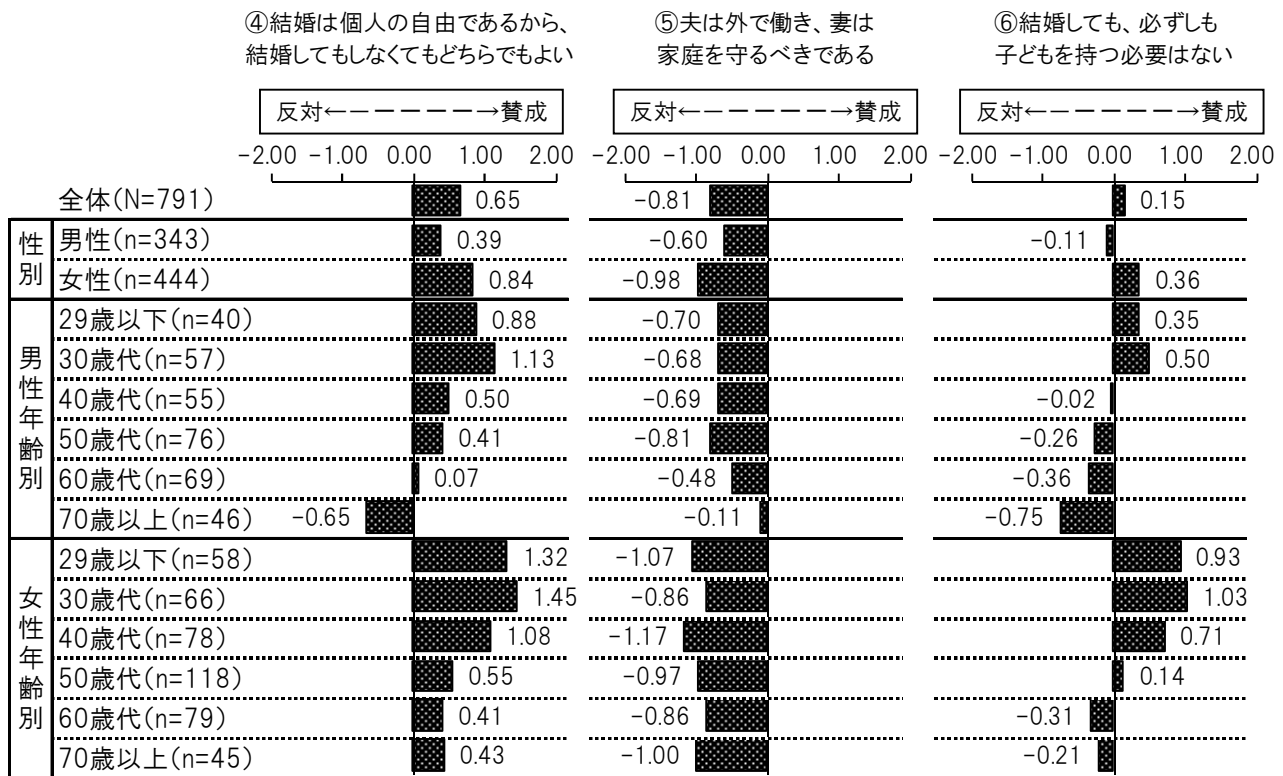
平均評定値による属性別傾向をみると、性別では、男性は女性に比べ「①男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」で『賛成意識』が高くなっている。一方、女性は「④結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」や「⑥結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」「⑦男性は、もっと家事や育児、介護などの家庭生活に参加するべきである」などで『賛成意識』が高く、「②家事や育児は女性の仕事である」や「③女性は男性に従うべきだ」で『反対意識』が高い。

性年齢別では、男女ともに若い年齢層ほど『賛成意識』が高くなる項目として、「④結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「⑥結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」があげられる。逆に、若い年齢層ほど『反対意識』が高くなる項目として、「②家事や育児は女性の仕事である」「③女性は男性に従うべきだ」があげられる。また、年齢が上がるほど『賛成意識』が高まる項目として、「①男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」があげられ、年齢による意識差が顕著にみられる。

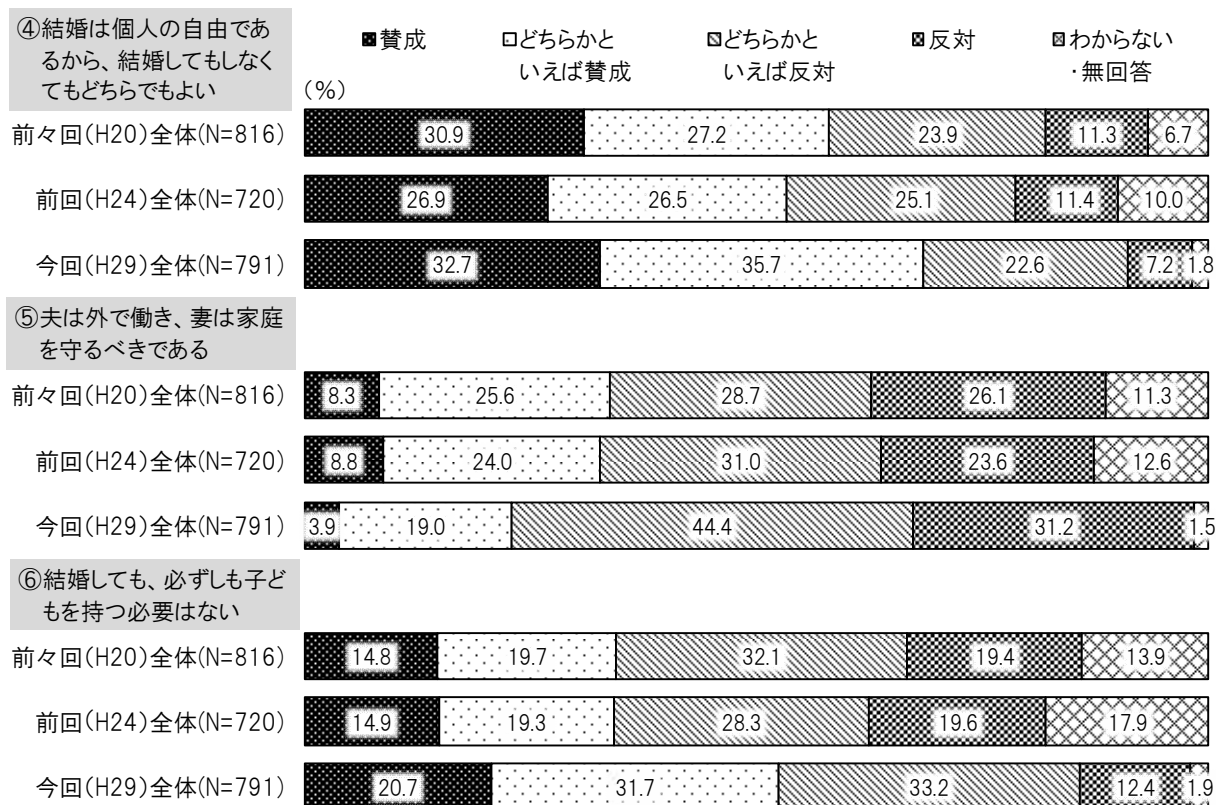
◆平均評定値による属性別傾向◆

平均評定値とは、「反対」に－2点、「どちらかといえば反対」に－1点、「どちらかといえば賛成」に＋1点、「賛成」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2に近いほど反対、＋2に近いほど賛成を示す指標である。





【参考／時系列推移】

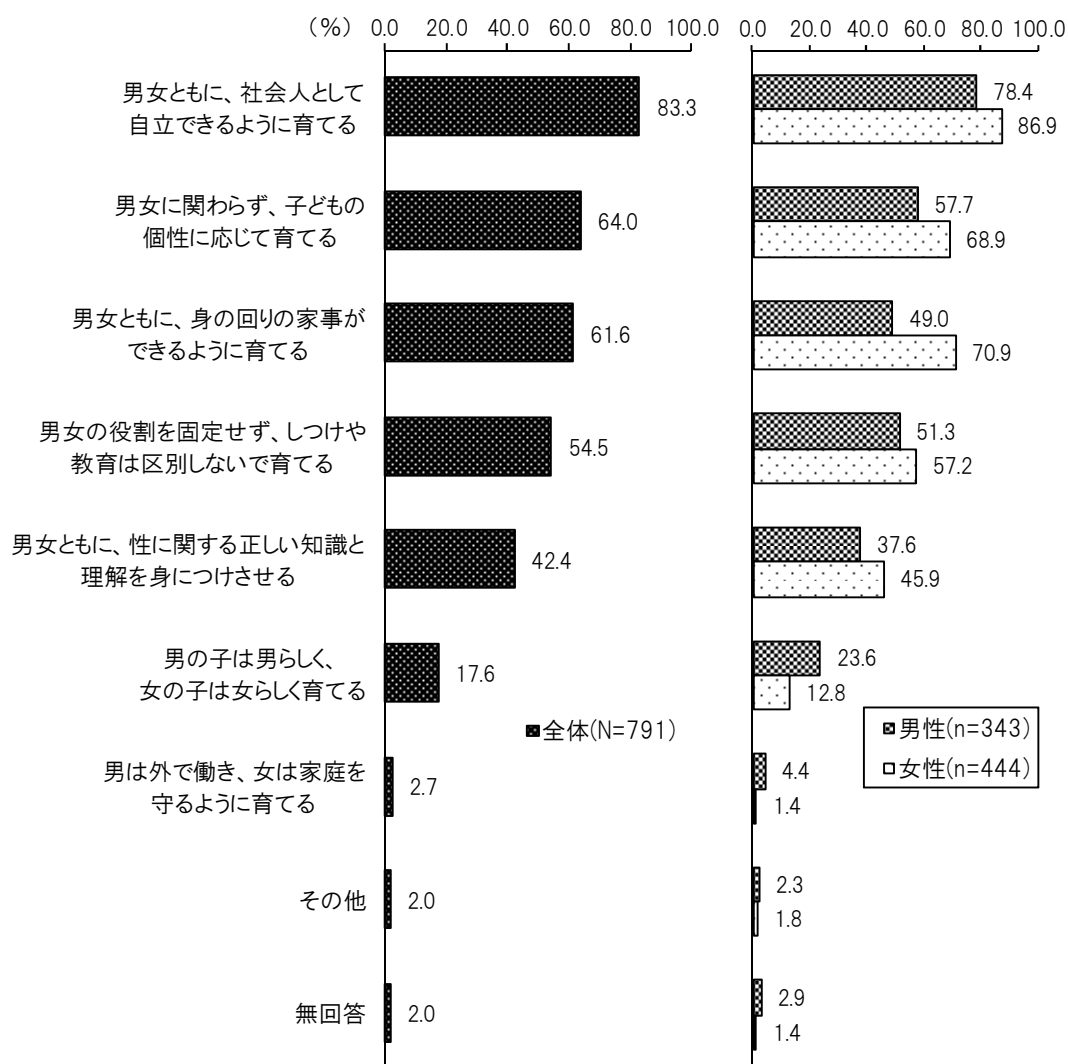


2 望ましい子どもの育て方

問 19 あなたは、どのような子どもの育て方が望ましいと思いますか。
(○印いくつでも)

望ましい子どもの育て方については、全体では「男女ともに、社会人として自立できるように育てる」の割合が83.3%と最も高く、次いで「男女に関わらず、子どもの個性に応じて育てる」(64.0%)、「男女ともに、身の回りの家事ができるように育てる」(61.6%)、「男女の役割を固定せず、しつけや教育は区別しないで育てる」(54.5%)の順となっている。

性別では、全体的に、男性に比べ女性の割合が高い項目が目立つが、特に「男女ともに、身の回りの家事ができるように育てる」で女性が男性を大きく上回っている。また、男性は女性に比べ「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」の割合が高くなっている。

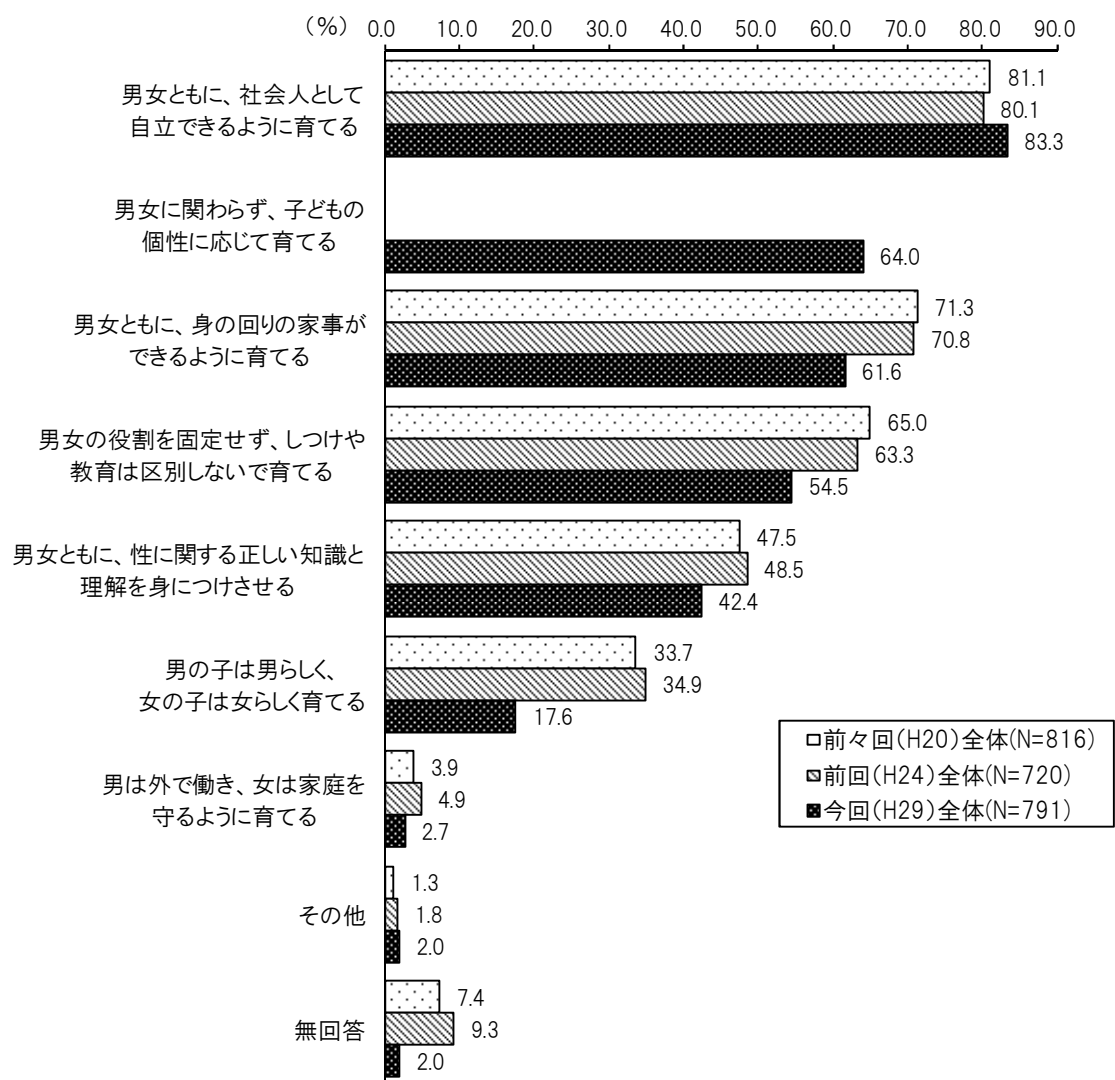


性年齢別にみると、男性では、おおむね若い年齢層ほど「男女ともに、性に関する正しい知識と理解を身につけさせる」の割合が増える傾向にある。また、女性では、おおむね年齢が上がるほど、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる」の割合が増える傾向にある。

(単位:%)

	育し男 て女 る自 立と でに き、 る社 会 う人 にと	るも男 の女 個に 性関 にわ 応ら じず て、 育子 てど	育の男 て家女 る事と がも でに き、 る身 よの う回 にり	別ず男 し、女 ないの 役割 でけを 育やを て教固 育定 はせ 区	身る男 に正女 つしと けいも さ知に せ識、 る性と 性理に 解関 をす	の男 子 は子 は女 は男 らしく し育 く、 て女	庭男 をは 守外 るで 働う きに 、育 女て は家	そ の 他
全体(N=791)	83.3	64.0	61.6	54.5	42.4	17.6	2.7	2.0
【男性年齢別】								
29歳以下(n=40)	77.5	62.5	52.5	57.5	47.5	20.0	5.0	2.5
30歳代(n=57)	64.9	64.9	63.2	56.1	47.4	14.0	5.3	3.5
40歳代(n=55)	74.5	54.5	49.1	45.5	40.0	23.6	10.9	1.8
50歳代(n=76)	77.6	57.9	53.9	42.1	32.9	19.7	2.6	2.6
60歳代(n=69)	89.9	52.2	36.2	52.2	27.5	30.4	2.9	0.0
70歳以上(n=46)	84.8	56.5	39.1	60.9	37.0	34.8	0.0	4.3
【女性年齢別】								
29歳以下(n=58)	91.4	74.1	67.2	63.8	53.4	8.6	1.7	0.0
30歳代(n=66)	86.4	80.3	75.8	68.2	45.5	9.1	1.5	1.5
40歳代(n=78)	87.2	75.6	73.1	53.8	41.0	9.0	1.3	3.8
50歳代(n=118)	84.7	56.8	76.3	55.9	43.2	15.3	1.7	1.7
60歳代(n=79)	87.3	69.6	62.0	49.4	44.3	13.9	0.0	2.5
70歳以上(n=45)	86.7	64.4	66.7	55.6	55.6	22.2	2.2	0.0

【参考／時系列推移】



3 家庭生活の役割分担（現実）

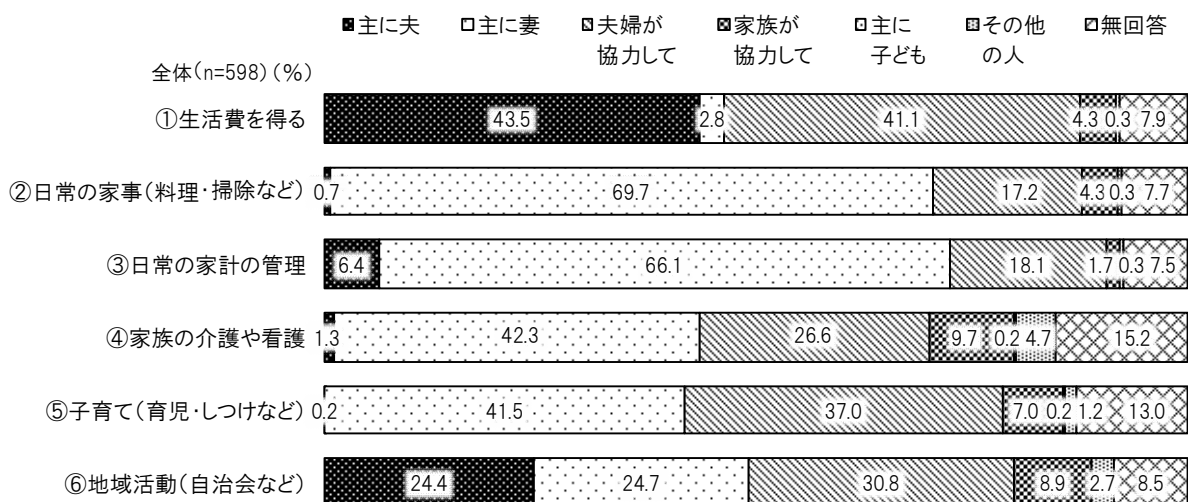
【結婚している方（事実婚を含む）におたずねします（問5で「1」「2」と答えた人）】

問 20 あなたの家庭では、①から⑥までの項目について、主に誰が担っていますか。

過去の経験を含めてお答えください。（○印1つずつ）

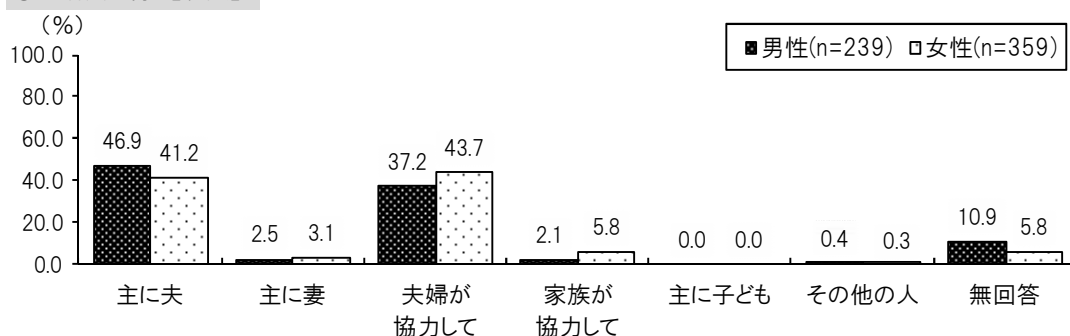
家庭生活の役割分担については、「②日常の家事（料理・掃除など）」や「③日常の家計の管理」などでは「主に妻」が高い割合を占めている。一方、「①生活費を得る」については「主に夫」と「夫婦が協力して」がほぼ並んで高い割合を占めている。また、「⑥地域活動（自治会など）」については、「夫婦が協力して」の割合が最も高く、次いで「主に妻」と「主に夫」に近い割合が続いている。

【現実】

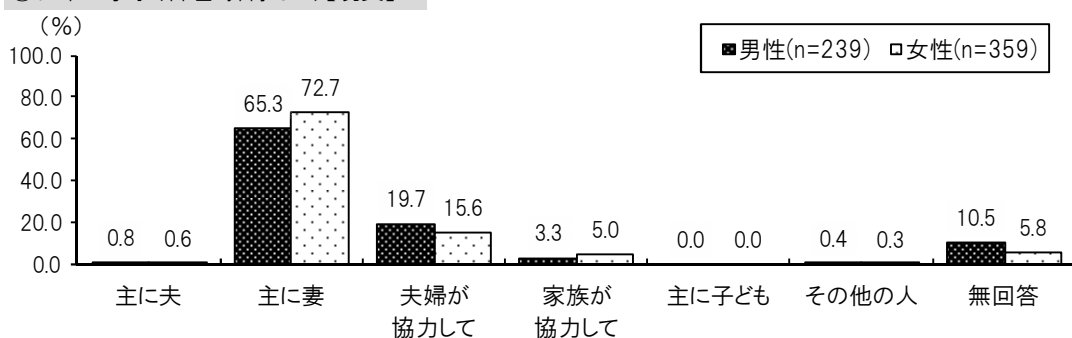


性別では、「④家族の介護や看護」については、現実には「主に妻」の女性の割合が、男性を大きく上回っている。また、「⑤子育て（育児・しつけなど）」については、現実には「主に妻」で女性が男性を上回っており、男性は女性に比べ「夫婦が協力して」が高くなっている。「⑥地域活動（自治会など）」については、現実には「主に夫」で男性が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「主に妻」が高くなっている。

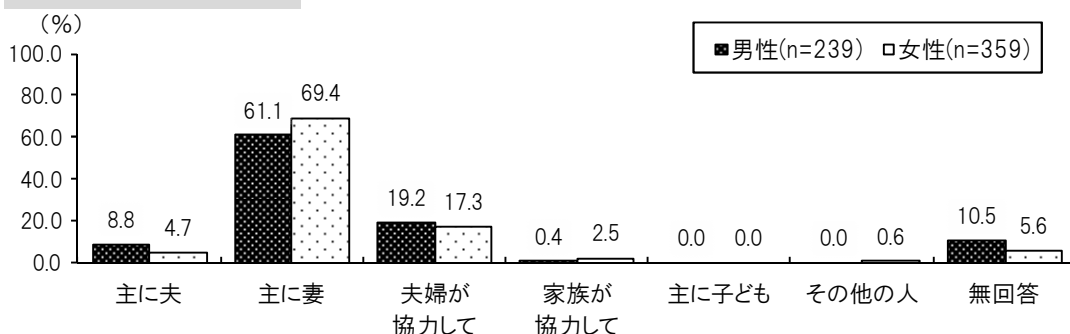
①生活費を得る【現実】



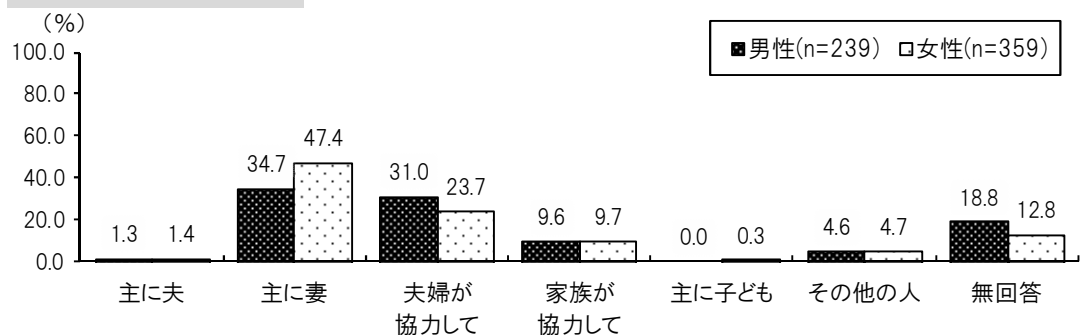
②日常の家事(料理・掃除など)【現実】



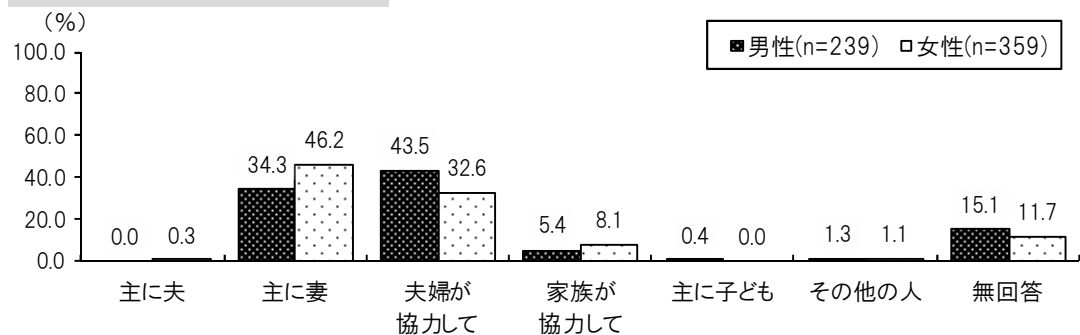
③日常の家計の管理【現実】



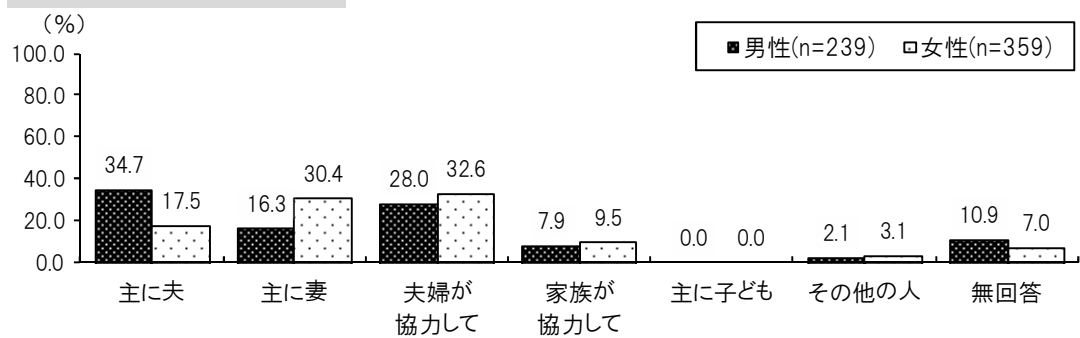
④家族の介護や看護【現実】



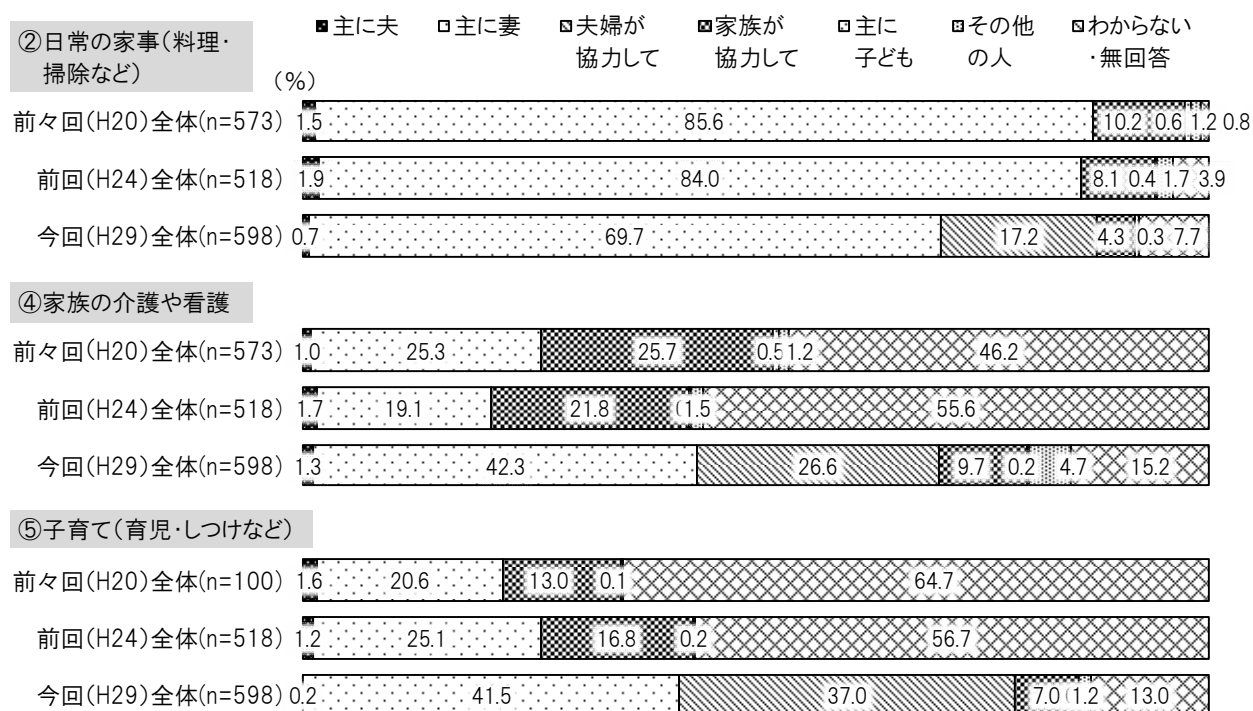
⑤子育て(育児・しつけなど)【現実】



⑥地域活動(自治会など)【現実】



【参考／時系列推移】



注1:「夫婦が協力して」は今回新規選択肢

注2:「②日常の家事(料理・掃除など)」の前回、前々回調査結果は「(ウ)食事のしたく」の結果を表記

注3:前々回調査では、⑤の該当数ベースが異なる

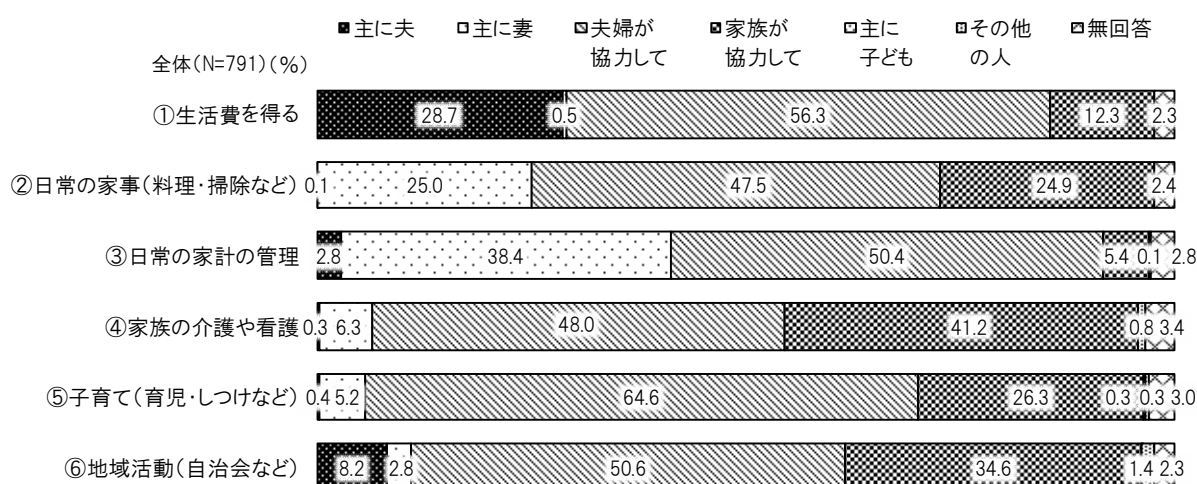
4 家庭生活の役割分担（理想）

【全ての方におたずねします】

問 21 あなたは、①から⑥までの項目について、主に誰が担うのが理想だと思いますか。
（○印1つずつ）

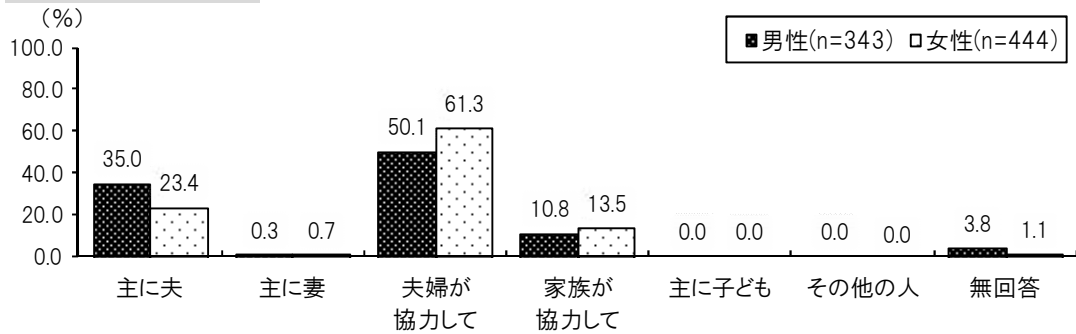
理想的な家庭生活の役割分担については、「家族が協力して」分担するのが理想とする項目が目立っており、特に「④家族の介護や看護」（41.2%）、「⑥地域活動（自治会など）」（34.6%）、「⑤子育て（育児・しつけなど）」（26.3%）、「②日常の家事（料理・掃除など）」（24.9%）があげられる。また、全項目において「夫婦が協力して」分担するのが理想とする割合が高くなっており、各項目で4割以上を占めている。この他、「主に妻」の割合が高いものとして「③日常の家計の管理」（38.4%）、「②日常の家事（料理・掃除など）」（25.0%）があげられる。

【理想】

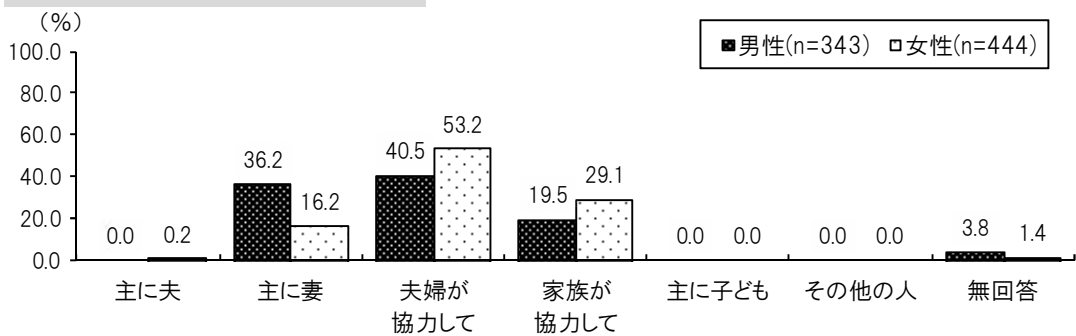


性別では、「①生活費を得る」については、理想は「主に夫」で男性が女性に比べ高くなっており、「夫婦が協力して」で女性が男性を上回っている。また、「②日常の家事（料理・掃除など）」については、理想は「主に妻」で男性が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「夫婦が協力して」「家族が協力して」で高くなっている。この他、「④家族の介護や看護」については、理想は「家族が協力して」で女性が男性を上回っている。

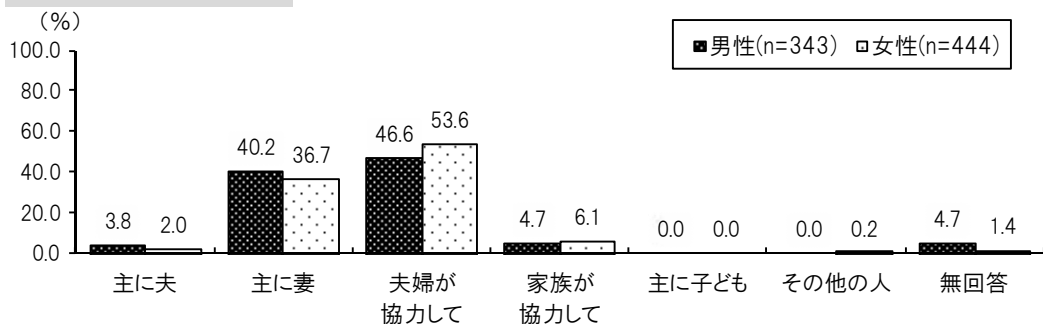
①生活費を得る【理想】



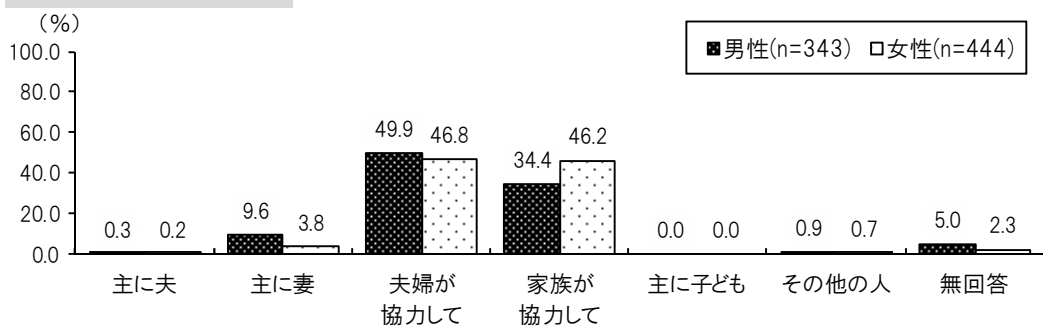
②日常の家事(料理・掃除など)【理想】



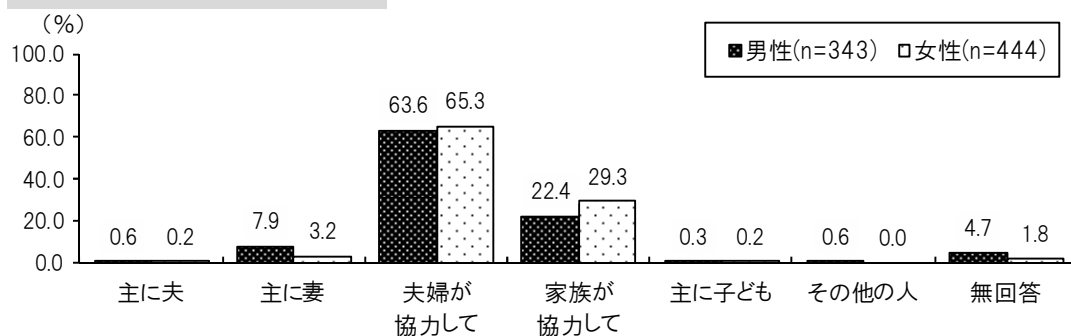
③日常の家計の管理【理想】



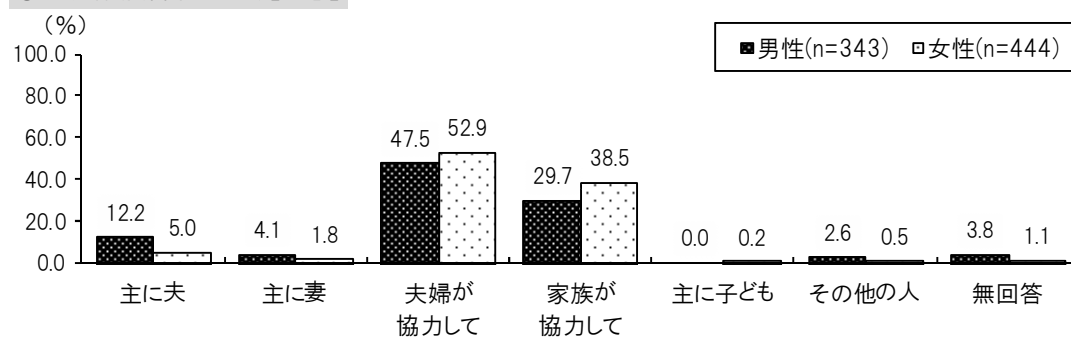
④家族の介護や看護【理想】



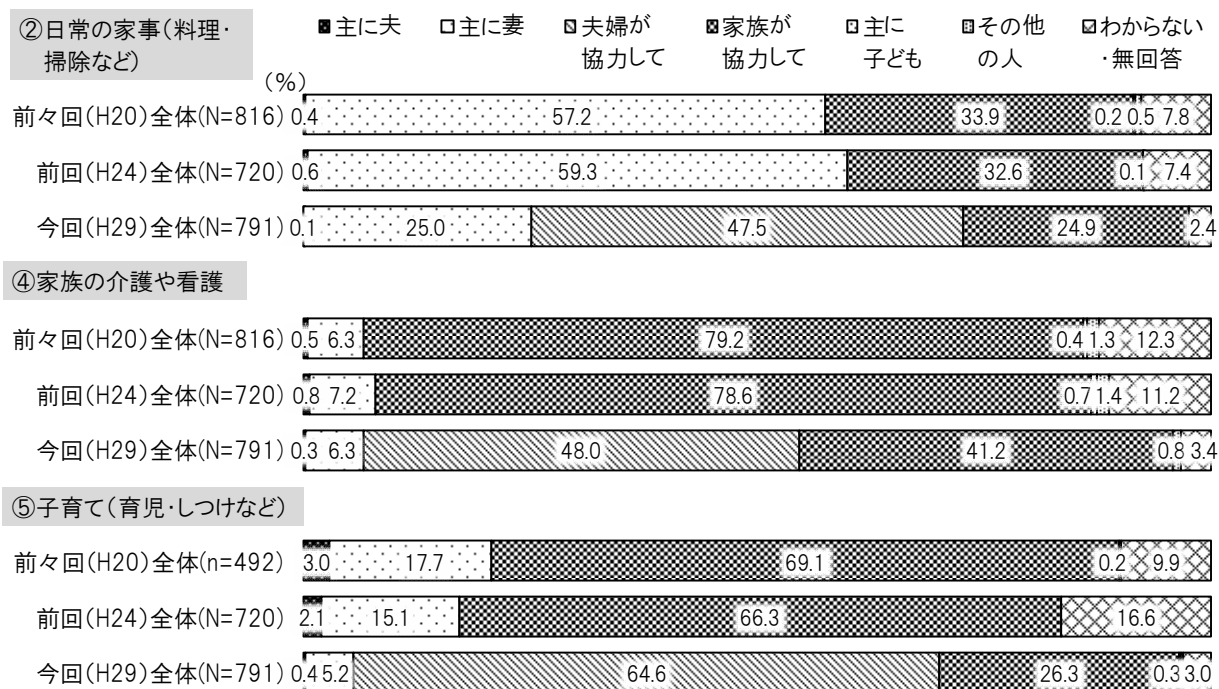
⑤子育て(育児・しつけなど)【理想】



⑥地域活動(自治会など)【理想】



【参考／時系列推移】

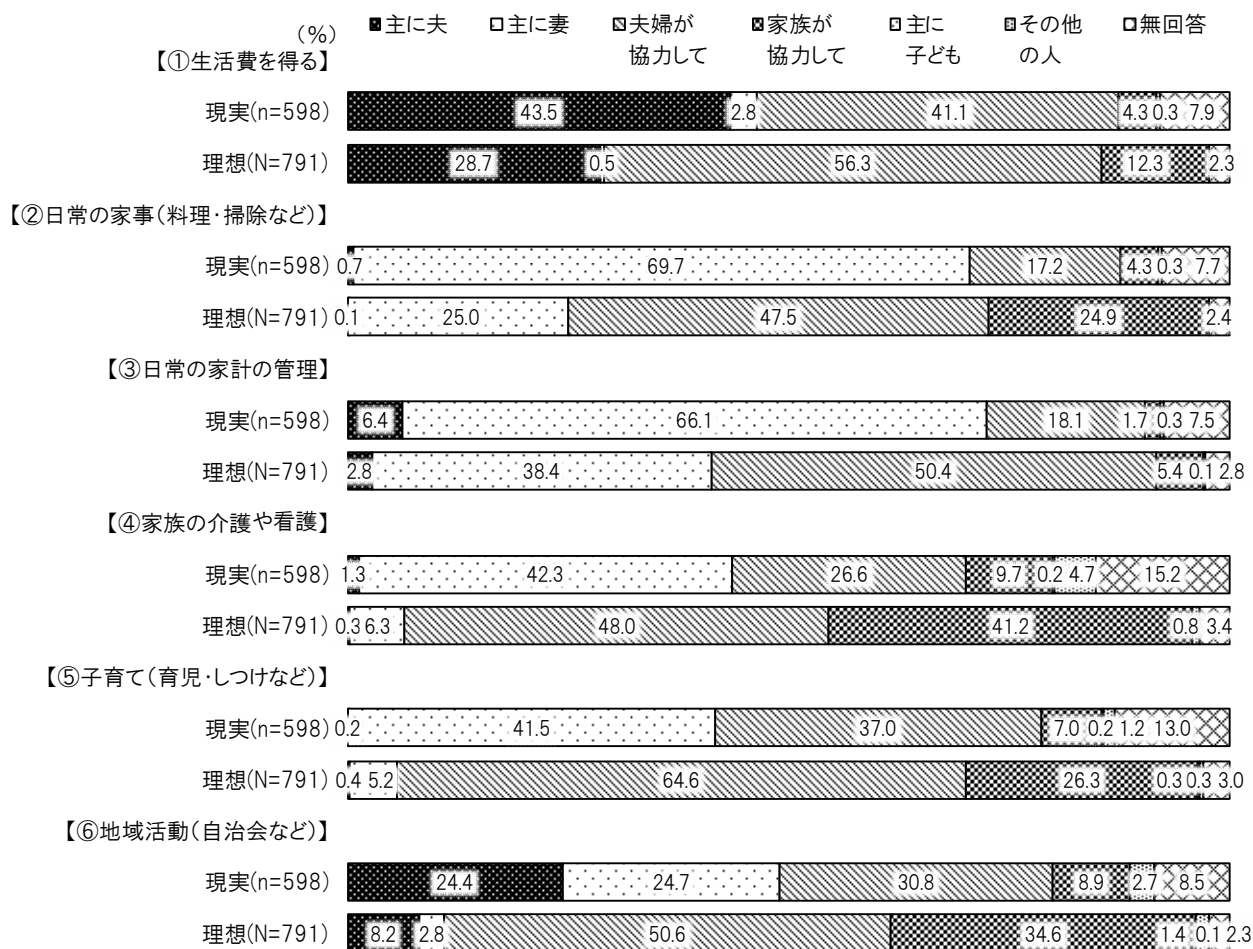


注1:「夫婦が協力して」は今回新規選択肢

注2:「②日常の家事(料理・掃除など)」の前回、前々回調査結果は「(ウ)食事のしたく」の結果を表記

注3:前々回調査では、⑤の該当数ベースが異なる

【参考／理想と現実の比較】

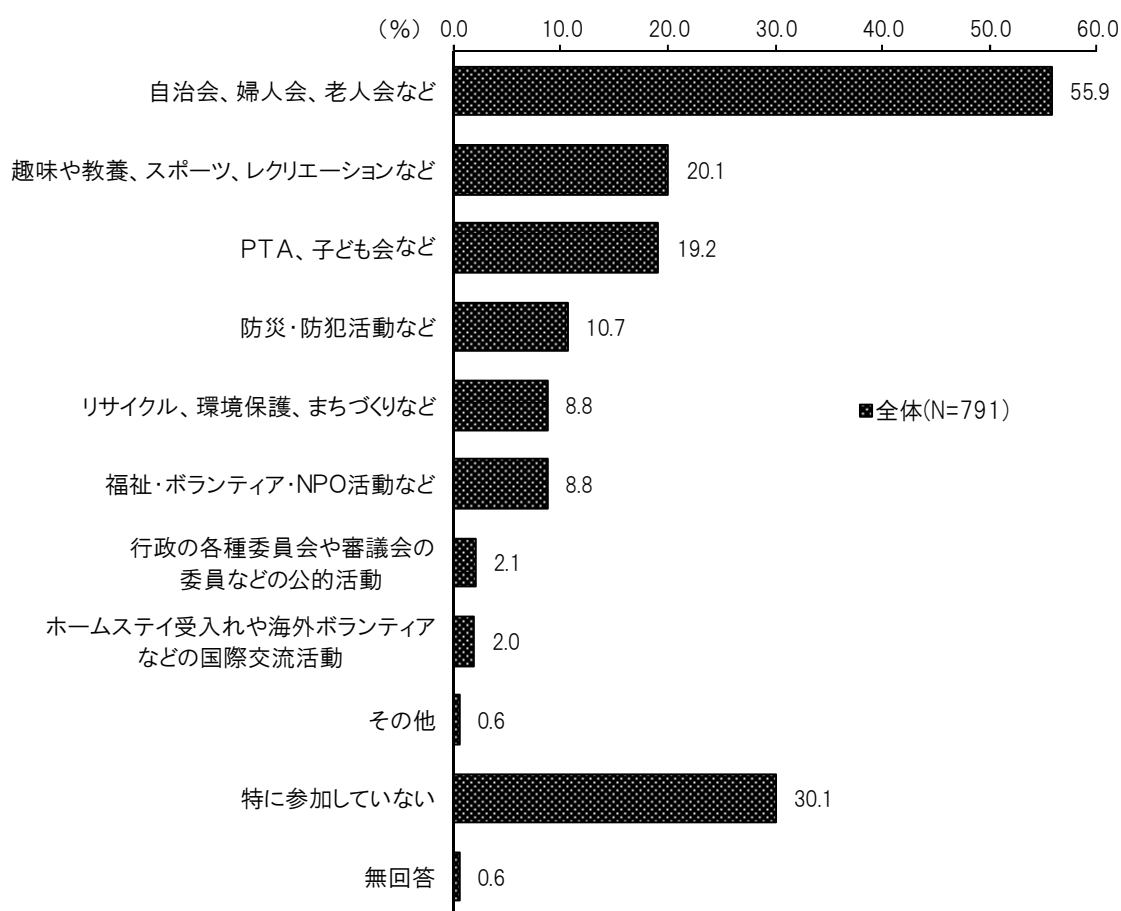


【4】社会参加について

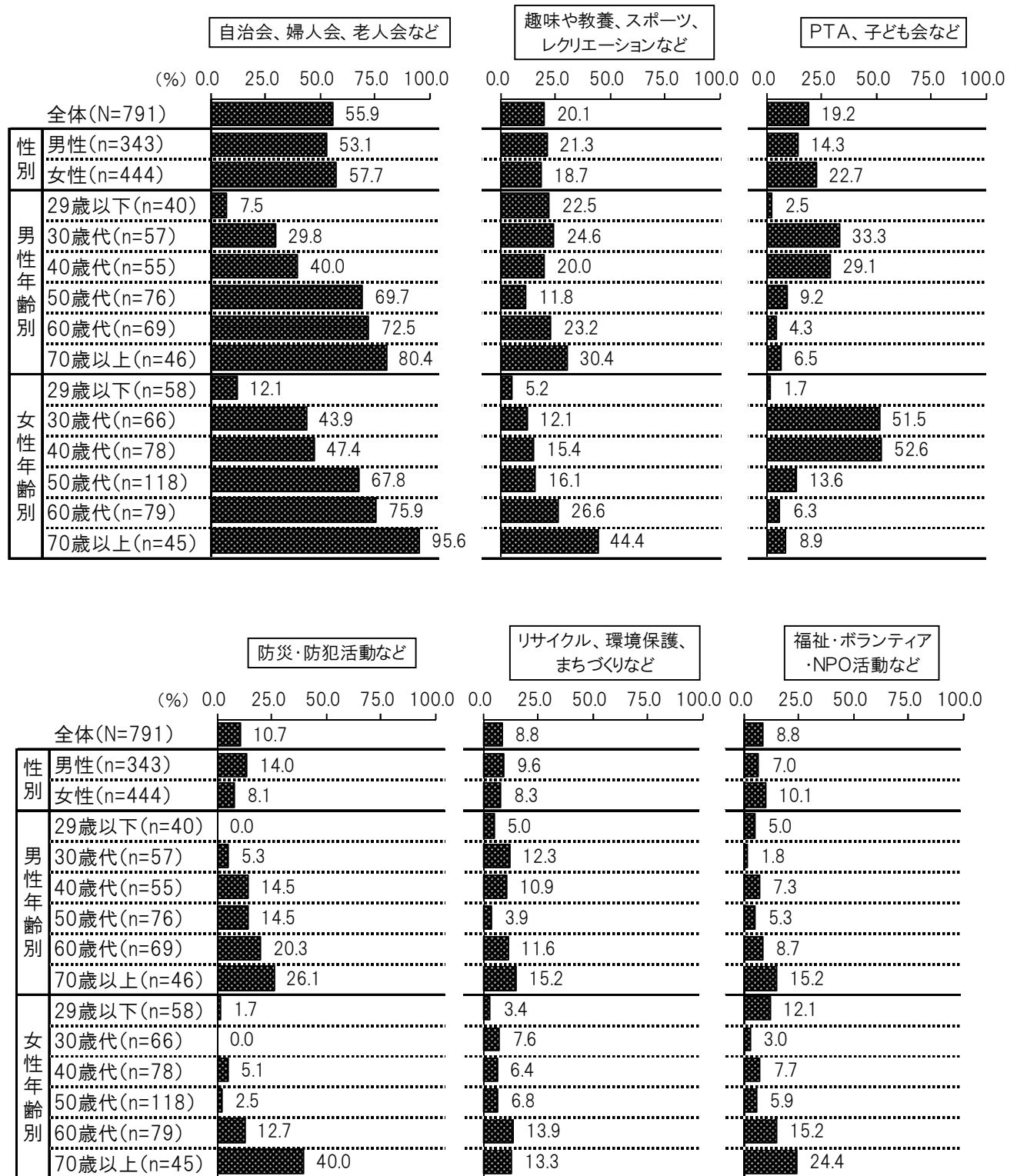
1 地域活動への参加状況

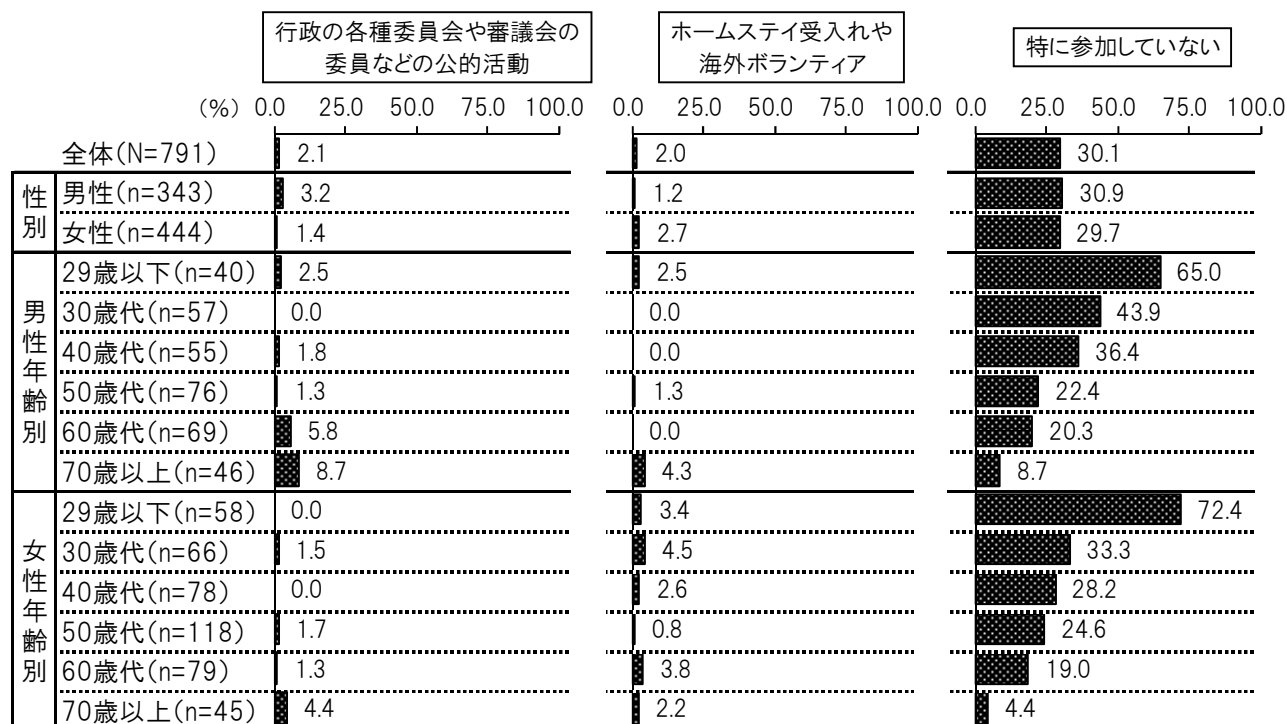
問 22 あなたは、次の地域活動に参加していますか。（○印いくつでも）

地域活動への参加状況については、「自治会、婦人会、老人会など」の割合が55.9%と突出して最も高く、次いで「趣味や教養、スポーツ、レクリエーションなど」（20.1%）、「PTA、子ども会など」（19.2%）、「防災・防犯活動など」（10.7%）の順となっている。また、「特に参加していない」は約3割（30.1%）みられた。



属性別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「自治会、婦人会、老人会など」の参加率が高くなる傾向がみられ、若い年齢層ほど「特に参加していない」の割合が増える傾向にある。また、年齢が上がるほど、男性で「防災・防犯活動など」、女性で「趣味や教養、スポーツ、レクリエーションなど」の参加率が高くなる傾向がみられる。この他、「PTA、子ども会など」では男女ともに30～40歳代の参加率が高くなっており、特に女性の参加率が男性を上回っている。



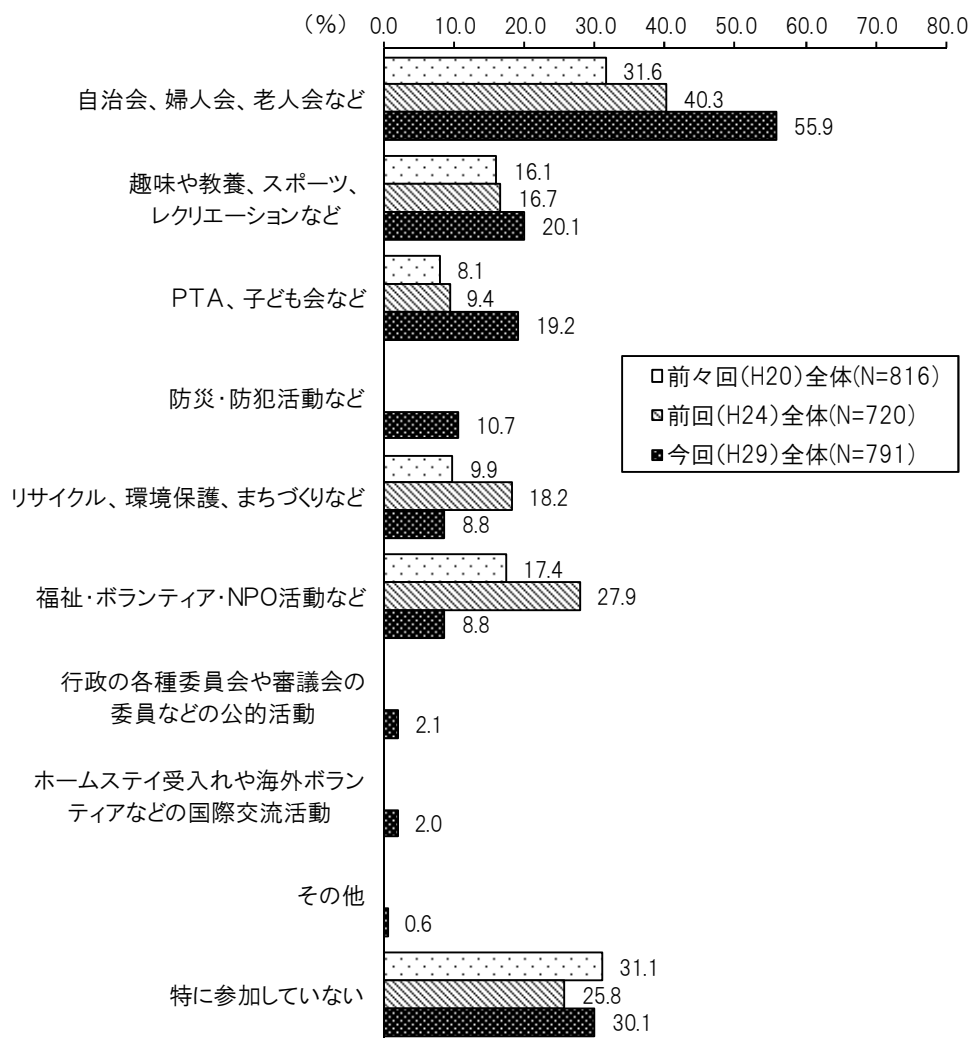


職業別にみると、農林水産業では「自治会、婦人会、老人会など」「防災・防犯活動など」、学生では「福祉・ボランティア・NPO活動など」「特に参加していない」の割合がそれぞれ高くなっている。

(単位: %)

	自治会、 婦人会、 老人会 など	趣味や教養、 レクリエーション など	P T A、 子ども会など	防災・ 防犯活動など	まちづくりなど、 環境保護、 サイクルなど	P O 活動など	福祉・ ボランティア・ N	行政の 各種委員 会などの 公的活 動	国際交 流活動	ホーム ステイ 受入れ などの 海外	その他	特に 参加 して いない
全体(N=791)	55.9	20.1	19.2	10.7	8.8	8.8	2.1	2.0	0.6	30.1		
【職業別】												
農林水産業(n=23)	87.0	21.7	0.0	39.1	8.7	26.1	8.7	0.0	0.0	8.7		
商工サービス・自由業(n=36)	50.0	27.8	16.7	2.8	2.8	13.9	5.6	2.8	0.0	33.3		
農林・自営の家族従事者(n=26)	69.2	30.8	23.1	11.5	15.4	15.4	7.7	3.8	0.0	15.4		
正社員・正職員(n=245)	44.9	18.8	21.2	5.7	6.9	3.3	0.8	0.8	1.2	38.8		
公務員・団体職員(n=62)	53.2	29.0	30.6	16.1	8.1	11.3	1.6	1.6	0.0	32.3		
パート・アルバイト(n=160)	59.4	13.8	27.5	9.4	9.4	6.9	1.3	1.9	0.0	30.0		
家事専業(n=59)	72.9	20.3	15.3	10.2	10.2	8.5	1.7	5.1	0.0	16.9		
無職(n=112)	69.6	23.2	6.3	19.6	13.4	11.6	3.6	1.8	1.8	20.5		
学生(n=26)	0.0	3.8	3.8	0.0	3.8	26.9	0.0	3.8	0.0	61.5		

【参考／時系列推移】



注1：前回、前々回調査では、過去1年間に参加した活動として回答

注2：「自治会、婦人会、老人会など」の前回、前々回調査結果は「婦人会、自治会、子ども会などの地域活動」の結果を表記

注3：「趣味や教養、スポーツ、レクリエーションなど」の前回、前々回調査結果は「スポーツサークル活動」の結果を表記

注4：「PTA、子ども会など」の前回、前々回調査結果は「PTAの役員・委員」の結果を表記

注5：「リサイクル、環境保護、まちづくりなど」の前回、前々回調査結果は「環境保護、まちづくりなどの住民運動や社会活動」の結果を表記

注6：「福祉・ボランティア・NPO活動など」の前回、前々回調査結果は「社会奉仕などのボランティア活動」の結果を表記

2 地域活動に参加していない理由

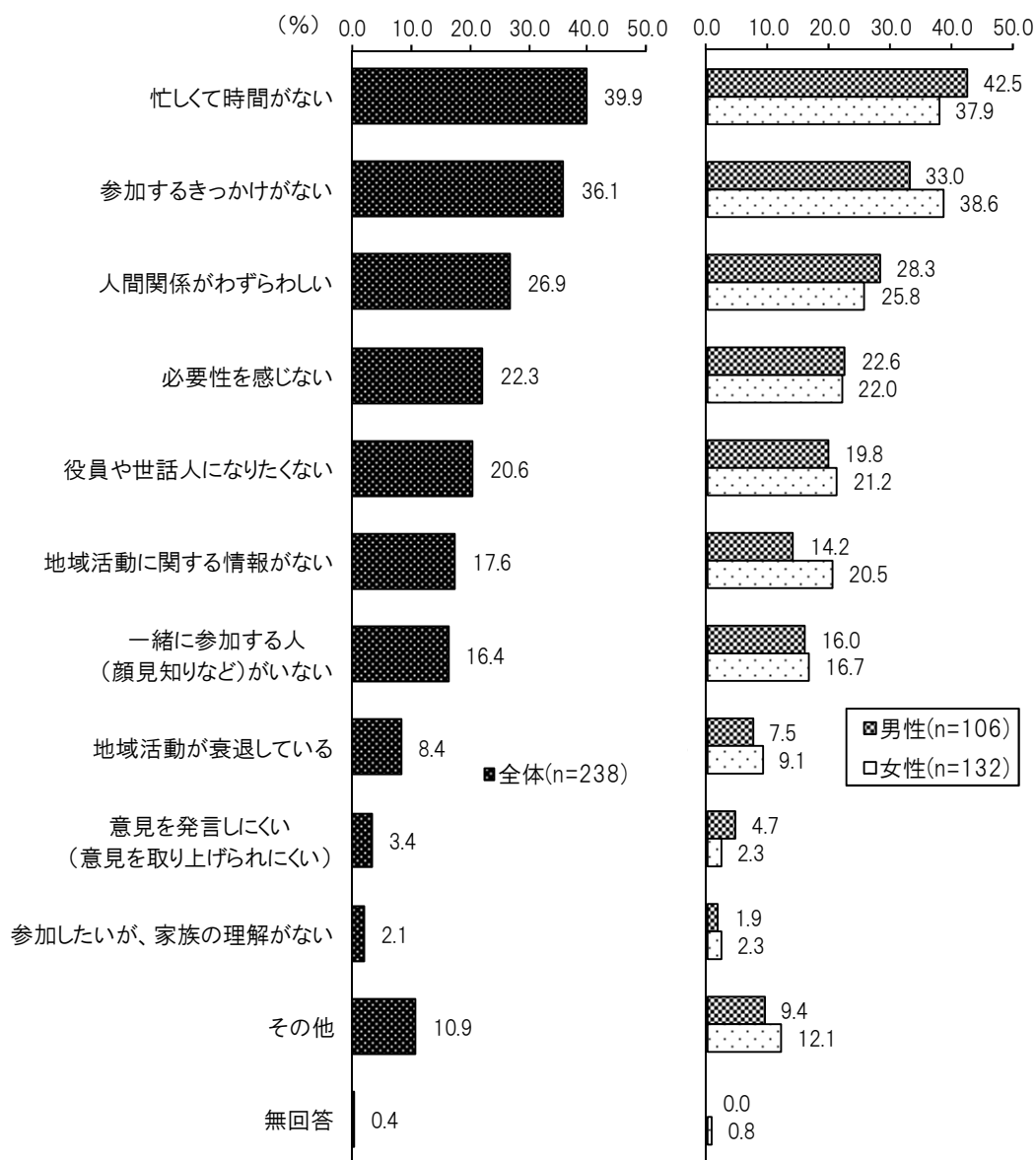
【問 22 で「10」と答えた方におたずねします】

問 23 「特に参加していない」理由を教えてください。（○印いくつでも）

地域活動に参加していない理由については、「忙しくて時間がない」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「参加するきっかけがない」(36.1%)、「人間関係がわずらわしい」(26.9%)、「必要性を感じない」(22.3%)、「役員や世話人になりたくない」(20.6%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「忙しくて時間がない」などの割合が高く、女性は「参加するきっかけがない」「地域活動に関する情報がない」などで男性を大きく上回っている。

「その他」については、「両親が参加しているから」「県外にすることが多いから」などの意見がみられた。



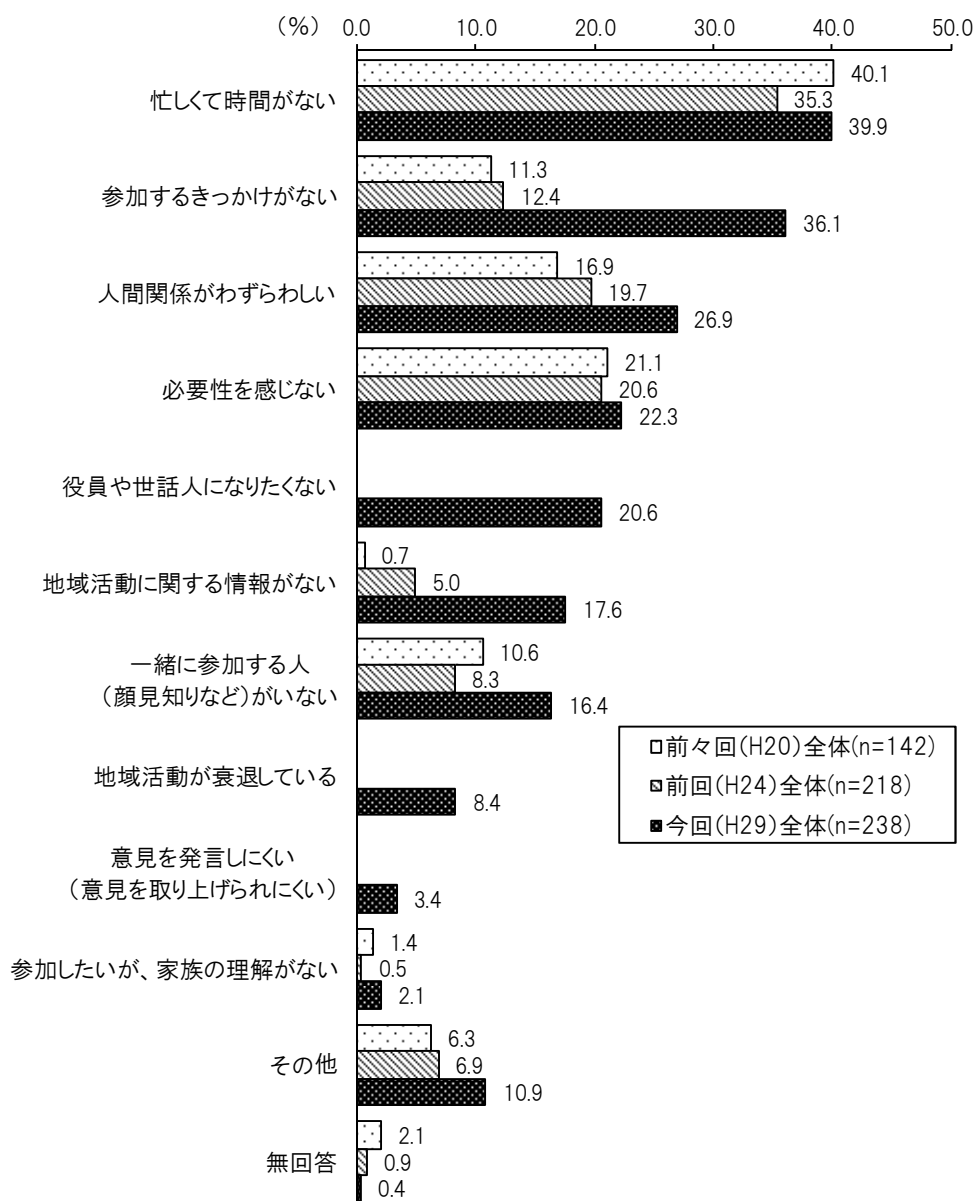
職業別にみると、商工サービス・自由業では「忙しくて時間がない」、正社員・正職員、公務員・団体職員、学生では「参加するきっかけがない」、家事専業では「地域活動に関する情報がない」の割合がそれぞれ高くなっている。

(単位:%)

	忙しくて時間がない	参加するきっかけがない	人間関係がわずらわしい	必要性を感じない	役員や世話人になりたくない	地域活動に関する情報がない	一緒に参加する人(顔見知りなど)がない	地域活動が衰退している	意見を発言しにくい(意見を上げられにくい)	参加したいが、家族の理解がない	その他
全体(n=238)	39.9	36.1	26.9	22.3	20.6	17.6	16.4	8.4	3.4	2.1	10.9
【職業別】											
農林水産業(n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
商工サービス・自由業(n=12)	75.0	8.3	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
農林・自営の家族従事者(n=4)	50.0	0.0	75.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
正社員・正職員(n=95)	48.4	47.4	24.2	23.2	18.9	20.0	15.8	9.5	1.1	1.1	5.3
公務員・団体職員(n=20)	45.0	45.0	15.0	25.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	0.0	10.0
パート・アルバイト(n=48)	33.3	27.1	35.4	25.0	29.2	14.6	29.2	10.4	4.2	2.1	12.5
家事専業(n=10)	10.0	20.0	30.0	30.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
無職(n=23)	4.3	26.1	34.8	26.1	21.7	13.0	8.7	8.7	8.7	0.0	30.4
学生(n=16)	50.0	43.8	6.3	6.3	12.5	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0	25.0

注：農林水産業、農林・自営の家族従事者については、件数(n)が少ないため、参考値として参照。

【参考／時系列推移】



注1: 前回、前々回調査では、回答は3つまでとなっている

注2: 「忙しくて時間がない」の前回、前々回調査結果は「仕事が忙しいから」の結果を表記している

注3: 「人間関係がわずらわしい」の前回、前々回調査結果は「人とつきあうのが苦手だから」の結果を表記している

注4: 「必要性を感じない」の前回、前々回調査結果は「関心がないから」の結果を表記している

注5: 「地域活動に関する情報がない」の前回、前々回調査結果は「情報入手が困難だから」の結果を表記している

注6: 「参加したいが、家族の理解がない」の前回、前々回調査結果は「夫(または妻)が反対するから」の結果を表記している

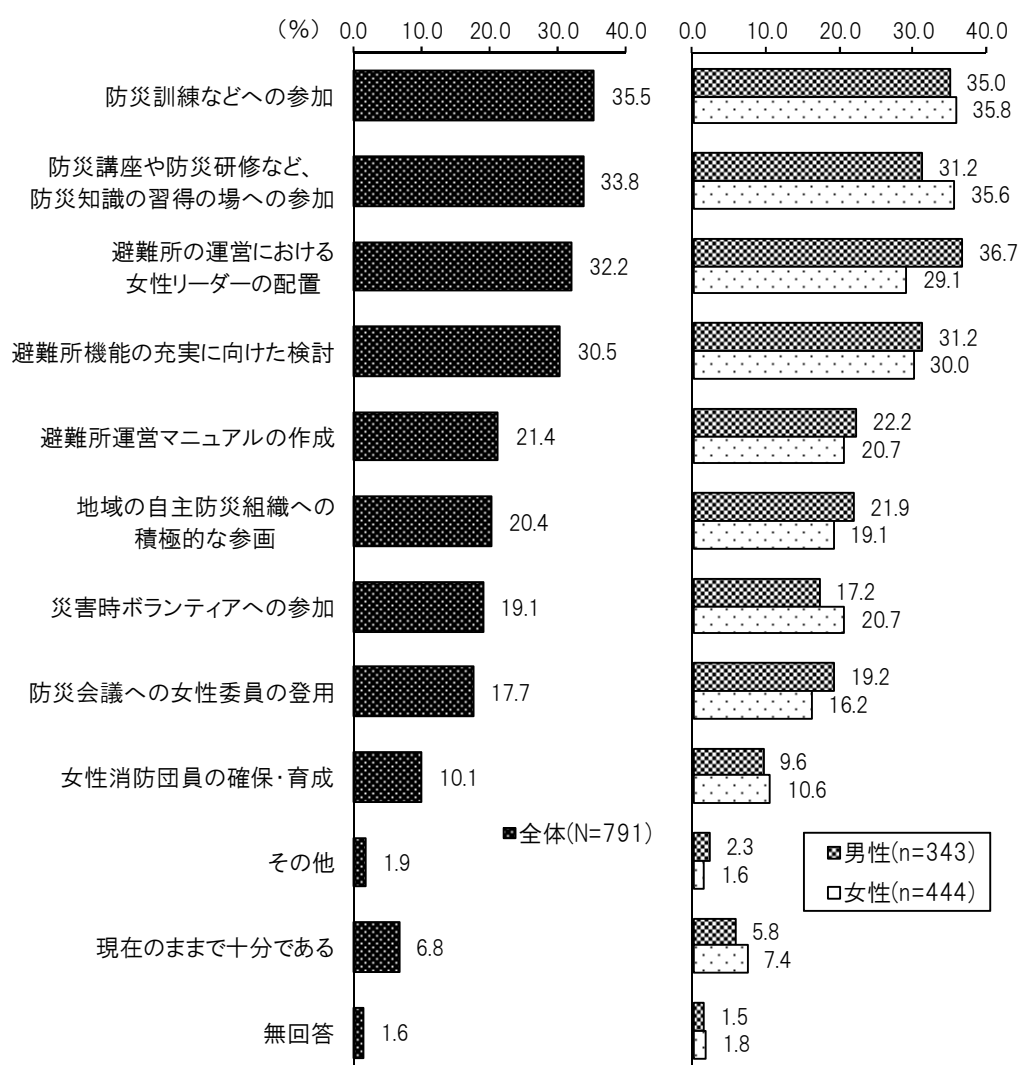
3 防災における女性活躍の取組

【全ての方におたずねします】

問 24 防災・災害復興対策において、女性の視点が必要とされています。どのような取組や活動において、より女性の活躍が必要だと思いますか。（○印3つまで）

防災・災害復興対策で必要とされる女性の活躍については、「防災訓練などへの参加」の割合が35.5%と最も高く、次いで「防災講座や防災研修など、防災知識の習得の場への参加」（33.8%）、「避難所の運営における女性リーダーの配置」（32.2%）、「避難所機能の充実に向けた検討」（30.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「避難所の運営における女性リーダーの配置」などの割合が高く、女性は「防災講座や防災研修など、防災知識の習得の場への参加」などで男性を上回っている。



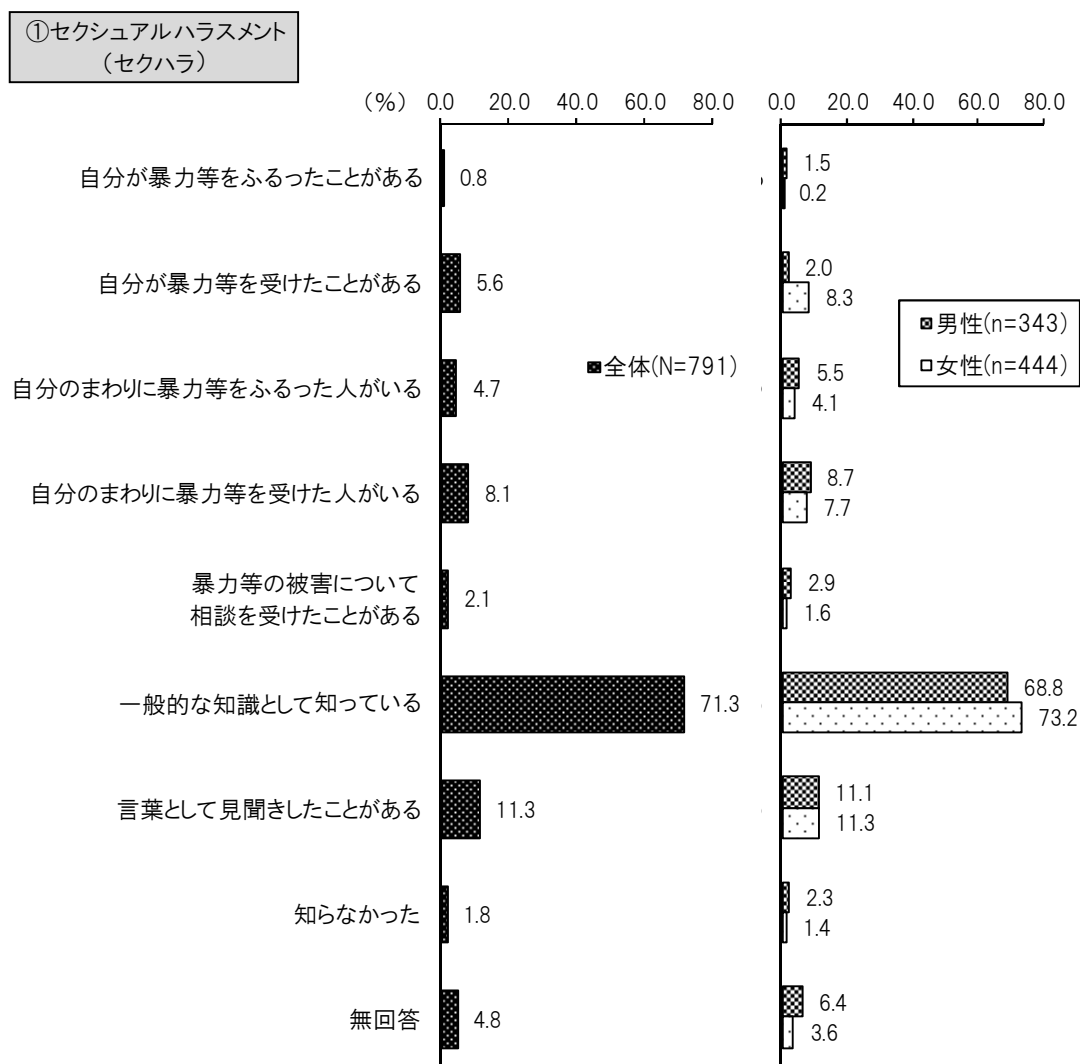
【5】男女間の暴力について

1 ハラスメントの経験

問 25 あなたは、次の①から⑤までの項目について経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。（○印それぞれいくつでも）

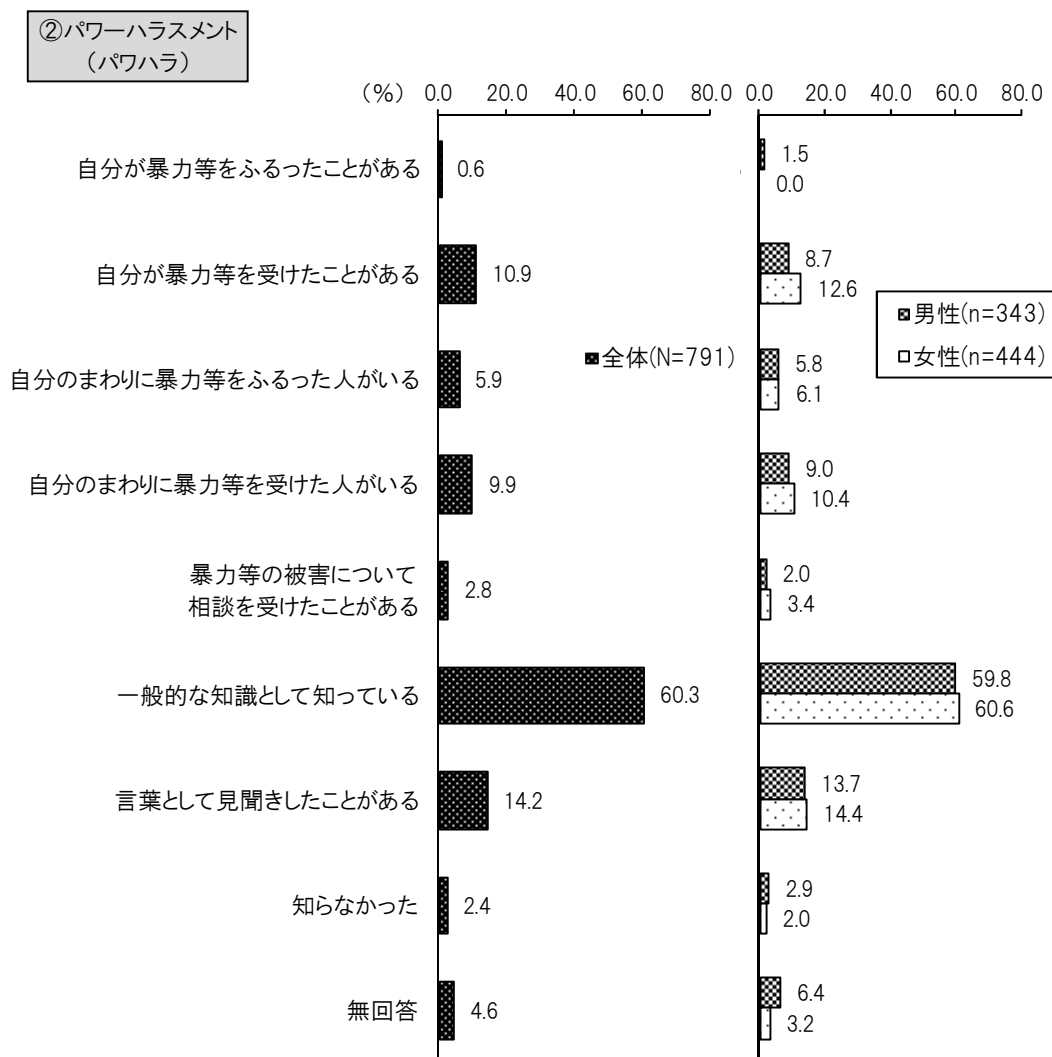
①セクシュアルハラスメント（セクハラ）の経験については、全体の約7割（71.3%）が「一般的な知識として知っている」と回答しており、「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」が8.1%、「自分のまわりに暴力等をふるった人がある」が4.7%みられた。さらに、「自分が暴力等を受けたことがある」は5.6%、「自分が暴力等をふるったことがある」は0.8%となっている。また、「暴力等の被害について相談を受けたことがある」は2.1%であった。

性別では、女性は「自分が暴力等を受けたことがある」「一般的な知識として知っている」で男性を上回っている。



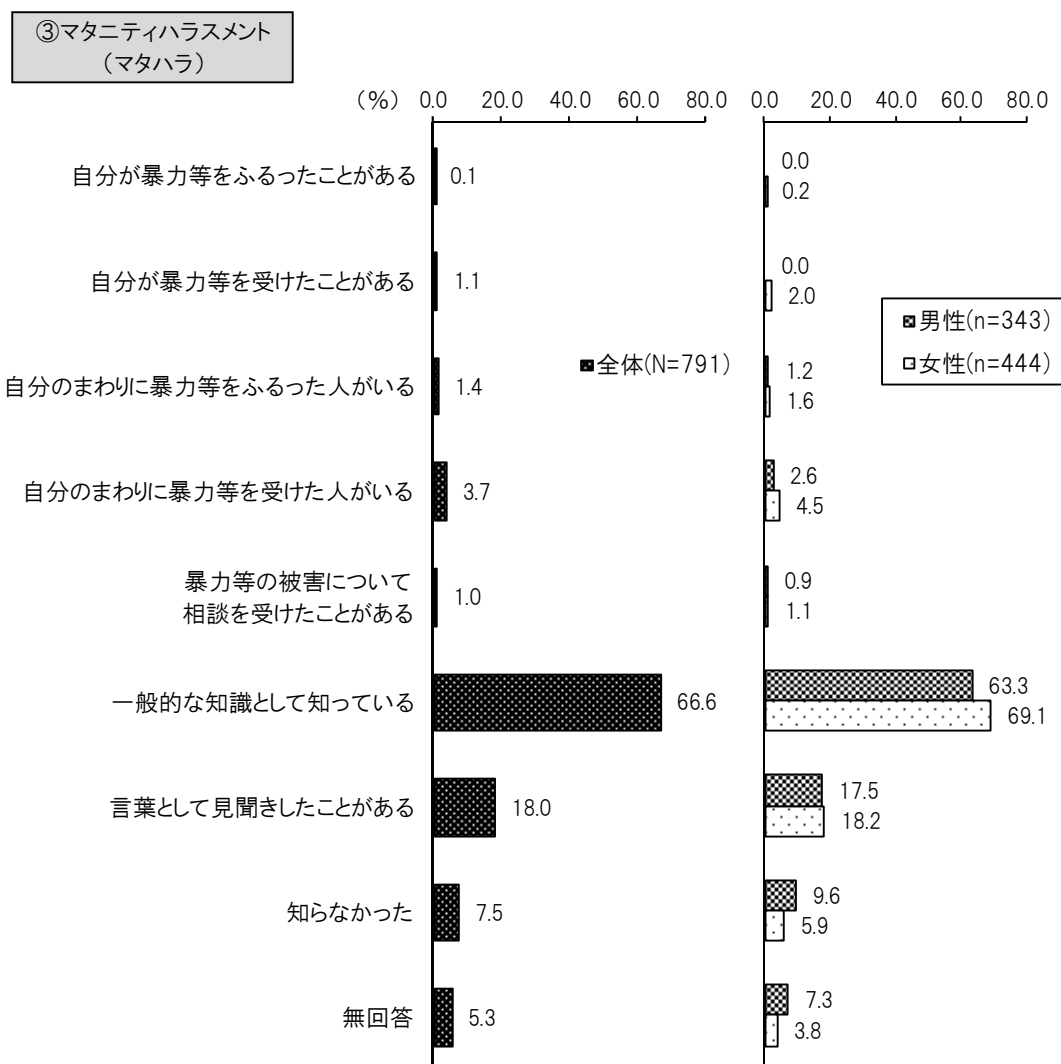
②パワーハラスメント（パワハラ）の経験については、全体の約6割（60.3%）が「一般的な知識として知っている」と回答しており、「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」が9.9%、「自分のまわりに暴力等をふるった人がある」が5.9%みられた。さらに、「自分が暴力等を受けたことがある」は10.9%、「自分が暴力等をふるったことがある」は0.6%となっている。また、「暴力等の被害について相談を受けたことがある」は2.8%であった。

性別では、女性は「自分が暴力等を受けたことがある」で男性をやや上回っている。



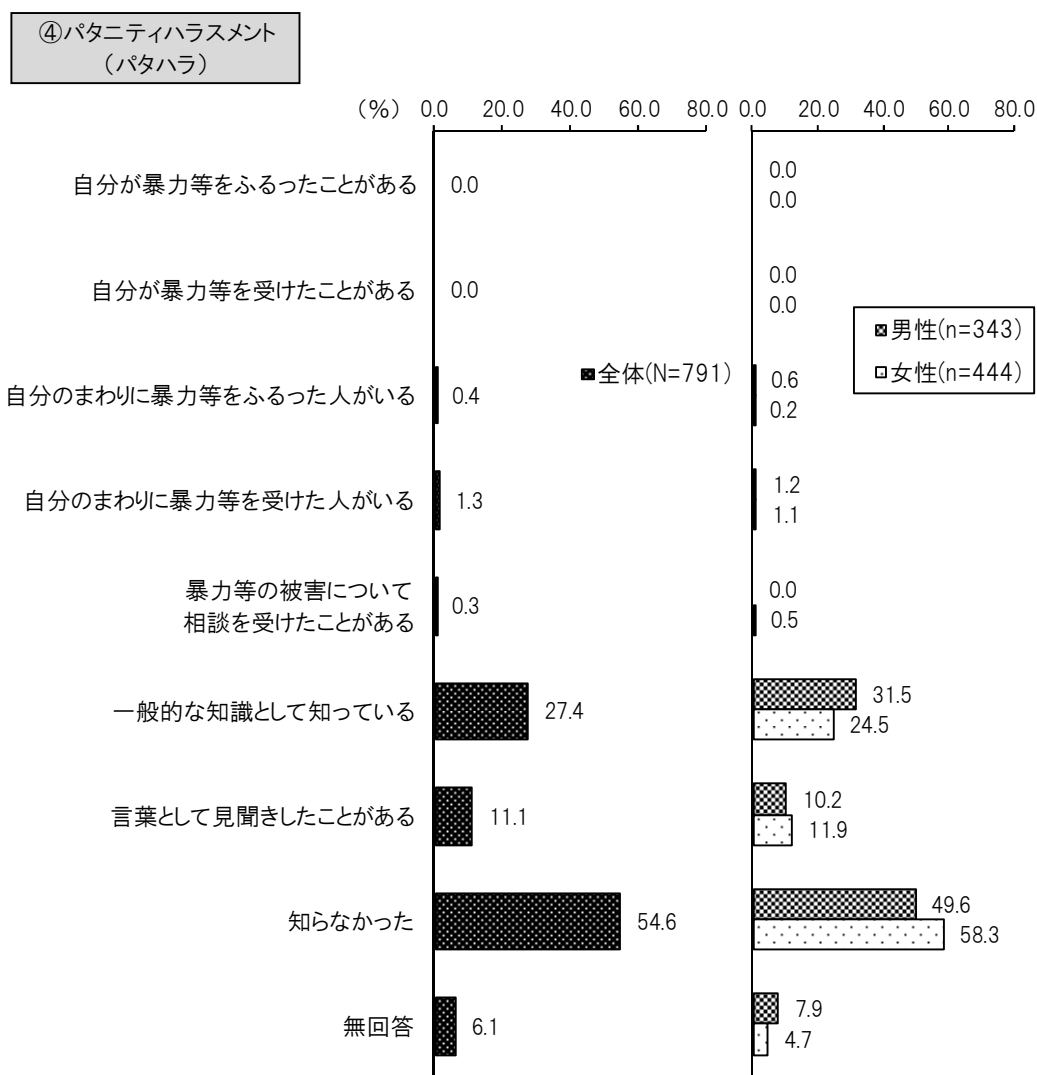
③マタニティハラスメント（マタハラ）の経験については、全体の6割以上（66.6%）が「一般的な知識として知っている」と回答しており、「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」が3.7%、「自分のまわりに暴力等をふるった人がある」が1.4%みられた。さらに、「自分が暴力等を受けたことがある」は1.1%となっている。また、「暴力等の被害について相談を受けたことがある」は1.0%であった。

性別では、男性は女性に比べ「知らなかった」の割合がやや高く、女性は「一般的な知識として知っている」で男性を上回っている。



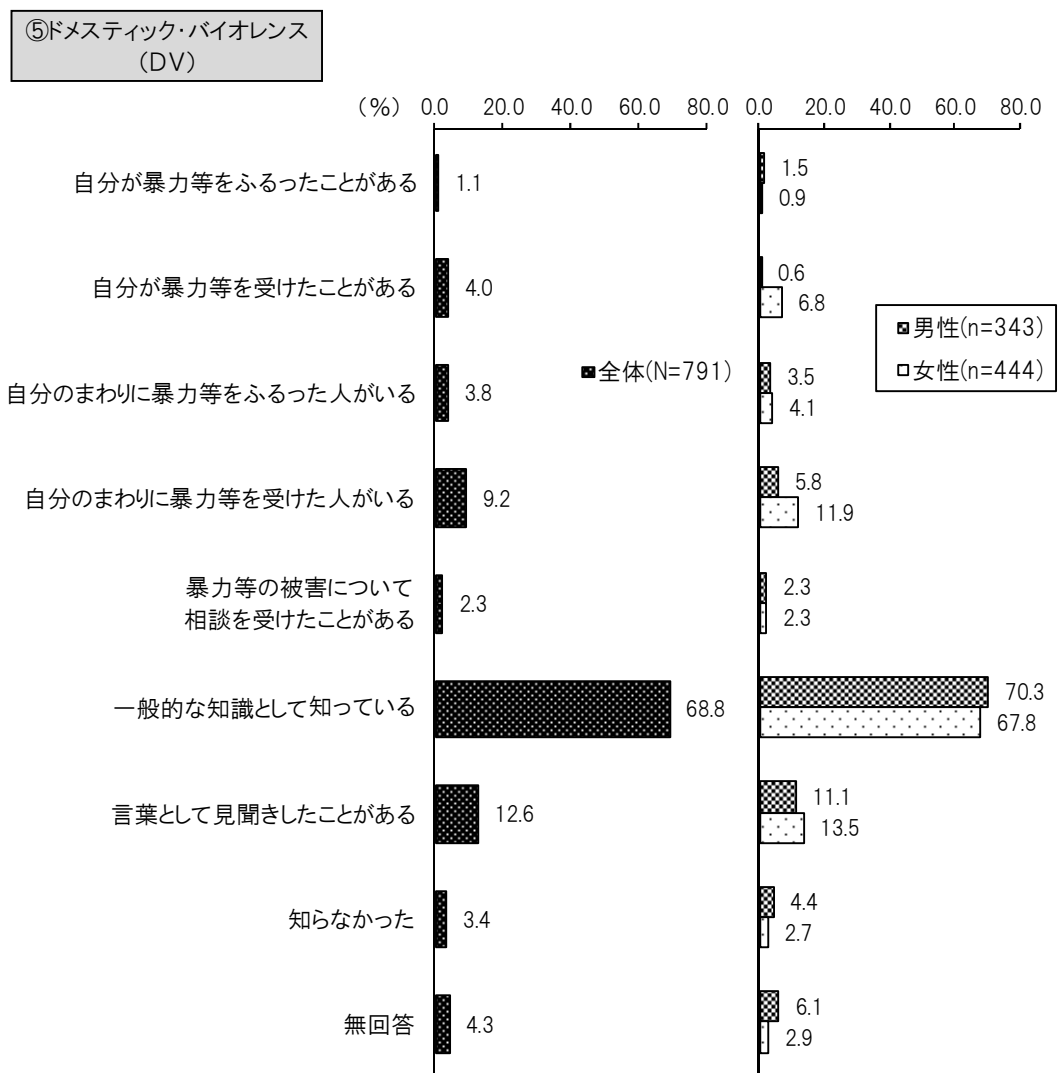
④パタニティハラスメント（パタハラ）の経験については、全体の3割近く（27.4%）が「一般的な知識として知っている」と回答しているが、過半数（54.6%）は「知らなかった」と回答している。また、「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」が1.3%、「自分のまわりに暴力等をふるった人がある」が0.4%、「暴力等の被害について相談を受けたことがある」は0.3%であった。

性別では、男性は女性に比べ「一般的な知識として知っている」の割合が高く、女性は「知らなかった」で男性を大きく上回っている。

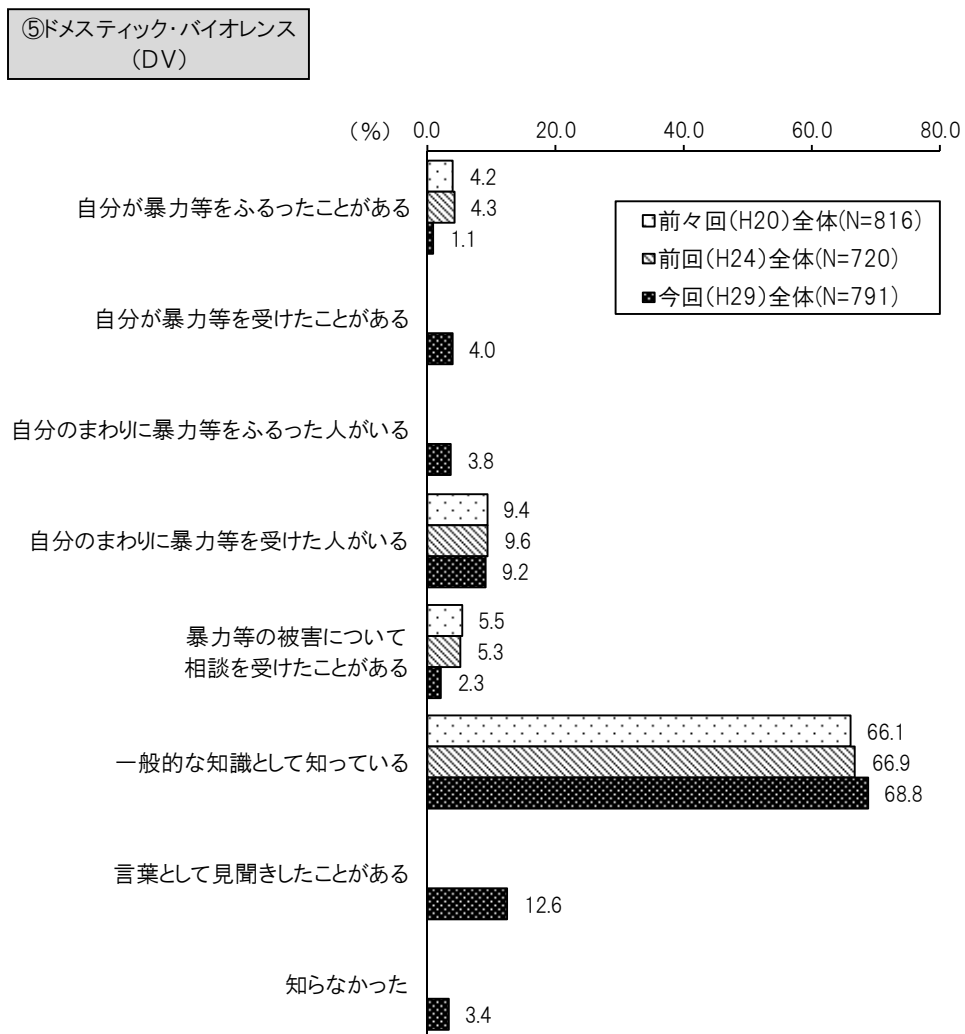


⑤ドメスティック・バイオレンス（DV）の経験については、全体の約7割（68.8%）が「一般的な知識として知っている」と回答しており、「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」が9.2%、「自分のまわりに暴力等をふるった人がある」が3.8%みられた。さらに、「自分が暴力等を受けたことがある」は4.0%、「自分が暴力等をふるったことがある」は1.1%となっている。また、「暴力等の被害について相談を受けたことがある」は2.3%であった。

性別では、女性は「自分が暴力等を受けたことがある」「自分のまわりに暴力等を受けた人がある」で男性を上回っている。



【参考／時系列推移】



注1:「自分が暴力等を受けたことがある」は、前回、前々回調査では、回答が複数に分かれるため比較していない

注2:「一般的な知識として知っている」の前回、前々回調査結果は「暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の結果を表記

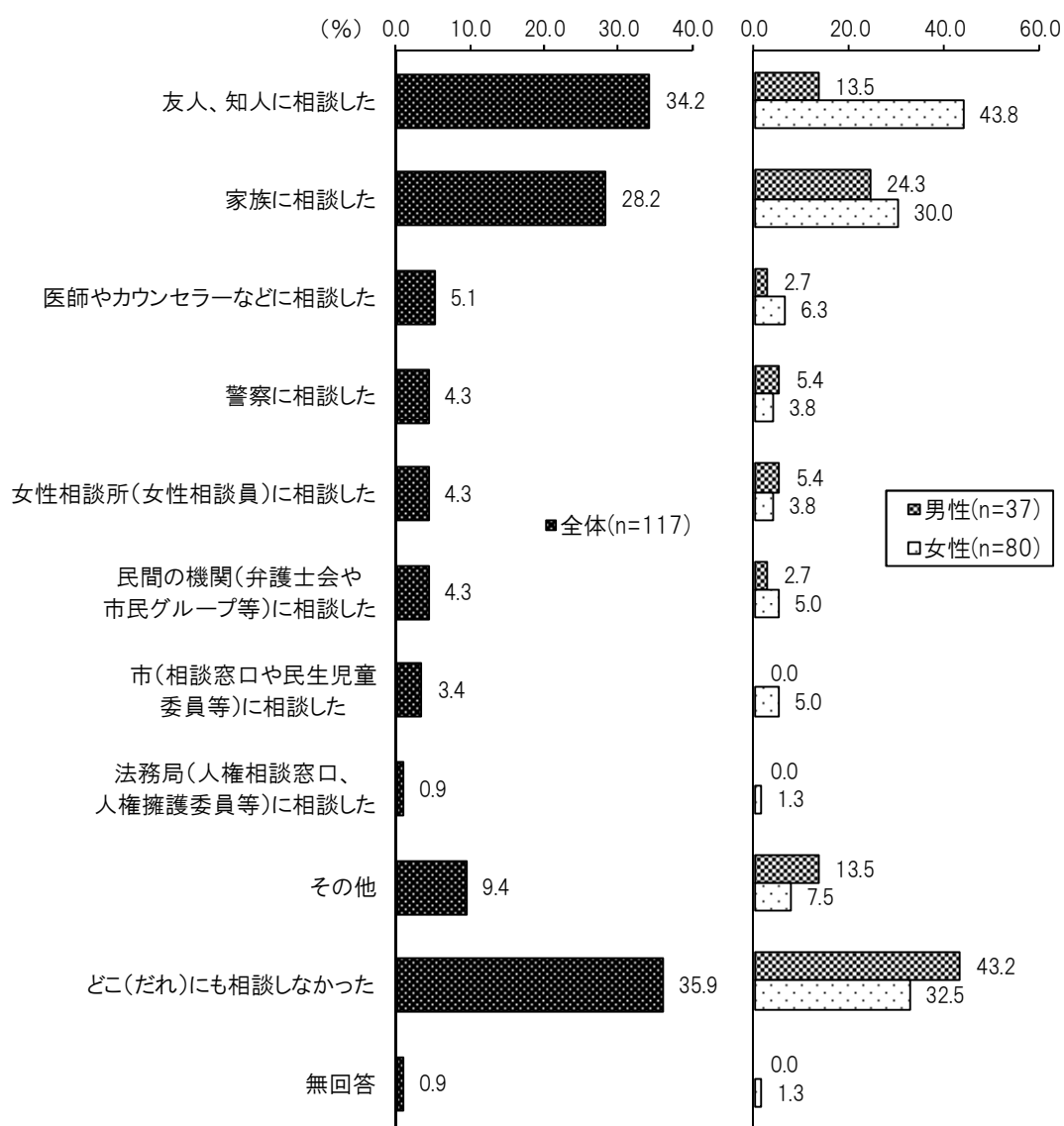
2 DVの相談先

【問 25 ⑤「DV」について「1～5」と答えた方におたずねします】

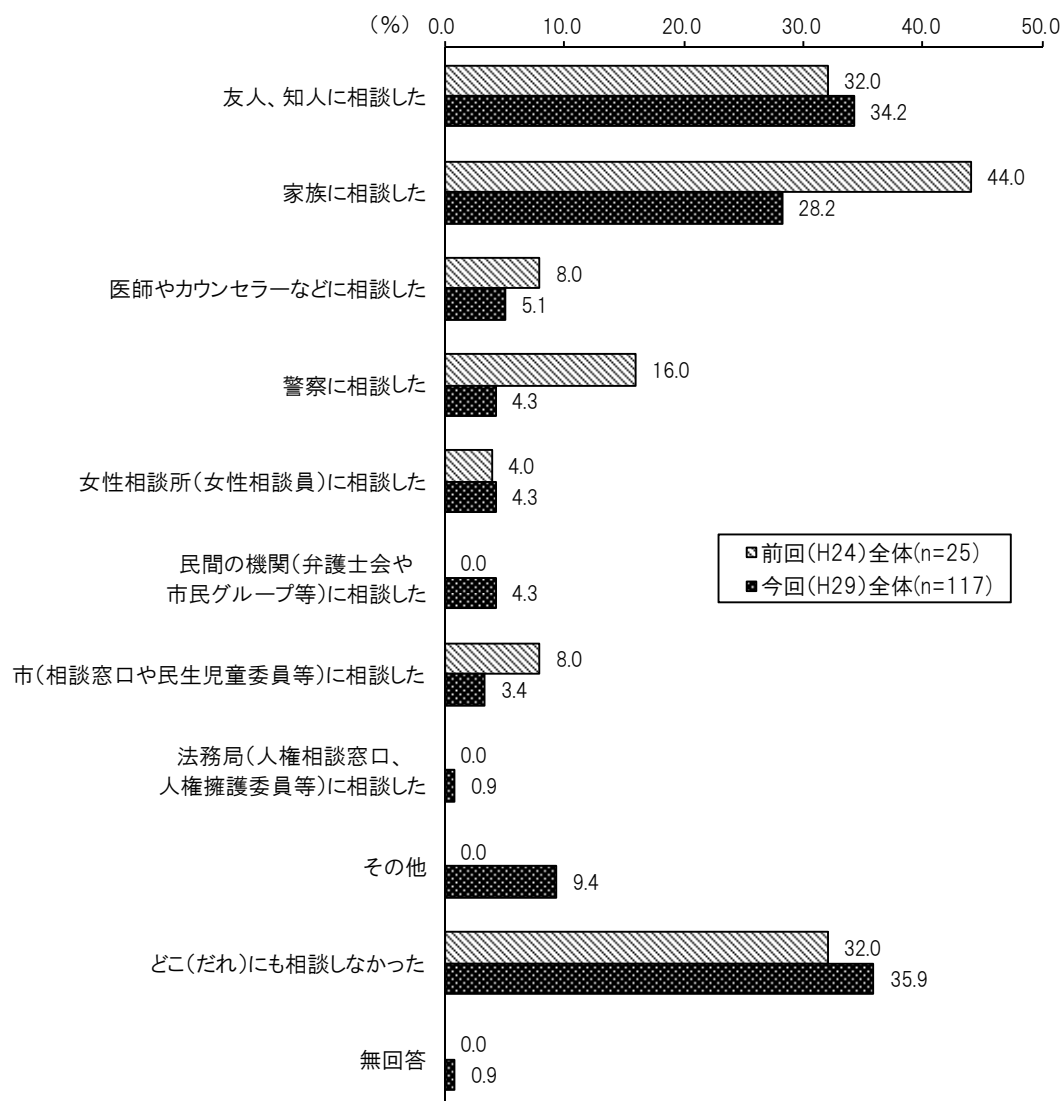
問 26 あなたは、経験したことや見聞きしたことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○印いくつでも）

DVの相談先については、全体では「友人、知人に相談した」の割合が34.2%と最も高く、次いで「家族に相談した」（28.2%）が続いている。一方、3割以上（35.9%）は「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答している。

性別では、男性は女性に比べ「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が高く、女性は「友人、知人に相談した」「家族に相談した」「市（相談窓口や民生児童委員等）に相談した」などで男性を上回っている。



【参考／時系列推移】



注1：前回調査では、暴力を受けた人を対象に調査

注2：「医師やカウンセラーなどに相談した」は、前回、前々回調査では「医師に相談した」

3 相談しなかった理由

【問 26 で「10」と答えた方におたずねします】

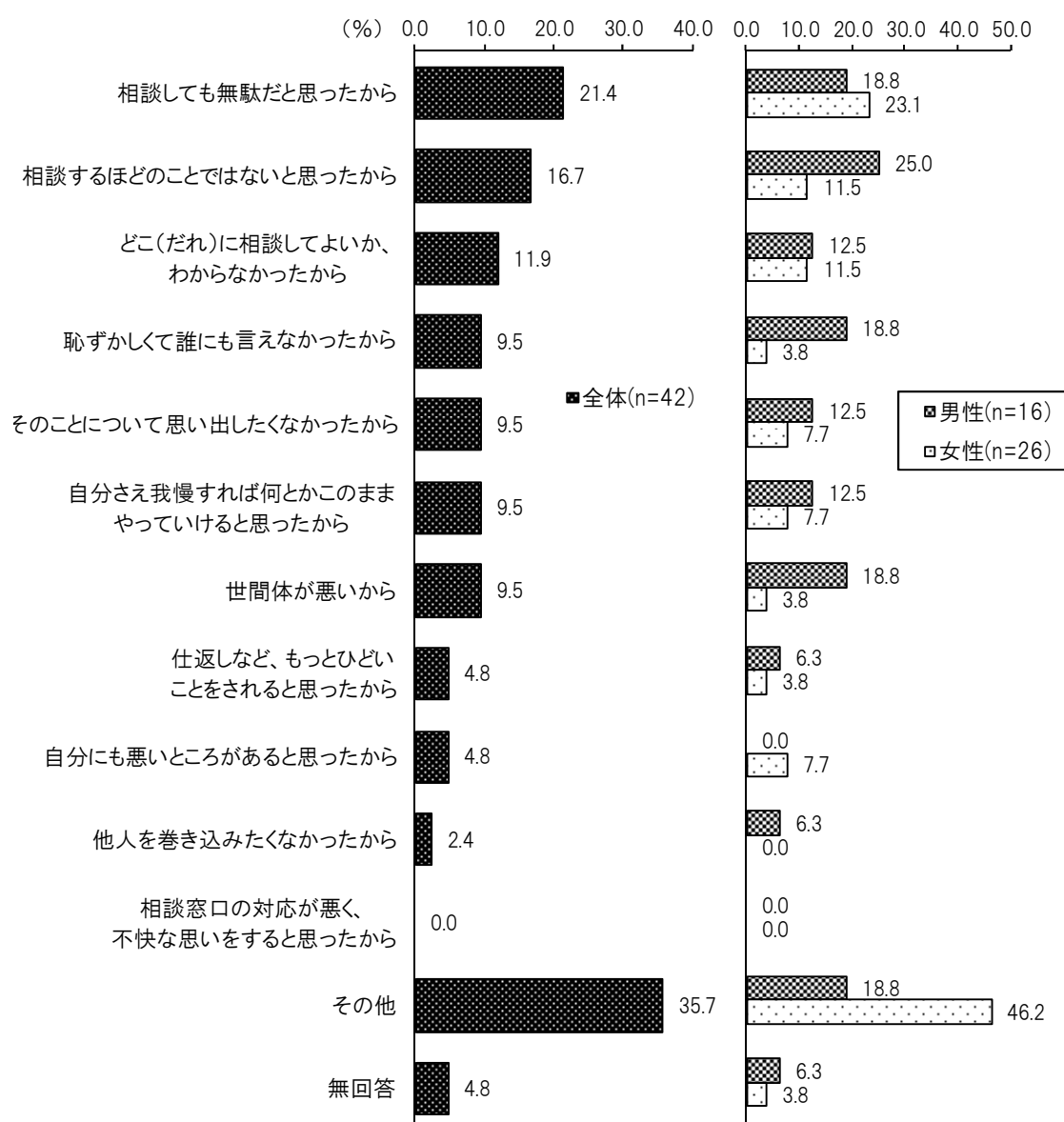
問 27 あなたが「どこ（だれ）にも相談しなかった」のは、なぜですか。

（○印いくつでも）

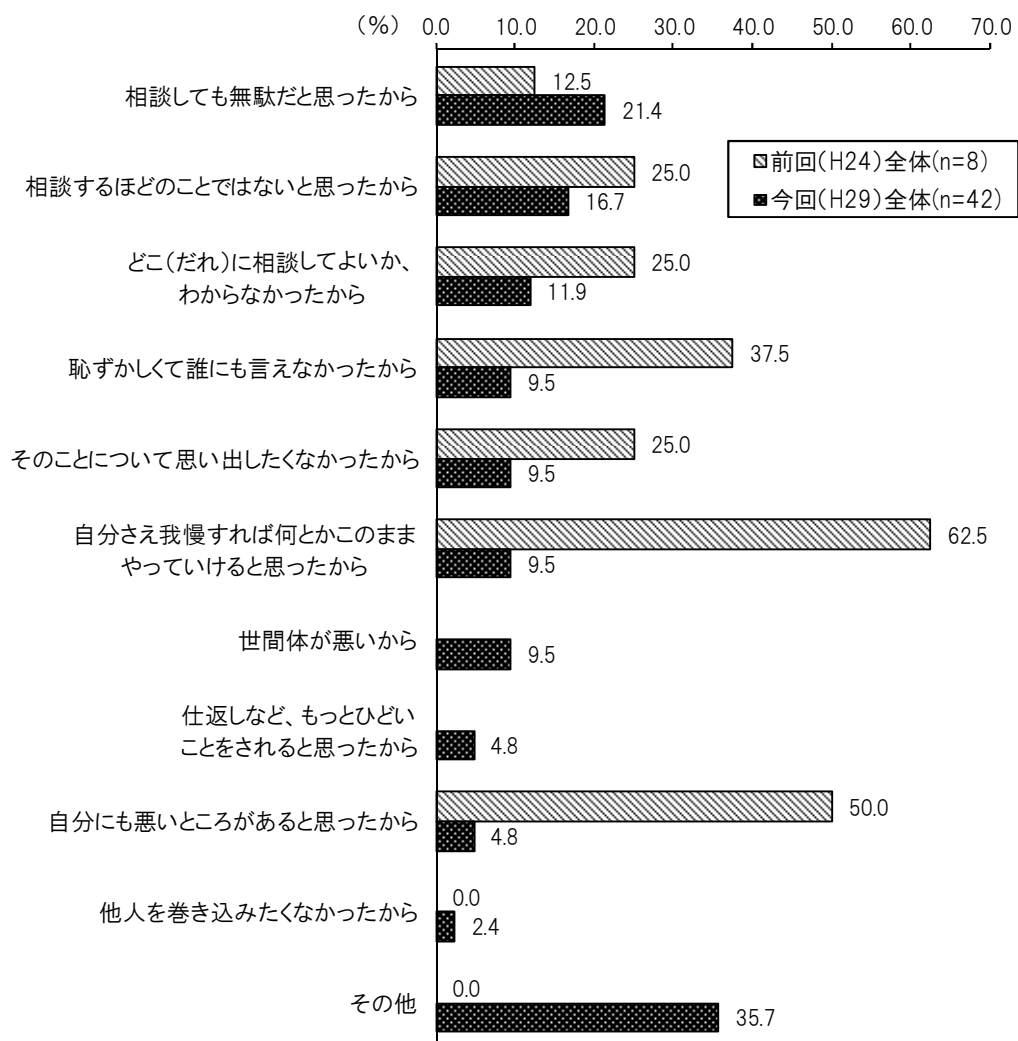
相談しなかった理由については、全体では「相談しても無駄だと思ったから」の割合が21.4%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」（16.7%）、「どこ（だれ）に相談してよいか、わからなかったから」（11.9%）が続いている。

性別では、男性は女性に比べ「相談するほどのことではないと思ったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「世間体が悪いから」などの割合が高く、女性は「相談しても無駄だと思ったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」で男性を上回っている。

「その他」については、「受けた本人が警察に相談したため」「離婚後に聞いたから」などの意見がみられた。



【参考／時系列推移】



注：前回調査では、暴力を受けたことがある方を対象としている

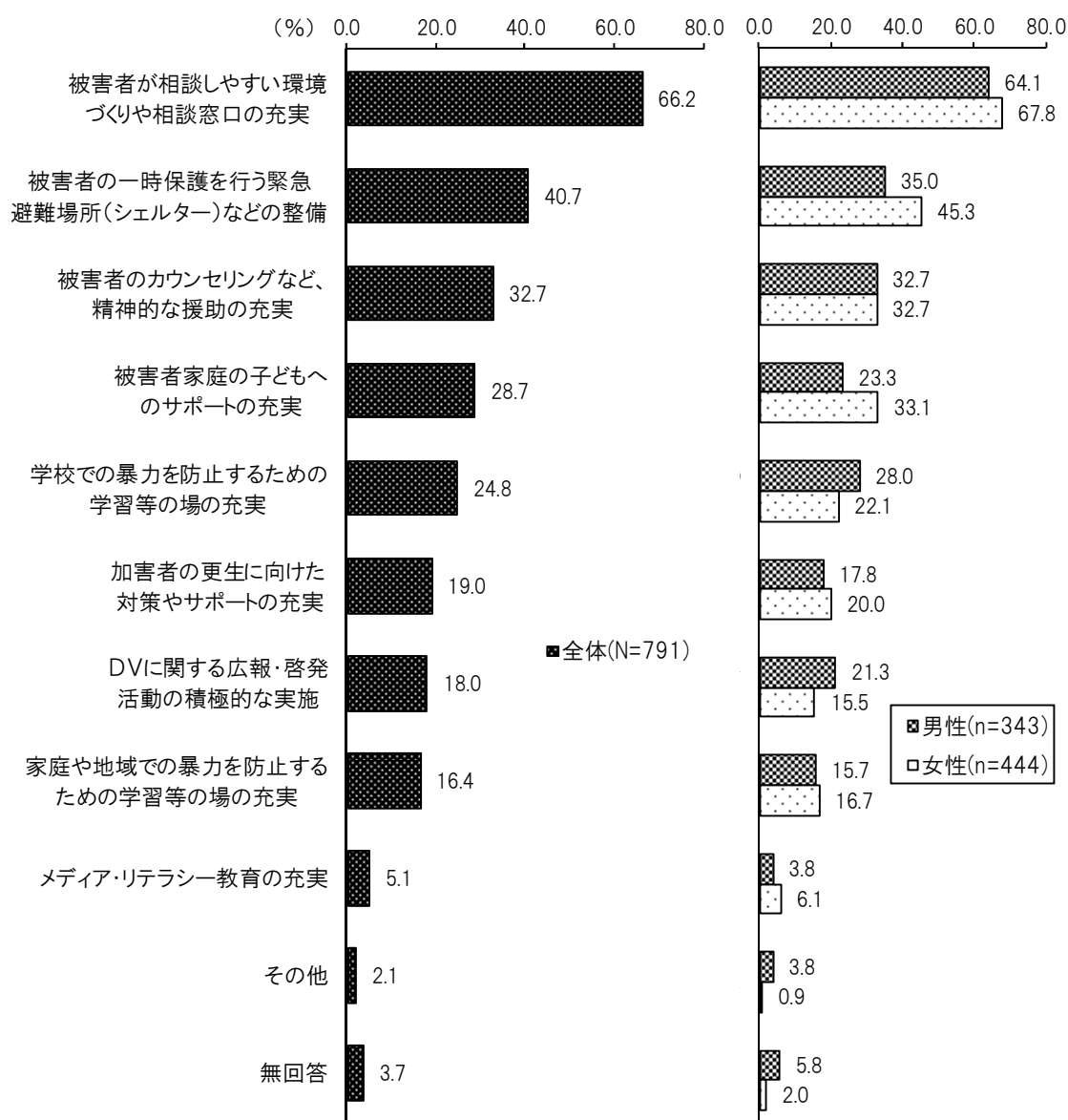
4 DV防止に求める取組

【全ての方におたずねします】

問 28 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）に対する対策や支援として、どのような取組が必要だと思いますか。（○印3つまで）

DVに対する必要な取組については、全体では「被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」の割合が66.2%と突出して最も高く、次いで「被害者の一時保護を行う緊急避難場所（シェルター）などの整備」（40.7%）、「被害者のカウンセリングなど、精神的な援助の充実」（32.7%）、「被害者家庭の子どもへのサポートの充実」（28.7%）、「学校での暴力を防止するための学習等の場の充実」（24.8%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「学校での暴力を防止するための学習等の場の充実」「DVに関する広報・啓発活動の積極的な実施」の割合が高く、女性は「被害者の一時保護を行う緊急避難場所（シェルター）などの整備」「被害者家庭の子どもへのサポートの充実」で男性を大きく上回っている。

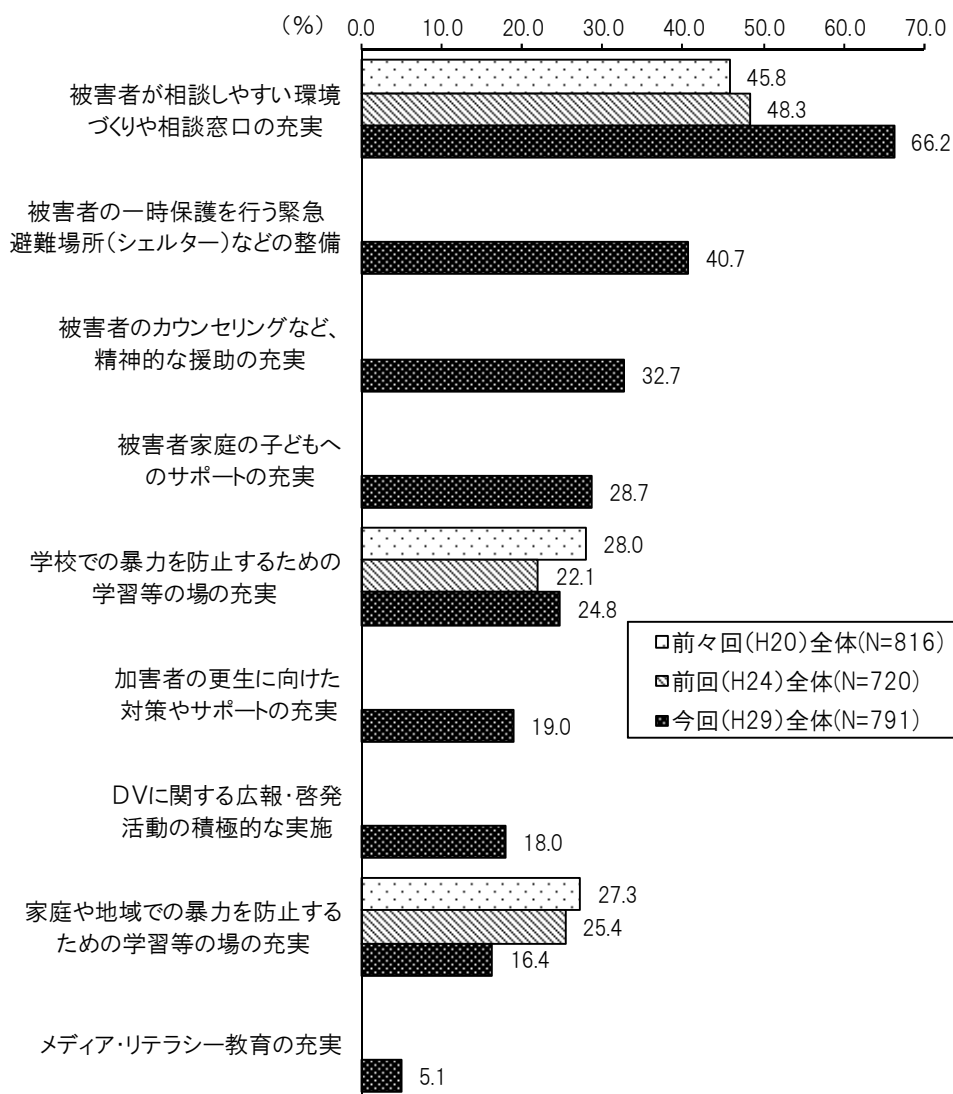


性年齢別では、男女ともに、30歳代で「被害者の一時保護を行う緊急避難場所(シェルター)などの整備」「被害者家庭の子どもへのサポートの充実」、30歳代以下で「被害者のカウンセリングなど、精神的な援助の充実」の割合がそれぞれ高くなっている。また、男性の60歳代で「DVに関する広報・啓発活動の積極的な実施」「家庭や地域での暴力を防止するための学習等の場の充実」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。

(単位:%)

	被害者 相談窓口の 充実	被害者 の一時保 護を行う 緊急避難 場所(シェ ルター)な どの整備	被害者 のカウンセ リングなど、 精神的な援 助の充実	被害者家 庭の子ど もへのサ ポート	学校での 暴力を防 止するた めの学 習等の充 実	加害者の 更生に向 けた対策 やサ ポートの 充実	DVに関 する広報 ・啓発活 動の積 極的な実 施	家庭や地 域での暴 力を防止 するた めの学習 等の場の 充実	メディア・ リテラシー 教育の充 実	その他
全体(N=791)	66.2	40.7	32.7	28.7	24.8	19.0	18.0	16.4	5.1	2.1
【男性年齢別】										
29歳以下(n=40)	55.0	37.5	47.5	22.5	30.0	20.0	22.5	17.5	0.0	7.5
30歳代(n=57)	66.7	43.9	42.1	31.6	22.8	10.5	12.3	15.8	10.5	5.3
40歳代(n=55)	60.0	38.2	25.5	23.6	29.1	25.5	20.0	10.9	1.8	5.5
50歳代(n=76)	63.2	39.5	30.3	27.6	32.9	18.4	17.1	10.5	5.3	2.6
60歳代(n=69)	71.0	24.6	27.5	20.3	27.5	18.8	33.3	24.6	0.0	2.9
70歳以上(n=46)	65.2	26.1	28.3	10.9	23.9	13.0	21.7	15.2	4.3	0.0
【女性年齢別】										
29歳以下(n=58)	77.6	48.3	39.7	22.4	17.2	24.1	12.1	19.0	8.6	0.0
30歳代(n=66)	66.7	59.1	37.9	50.0	13.6	24.2	6.1	16.7	4.5	1.5
40歳代(n=78)	70.5	48.7	30.8	38.5	26.9	19.2	16.7	11.5	7.7	2.6
50歳代(n=118)	67.8	46.6	33.9	27.1	22.0	13.6	16.1	18.6	2.5	0.8
60歳代(n=79)	60.8	38.0	25.3	31.6	26.6	22.8	20.3	21.5	7.6	0.0
70歳以上(n=45)	64.4	24.4	28.9	31.1	24.4	22.2	22.2	8.9	8.9	0.0

【参考／時系列推移】



注1: 前回、前々回調査では、性犯罪、売買春、家庭内暴力、セクシュアルハラスメント等の防止に求める取組として回答

注2: 「被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」の前回、前々回調査結果は「被害女性のための相談機関や保護施設を整備する」の結果を表記

注3: 「学校での暴力を防止するための学習等の場の充実」の前回、前々回調査結果は「学校における男女平等や性についての教育を充実させる」の結果を表記

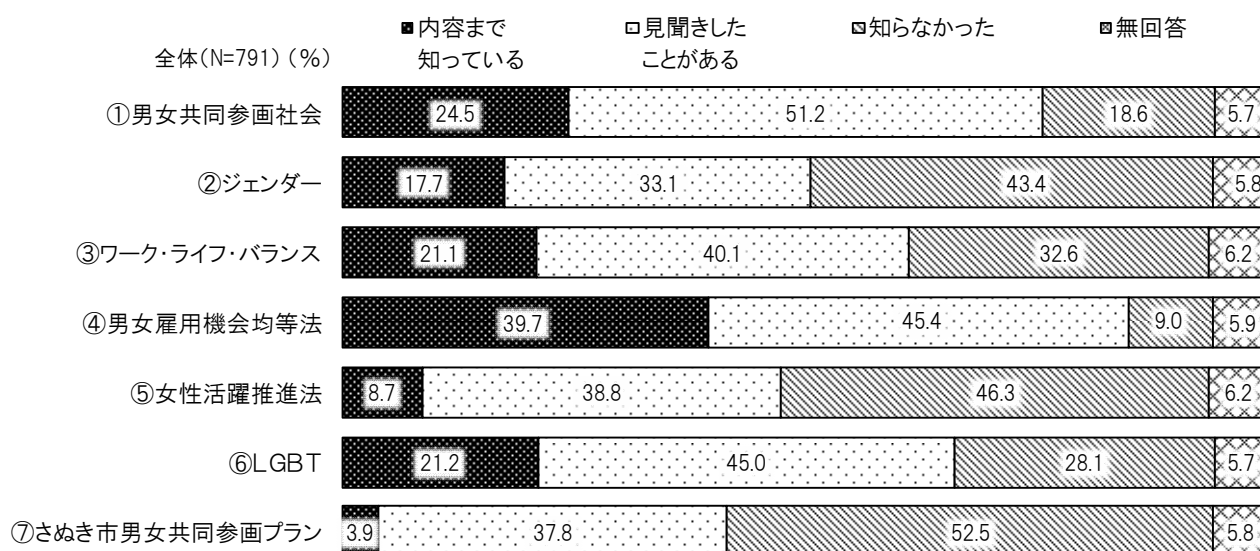
注4: 「家庭や地域での暴力を防止するための学習等の場の充実」の前回、前々回調査結果は「家庭における男女平等や性についての教育を充実させる」の結果を表記

【6】男女共同参画社会の形成について

1 用語の認知度

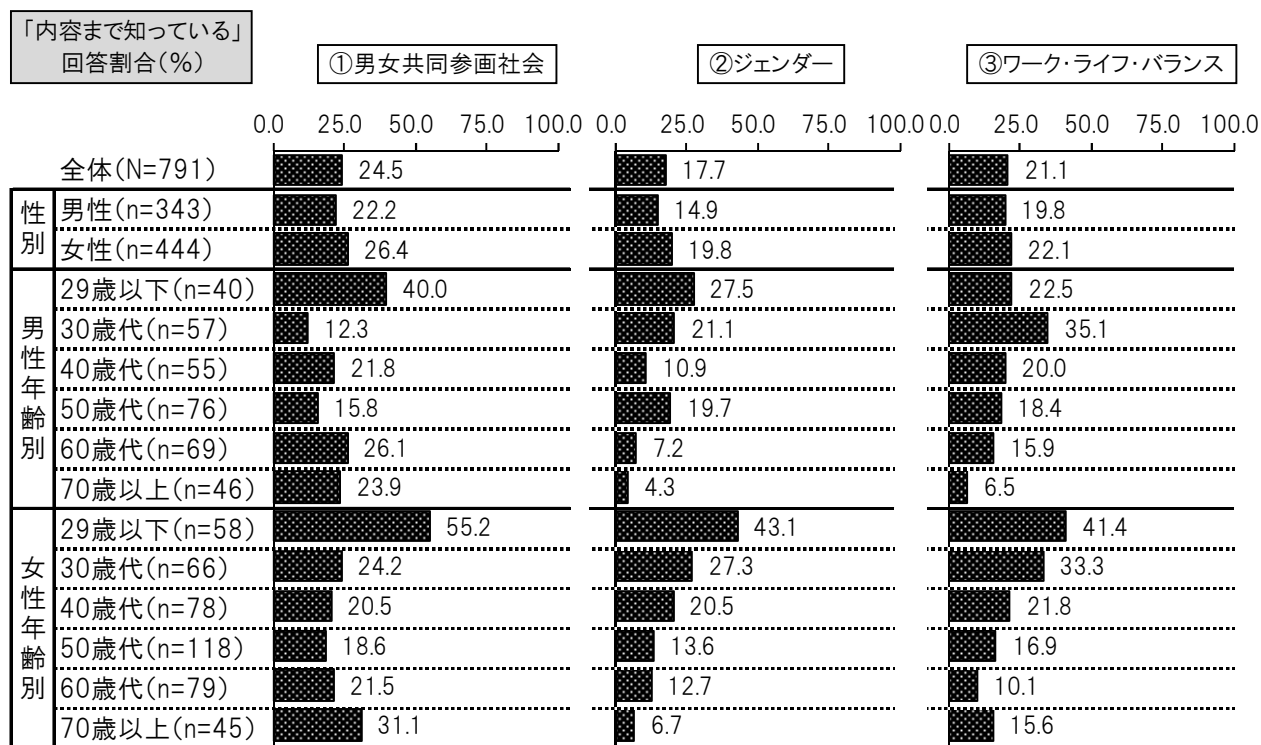
問 29 あなたは、次の用語の意味を知っていますか。（○印1つずつ）

男女共同参画に関する施策などの認知度については、「内容まで知っている」と「見聞きしたことがある」を合計した『認知率』の割合が高い順に、「④男女雇用機会均等法」（85.1%）、「①男女共同参画社会」（75.7%）、「⑥LGBT」（66.2%）、「③ワーク・ライフ・バランス」（61.2%）があげられる。特に、「④男女雇用機会均等法」で「内容まで知っている」が約4割（39.7%）を占め、最も高くなっている。一方、「知らなかった」の割合が高い順に、「⑦さぬき市男女共同参画プラン」（52.5%）、「⑤女性活躍推進法」（46.3%）、「②ジェンダー」（43.4%）などがあげられる。



「内容まで知っている」を属性別にみると、性別では、女性は「①男女共同参画社会」「②ジェンダー」「⑥LGBT」などで、男性をやや上回っている。

性年齢別にみると、女性は、若い年齢層ほど「②ジェンダー」「③ワーク・ライフ・バランス」「④男女雇用機会均等法」「⑥LGBT」の割合が増える傾向にある。また、男女ともに、29歳以下で「①男女共同参画社会」「②ジェンダー」の割合が、他の年齢層に比べそれぞれ高くなっている。

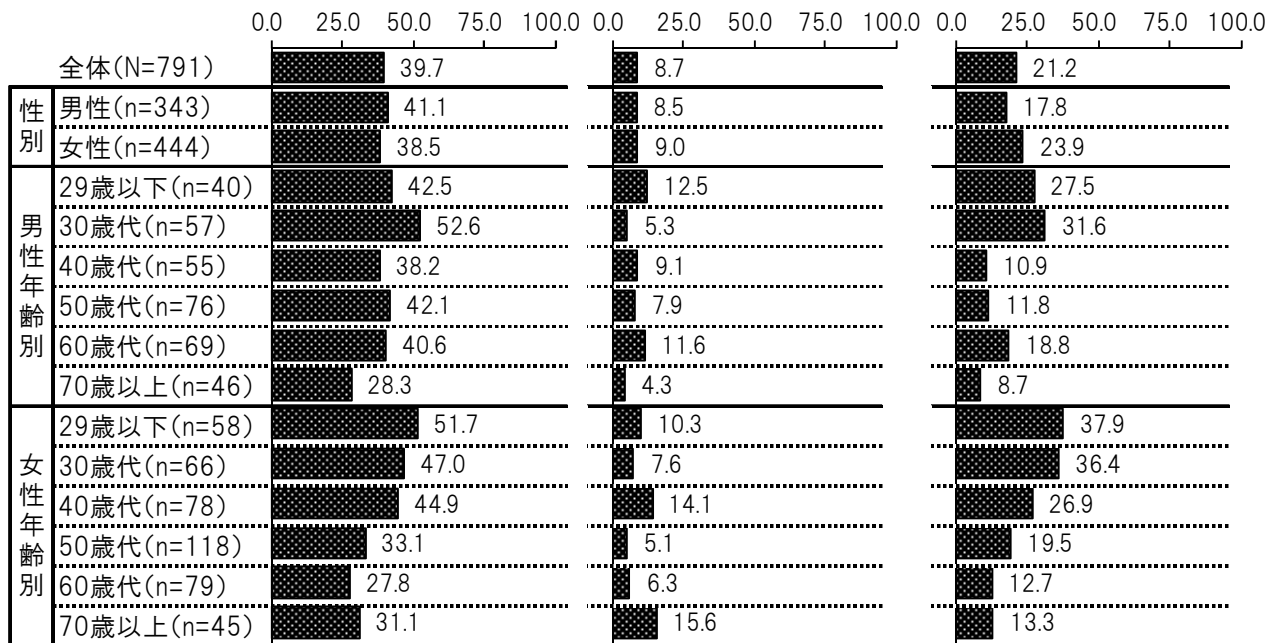


「内容まで知っている」
回答割合(%)

④男女雇用機会均等法

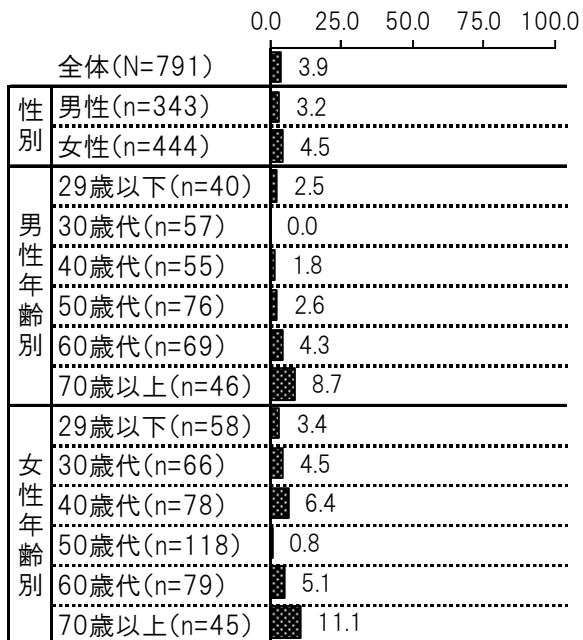
⑤女性活躍推進法

⑥LGBT



「内容まで知っている」
回答割合(%)

⑦さぬき市男女共同参画プラン

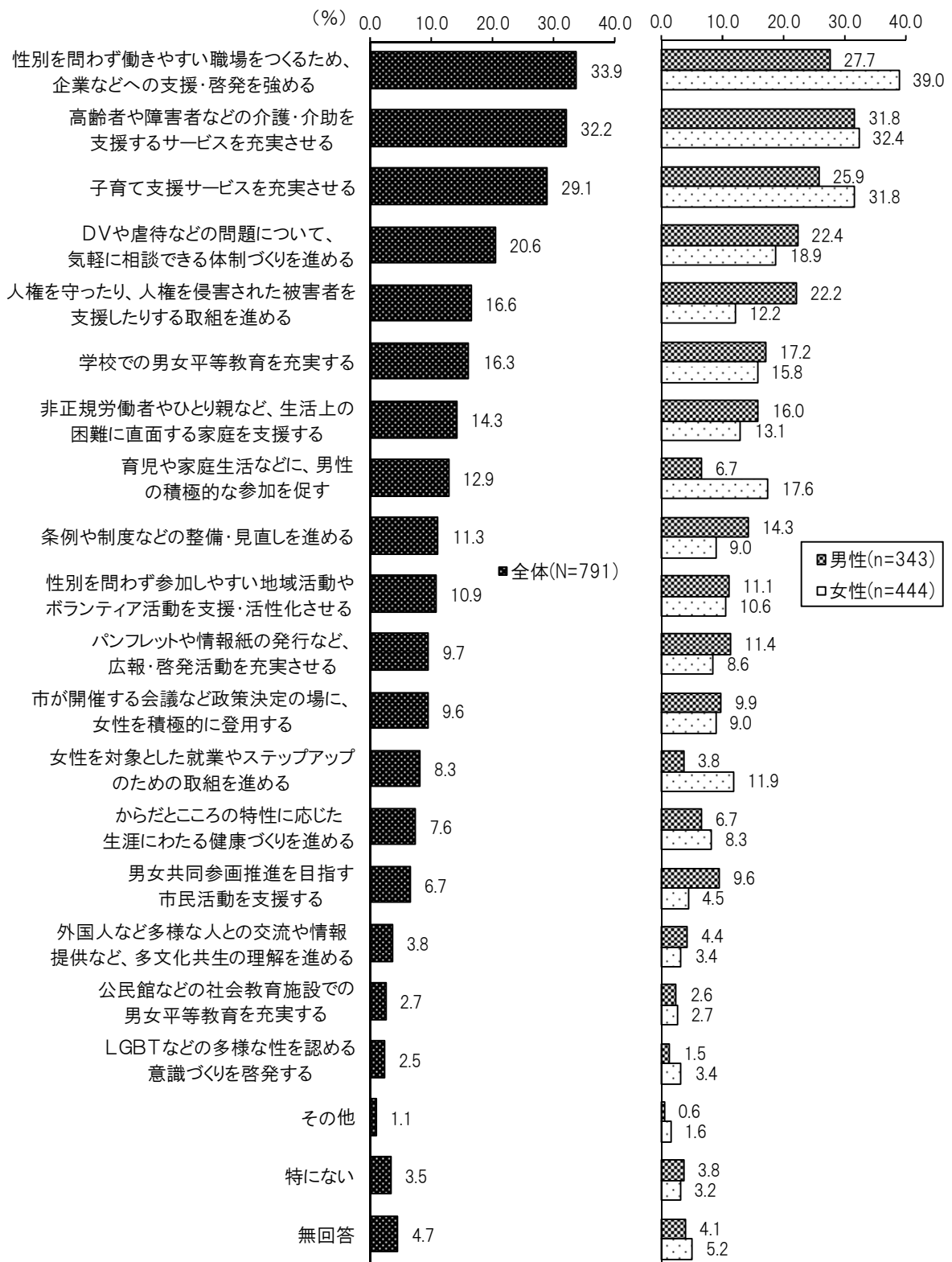


2 さぬき市に期待する取組

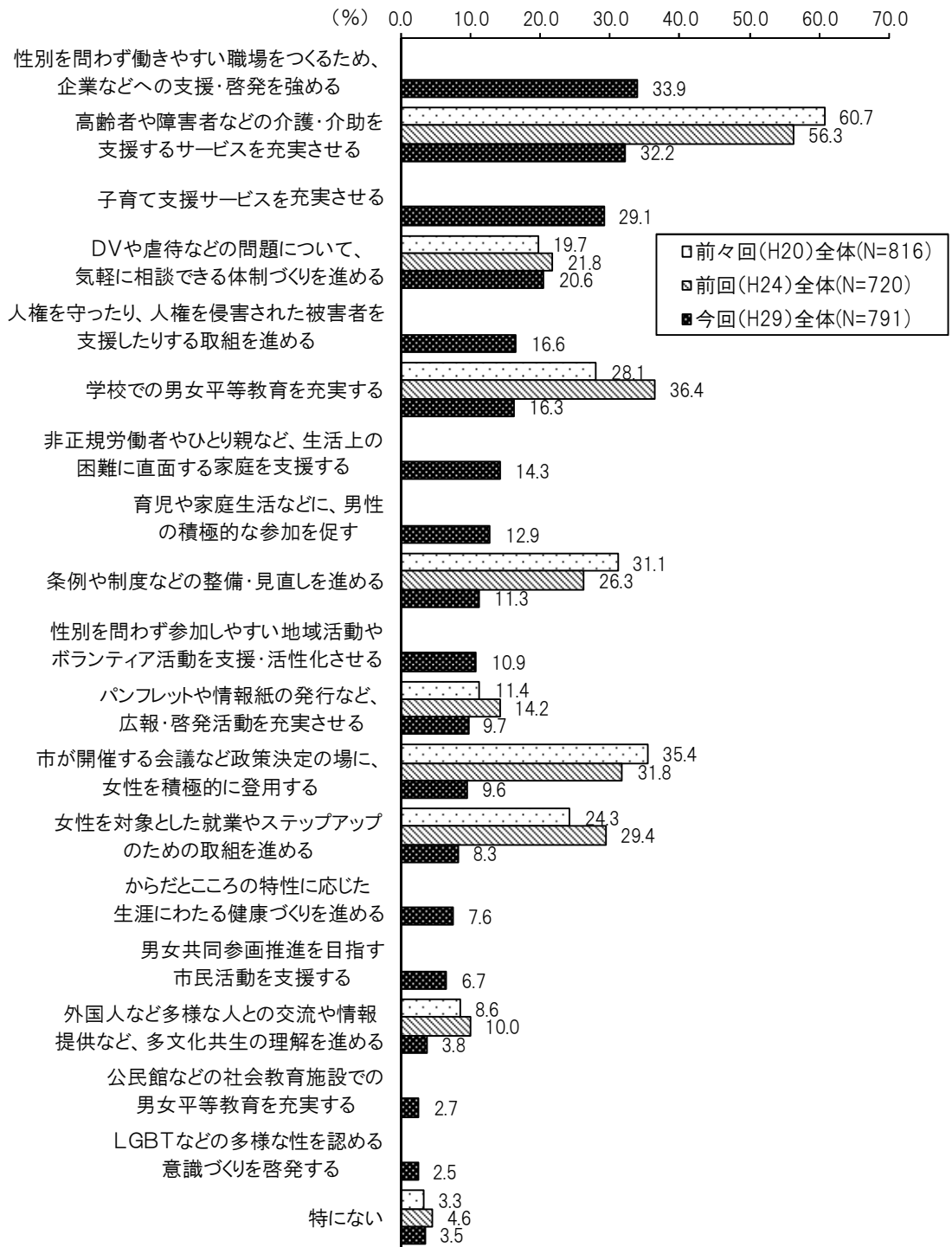
問 30 あなたは、男女共同参画を積極的に進めるために、さぬき市にどのようなことを期待しますか。（○印3つまで）

さぬき市に期待することについては、「性別を問わず働きやすい職場をつくるため、企業などへの支援・啓発を強める」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「高齢者や障害者などの介護・介助を支援するサービスを充実させる」（32.2%）、「子育て支援サービスを充実させる」（29.1%）、「DVや虐待などの問題について、気軽に相談できる体制づくりを進める」（20.6%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「人権を守ったり、人権を侵害された被害者を支援したりする取組を進める」「条例や制度などの整備・見直しを進める」「男女共同参画推進を目指す市民活動を支援する」などの割合が高くなっている。女性は「性別を問わず働きやすい職場をつくるため、企業などへの支援・啓発を強める」「子育て支援サービスを充実させる」「育児や家庭生活などに、男性の積極的な参加を促す」「女性を対象とした就業やステップアップのための取組を進める」で男性を大きく上回っている。



【参考／時系列推移】



注1：前回、前々回調査では回答数の制限なし

注2：「高齢者や障害者などの介護・介助を支援するサービスを充実させる」の前回、前々回調査結果は「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の結果を表記

注3：「DVや虐待などの問題について、気軽に相談できる体制づくりを進める」の前回、前々回調査結果は「男女の生き方に関する情報提供や交流の場、苦情相談窓口、教育などのセンターを充実する」の結果を表記

注4：「学校での男女平等教育を充実する」の前回、前々回調査結果は「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の結果を表記

注5：「女性を対象とした就業やステップアップのための取組を進める」の前回、前々回調査結果は「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野などへの女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する」

【7】その他

1 自由意見・要望

問 31 男女共同参画についてのご意見・ご要望など、どのようなことでも自由にお書きください。

男女共同参画について、意見、要望等を自由記述方式（フリーアンサー）で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、誤字等の修正を除き、全て原文に基づいて性別・年齢別に掲載している。

男性 29 歳以下

- ・男女平等にし、女性の雇用機会や社会進出を増幅するのもよいが、女性があまり目立つ世の中になりすぎると、今よりさらに未婚化や晩婚化が進み、少子高齢化がさらに深刻な問題になり、年金が減少していくということもあるのでかなり複雑な心境である。

女性 29 歳以下

- ・アンケート用紙が無駄なのでこういった意味のない取組はやめたほうがよい。封筒が小さい。
- ・さぬき市は田んぼや畑が多く、お店や工場など働ける場所が少ない。さぬき市から出て働くとなると時間や交通費がかかる。正社員で働くと労働時間が長いために家庭のことまで手が回らなくなる。男女が同じ時間働くのであれば格差をなくしてほしい。さぬき市に、もう少し働ける場を設けて、若者でも暮らしに不自由しないように考えてほしい。
- ・頑張ってください！クオカードがほしいです。
- ・市の取組をあまり知らないのは受取側の問題でもあるので、今後、結婚や子育てもきちんと市の取組を知った上で考えていきたいです。
- ・女だからという理由で優遇を受けるというか、ヒイキされることもある。逆に女だからという理由で仕事の幅を狭められることもあり、性別による扱いの違いは一長一短かなと思います。女の人が仕事を長時間していると、男性が先に帰りにくいと思わせてしまうこともあり、暗黙のルールでたくさん残業するのはみんなが気を使うから、早く帰ろうとすることもあります。女性のステップアップの妨げは、男性の古い考え方に原因があると思います。都会や大手企業はもう少し寛容な気がするので、田舎でも中小企業でもそれが叶ってほしいです。
- ・男女共に様々な年代の人の意見をもっと積極的に取り入れていくべきだと思います。
- ・男女共同参画について知識がない人が多いと思う。知識が広まるような取組をしてほしい。学校でもっと学べるようにしたら良いと思う。
- ・妊娠が発覚して、将来同じ職場で働き続けることが難しいと実感している。経済的な面では正社員（フルタイム）で働き続けたいが、両親もまだ現役で働いているため送迎を頼むことができず、パートに切り替えるか、職場近くに引っ越すことも検討しているのが現状です。保育所の延長時間も見直してほしいです。
- ・返信封筒が小さいです。投函するポストが近くになく、インターネットを使つてのアンケートの方が効率的だと思います。
- ・本人だけでは難しく、親子で回答させていただきました。そのためにアンバランスな回答となったこととお詫びします。

男性 30 歳代

- ・インターネットを利用したアンケート調査の対応が必要だと感じました。質問数が多いです。男女だけでなく、若者が地域にとどまる、戻って来させる対策が必要だと思います。魅力のあるものをたくさん作っていただきたいです。都会にはない田舎の良さもあるはずです。
- ・このアンケートを見るまで男女共同参画という言葉は聞いたことがなかったし、知らなかった。もしこの計画を進めるのであれば、まだまだ認知度が低いと思うので、もっとPRをしないとイケないと思う。
- ・共同参画の推進において、祖父母が近所にいない環境で、共働きをしながら子どもを育てている家庭も存在しているので、決まりきったルールを徹底するのではなく、例えば1～2分の学童の迎えの遅れ等は寛大に受け止めていただきたいと思います。
- ・結婚や子育てしやすい環境をしっかりと作ってほしい。男女を問わず、地元に戻ってきたいと思える市政を行ってほしい。
- ・子どもがいないので地域活動に参加する機会がありません。通勤状況でひとまずさぬき市に住みましたが、将来子どもをほしいと考えた時に、子育てや出産に対して手厚く支援している市町村を選んで住むと思います。さぬき市にも他市町村とは異なった良いアピールポイントで出産・子育てを促してくれれば、引き続きさぬき市民でいようと思います。
- ・子育て支援と並行して、男女共同参画できる現場を作る。（子どもの預かり保育等の実施を行い、不安なく活動が行えるように整備を行う）
- ・子育て支援に特化した方が人口も増えるので、そちらに力を注いでほしいと思う。
- ・市の上の方々が男女共同参画を積極的に進め、できた気分になっても本当にみんながわかっている訳ではないので、環境的には何も変わっていません。もっと市民の生活に目を向けてください。市の上の方々には何も見えていないと思います。
- ・私が無関心だけだったかも知れないが、さぬき市の男女共同参画の取組を全く知らなかった。市役所や公民館など一部でしか広報ができていないのでしょうか？そもそもこういった取組は、はっきり言ってほとんどの人が無関心だと思う。そういった人たちのためにスーパーやドラッグストア、コンビニなど普段よく使う生活の場に掲示し、目に止まりやすいところに情報開示をしてほしい。
- ・私はこのアンケートが来るまで、さぬき市男女共同参画プランというものを知りませんでした。なので、これからは積極的な広報が必要だと思います。広報だけでは市民の理解を得られないと思うので、まずは上に立つ人間や組織が実行に移すべきだと考えます。市民の理解が得られれば、おのずと人はついてくると思います。長い道だと思いますが途中で曲がることのないよう、上に立つ組織として見本となるようにお願いします。
- ・出産や育児によって退職してしまった女性が社会復帰できるように、短時間労働が可能な雇用を創出してほしいです。
- ・情報誌やニュースなどで言葉は知っていたが、実際に経験したことがないのでもっと勉強して知識を身につけたい。どうでもいいと思っている人がほとんどなので、関わってる人や企業の人にもっと頑張ってもらいたいです。
- ・全国で有名になるくらい、子育て支援を充実させてください。他の市町村ではないような取組をすることにより、さぬき市の人口増加につながり町全体が活性化すると思います。

- ・役割分担というものを軽視し過ぎている気がします。男女は当然平等ではありません。これは女性が下だと言っているのではなく、ある分野（力仕事など）では男性が優れており、ある分野（子育て、授乳など）では女性が優れているというごく当たり前の役割分担にすぎません。女性が社会進出への選択の幅が増えるようにするのは当然ですが、現状は主婦も仕事をしないと生活が苦しいのが事実ではないでしょうか？子育てに集中することを選択しても大丈夫なくらい、早く景気が良くなるといいですね。
- ・有能な男性が、女性枠という名目で能力が下の女性に枠を取られるのは社会的損失だと思う。（女性の大臣枠等）

女性 30 歳代

- ・アンケートの項目が多すぎると感じました。
- ・このようなプランがあることを知らなかった。このアンケートにより知る人も多いと思うので、個人的に働きかけることはとても重要だと思いました。男女共に住みよい町づくりはとても大切なことですね。
- ・さぬき市でどのような活動がされているのかよく知らないなので、市民に周知がされるよう広報活動を行ってほしい。
- ・すべての人の意見をまとめることはとても大変なことだと思います。しかしその中で、少しでもよりよい社会を作るために、市民一人ひとりの声に耳を傾けて活動していただけるとうれしいです。
- ・そもそもさぬき市の考える男女共同参画の計画とはどのようなもののでしょうか？このアンケートから計画を立てるのですか？それとも、ある程度見通しが立った中でのアンケートでしょうか？
- ・高松市が2人目からの子どもから保育料を無料にして、女性の働きやすさと子育て支援に力を入れるようになりました。それに比べて、さぬき市にはまったく感じられません。人口減少を止めるには高齢者対策も必要だが、より子育てに力を入れるべきだと強く感じています。女性が働き続けるには子育てに力を入れないと非常に難しいと思いました。
- ・今回アンケートに参加させていただきありがとうございます。「マタハラ」という言葉を初めて知り、勉強になりました。機会があれば地域のイベントに参加したいと思います。
- ・今回のアンケートに答えていて感じたことなのですが、私が未婚なので気になるだけかも知れませんが、ほとんどの質問が結婚している人や子育て中の方に対するアンケート内容だと思いました。これからとか、こうなればという希望だけの回答です。独身の男女も、これからの時代は増えていくと思います。そうなるとこういうアンケート内容に少し違和感を感じているのが今の正直な気持ちです。今からも結婚するのが当たり前という世の中が続くんだと思ってしまいました。体調や家庭環境などで結婚したくてもできない人もいるということを知っておいてほしいです。
- ・産後一年が過ぎました。今もめまいや吐き気などの体調不良に悩んでいます。産後一年も経っているのにそういうこともあるのだということを、もっと多くの人に知っていただきたいです。
- ・子どものことなんです、子ども会に入会させてもらえず、そっぽを向かれています。こういう現場があるのに、男女共同参画はなかなかうまくいかないと思います。
- ・子育て対策をもっと充実させてほしい。子育てに対する取組が遅い。このままではどんどん子どもが減っていくばかりです。安心して子育てができるさぬき市にしてほしいです。

- ・自治会におけるごみ当番は必要ないと思います。共働きでは、平日の朝に当番の時間を割くことができずに困っています。高松市のように毎週の指定日に不燃ごみを出せるようになれば、家にごみがたまらずに助かります。細かいところですが、女性の負担になっていると思いますのでご検討ください。
- ・自分があまり関わっていないからかも知れないが、市の方針自体がよくわからない。どういう市にしたいかをもう少し大きく掲げて、それから各方面の制度とかを検討した方がいいのではないかと思います。
- ・男女が平等に働きやすい社会になってほしいです。子育て支援も充実させてほしいです。
- ・男女共同参画について取り組んでいる内容がわかりにくいです。
- ・男女共同参画は、女性も男性と同じような働き方を選ぶことができ、男性も家庭の役割を増やすことを勧めているイメージだが、性別特性は違って当然であり、過度に進めることは結局は家庭崩壊につながると思う。キャリアやお金が必要なので共働きをして、子育てや介護を他人や公的機関に預ける。他人の面倒を見る人が増え、税金が増える。子どもは親と過ごす時間が減り、不安定になる。本末転倒ではないか。性別により選択肢が狭められ、生きづらい人が助けを求められる場所があればいいと思う。
- ・男女共同参画を進めるのはとても大切なことだと思います。しかし、市役所に行くと明らかに暇そうにしている人を見かけます。まずは職員さんの意識から改革しないといけないのではないのでしょうか。
- ・男性が働き過ぎで家庭のことができません。いろいろな会社でもっと有給休暇や育児休暇を取りやすくしてほしいです。

男性 40 歳代

- ・「問 30」についてですが、私はすべてに○印をつけたいと思いました。あと、女性が働く裏側で、男性がしんどい思いをしていることも忘れないようにしてください。男性、女性ともに笑顔でいられるのが一番の理想です。
- ・21 世紀においては男女が職場や家庭で、対等な立場で協力し合うことが望ましいと思います。しかし現実的には男性が生活費を稼ぐこと、女性が家事・育児で主体的な役割を果たすことがまだ求められており、これをすぐに変えようとしてもうまくいかないのが、長期的視点に立って考える必要があります。そして将来的には本人の資質や意欲に応じて女性が生活費を稼ぐこと、男性が家事・育児で主体的な役割を果たしたり、あるいは男女で職場や家庭の役割を完全に折半するといったことが、より自然に自由に行われるようになればいいと思います。
- ・女性対象に調査をしてください。
- ・交通手段のない高齢者が、近くのスーパーなどを利用する時に無料タクシーのようなものを始めてほしい。
- ・高齢者より子ども支援してほしい。人口を増やすため。
- ・市営住宅に住んでいます。子どもの成長と自身の将来の年金等のためにパートから社員で働き出しました。すると家賃が2万円以上上がり、生活が苦しくなりました。これでは子どものため、自身の老後のための意味がなくなりました。

- ・女性が社会に出て行くのは好ましいことではあるが、家庭や育児が負担になってくる。そのため、子どもに悪影響が心配される。社会として育児に十分に時間が取れるように考えていかなければいけないと思う。また、生物学的に男女の違いはあるので、それぞれの特性を生かしていくことも大切です。すべてが男女平等というのも少し疑問に思います。少子化の社会なので、男女共同よりも子ども中心という視点で社会をとらえてほしいです。
- ・短期と長期目標がある。短期目標は今すべきことで、ひとり親家庭などの貧困支援や子育て、介護等の支援をする。長期目標としては、男女の意見や女性の意見を行政や政治に取り入れ、役員、市議員も女性を増やす。働き方を多様化してもっと企業と相談する。DVなどの問題も、誰でも相談できる窓口が必要である。教育や地域から理解を深める学習も必要。
- ・男女共同参画というと、やはりまだ多くの方が女性の問題と思われるのではないかと思います。男性の多くは、性別分業の発想から脱却できておらず、社会の中軸をこれまで担ってきた男性たちの意識と生活スタイルが変わらなければ、男女共同参画は進みにくいと思います。昨今いろいろな制度が制定され、100%女性が快適な生活ができる世の中にはなっていないような気がします。
- ・男女共同参画と言いながら、何かにつけて女性が優遇されていると感じます。女性管理職を〇〇割に引き上げる目標などがあると思いますが、能力に見合った管理職でないような気がします。目標を達成するために無理な運用がされていると思います。
- ・幼稚園や保育園の預かり時間及び金額等、低所得者が利用しやすいようにしてほしい。女性が働くにはまだまだ都合よくない。幼稚園や保育園の重要性を考えてほしい。

女性 40 歳代

- ・さぬき市にこのような計画があることは知らなかったです。もっと広く知らせてほしいです。
- ・さぬき市の自治会や婦人会、老人会とかで男女共同参画が積極的に進められているとは感じられません。まだ男性の方が社会的地位が上のような気がします。男女の役割をまだ昔のように考えている人がさぬき市には多く、男女が平等という考え方の人はまだまだ少ないような気がします。
- ・さぬき市役所はとても閉鎖的に感じることが多い。他の市町村と比べてまだまだ積極的といえないので、まずは受入れ態勢を整えたり、市の職員の意識を変えない限り、さぬき市は良くならないと思う。
- ・なかなか難しいと思います。
- ・下の子が小さいので働いていませんが、今後パートで働きたいと思っています。ただ子どもが病気になったら誰が面倒見るの？と聞かれることを前提に働かないといけない今の時代は、まだ男女共同とは言えないと思います。子育て中のママさん達も会社の同僚やおじいちゃん、おばちゃん等の協力がなくて（パパの協力は当然ながら）、負担が大きくてお母さん一人がふらふらしながら毎日何とかやり遂げているという感じです。制度や会社・同僚等の意識改革や男性（パパ）の育児協力等問題が山積しています。どこから手をつけたらいいのか途方に促しています。
- ・私の回答や意見は、あくまでも自分自身の環境に基づいたものなのでこのプランの参考になるかはわかりません。地域交流は大切だとわかっているけど、日々の生活に追われ参加はできそうもありません。申し訳ないです。

- ・弱い人の手助けや支援を進んで行える市民が多いさぬき市にしたいですね。
- ・弱い立場の人や困ってる人は、なかなか相談できないままになっていることが多いと思う。そのすべてを解決するのは難しいと思うが、何かのきっかけを提供することで、今よりは少しはましになることができればいい。
- ・女性が働きやすい環境になっていると感じる。しかし、家庭での仕事は女性がするという意識があるので、結局女性は仕事も家事もして、負担が多くなっているのかなと思う時もある。
- ・女性は女性として扱われたい。男尊女卑という概念をやめてほしい。また、障害者と健常者との壁を作らないでほしい。具体的に何が当人たちにできるか考えてほしい。子どもの教育と親の介護の問題について取り組んでもらいたい。
- ・男女に関係なく、働きたい人、働ける人、上司になりたい人とそうでない人などがいろいろいます。家庭環境や未婚・既婚・育児・介護など、その時の状況に応じて相互に助け合いながら仕事を進めていけるのが理想的な環境です。本人の希望と能力を見極め、評価をきっちりした上で女性を登用するのが良いと思います。さぬき市の人口が減っていく中、なぜ減っているのか、なぜ若者が高松市や県外に流出するのかをもっと調査すべきです。流出した若者にアンケートをしてはみてはどうでしょうか。さぬき市のこれからは若者たちの手にかかっているのですから。
- ・男女共同参画について、表面上だけでなく中身の伴ったものを策定してください。
- ・男女共同参画についてよくわかりました。
- ・男女平等を気にしすぎて、女性上位になっている時がある。また、高齢者の「守られるもの、助けられるもの、優遇されるもの、救われるもの」という行動を助長しているようにも思う。子どもたちに、「正直者はバカを見る。やったもん勝ち」的な姿を見せてしまい、反面教師になってしまう。
- ・長尾に図書館がほしい。子どもやお年寄りが集える場所がほしい。働く大人が休日に楽しめる場所がほしい。

男性 50 歳代

- ・お金のかかることでなくとも、できることはたくさんあると思います。
- ・やはり人（人を育てる）、物（推進するための施設）、お金（予算の確保）が必要だと思います。
- ・公務員と一般企業では、男女平等の実行状況において大きく異なる。例えば一般企業では子どもを持つと再復帰しても、元の職場に戻れない（新しい女子職員が入っているため）。そのために別の仕事をまた始めから覚えなければならない。女子で出世した人は子どものいない人が多い。その点公務員は、学校の校長など女性が多い。（産休制度が確立されているため）
- ・質問自体がかなり偏っている印象を受けました。
- ・女性はどうしても出産が身に起こることなので、ネックになってしまう。出産後のアフターケアがどこまでできるかによって、その後の出生率にも何らかの影響が出ると思われる。出産・子育てが苦になると男女共同参画どころではないと思う。
- ・男性と女性とで向き不向きもあるし、物理的に違う。難しい部分もあるが、それも考慮しながら進めてほしい。

女性 50 歳代

- ・問 9 は「わからない」の選択肢があってもよいと思う。答えづらかったです。健康寿命の増加（病気の予防）。安心して暮らせる町づくり。Uターン、Iターンしたくなる町づくり。婚活の支援。子育てのしやすい町づくり。
- ・さぬき市に男女共同参画プランがあるということを今回初めて知りました。さぬき市が仕事においても生活においても活気のある市になるように望みます。
- ・介護において、男女が平等にできる社会を望む。男性もきちんと家事ができ、自立した男性に育てる必要がある。大人になってからでは遅い。成人までに掃除や洗濯、食事や身の回りのことができるようにしてほしい。また女性も仕事を持ち、自立した上で結婚や出産をし、育児をしながら仕事もする。こういう社会においては共働きが当たり前で、家庭に入っても共働き、お互いが平等な立場である社会を望みます。
- ・高齢者や障害者などの介護・介助を支援するサービスを充実させてほしいです。
- ・今の 20 代の男女は子育てや介護に大変協力していると思います。男女平等ですが、男女の質の違いもあると思います。そういう中で今の若い男女は、50 代の目から見てすばらしいと思います。
- ・子育てや介護は、まだまだ女性の仕事だという風潮が根強くあるように思います。それを踏まえて男性にもっと協力できるような町になってほしい。子どもの頃からの教育が大事ではないかと思います。
- ・私は現在高松市内で働いており、ほとんどの時間をさぬき市で過ごしておりません。60 歳近くになり、休日は家にいるように心がけています。自然豊かで農作物にあふれ、老人たちが活動できるすばらしい場所だと思います。ただ、自分がそのような生活ができるかと考えると難しいわけです。考え方や不合理なことも多々あります。高松市がすべて良いかということとそれも違います。老後をどのような生活を送りたいか、これを機に考えてみたいと思います。
- ・自宅での事務仕事なので、他の人と接することがあまりありません。このようなアンケートに答えることも、とても難しいと感じました。まだ、土地柄からとか家長だからとかいう考え方が強く残っているので、その考え方から変えていかなければならないのではないのでしょうか？結局最後には、女性にのしかかってくることが多いと思います。
- ・若い人も男女共同参画に参加するようなイベントを企画してほしい。
- ・女性が気軽に就労相談ができる窓口を開設してもらいたいです。
- ・女性が社会に出ることはよいことだと思いますが、子どもがいて、就職しても子どもの病気や学校行事への参加は主として女性である。しかし、現実の職場においては人手不足で、休みが取りづらく、また急に休んだりしても補充がない状態である。子育て支援等で休みを取りやすくする時短等と言っているが、今の若い人たちは自分の権利だけを主張して、家庭の都合ばかりを言い通す。十分な人材が揃っていない中で休みや早退を取る。その前に仕事等の段取りをして、申し訳ないが休ましてもらおうという姿勢がない。この辺を教えていく必要があると思う。
- ・女性を優遇する傾向にありますが、それを自分の権利として乱用される人も増えているのも事実です。本当に必要な人を見極めて、サービスを提供してほしいです。公的サービスに頼るばかりでなく、みんなで理解し合えたらもっと良いさぬき市になると思います。今回のアンケートのおかげで、意見が言えてよかったです。ありがとうございました。

- ・少し古い考え方も知れませんが、男女共同参画という言葉の意味を知らずに使っている風潮があります。あまり男女共同参画という言葉があふれ過ぎるとゆがんだ社会になっていくように感じます。
- ・職場でも家庭でも、それぞれの適性や得意分野を生かしながら協力し合える人間関係が作ればいいと思います。その人の弱点はみんなで補い、得意分野は認め合って、より成長できる環境があればDVやいじめなどがなく社会になるような気がします。
- ・生きている限り、さぬき市や社会と関わってきたいので年齢に関係なく参加できることや、子どもたちの話を聞いてあげられる場所を作ってもらいたいです。（学校以外で）
- ・男女共同参画というものをもっと身近に感じられるようにしてほしい。
- ・男女共同参画という言葉は聞いたことはあるけれど、何しているかを知っている市民は少ないと思います
- ・地域社会において、障害を持った人物を、近所の人があることないことを言いふらし、無視されたり奇異な目で見られたりする。精神障害の原因となり、転居を考えているが手元にお金がないのでそれもなかなか叶わない。
- ・聞いた話ですが、夫婦で散歩しているところを近所の人が見かけたとか。後日、「女のくせに夫より前を歩いていた！」と周囲に言っていたそうです。前時代的な考え方をする高齢者にはウンザリしますね。都会ではそんなことを言う人はいないし笑われます。

男性 60 歳代

- ・「問 30」の具体的な行動をすべきである。充実、支援という単語には期待や協力は得られない。行政の枠を超えた行動をすべきである。すなわち、何をしてもよいから行動に転じてほしい。何をするにしても税金は使われている。
- ・今後のさぬき市における役割は重要で、継続的に支援及び実施を望む。
- ・男女共同参画ということで、女性が男性と同じ働きをするということを暗に要求されていないか。女性にとっては相当なプレッシャーとなり、晩婚化や少子化に結びついている感がある。出産できるのは女性だけであり、こういうプレッシャーや育児に対する不安を取り除くことが急がれる。
- ・男女共同参画についてよく理解できていない。
- ・毎月の広報紙に、「社会・地域貢献に積極的に参加しましょう」などの標語を掲載する。

女性 60 歳代

- ・どうもこの男女共同参画という言葉自体がしっくりこないのは私だけでしょうか。男女と言うより、人間として何が正しくて、何がよろしくないのかを、生まれた日より導ける世の中になればと思います。
- ・計画を立案するだけに終わっていないか疑問。担当課がなぜ秘書広報課なのか？人権所轄課と捉えるなら、人権所轄課で対応すべきではないか。計画を立案しても実効性に疑問を感じるが・・・。
- ・男女共同参画といってもまだこの言葉の意味さえ、一般市民には広まっていないと思う。また理解も十分ではないのではないかと思います。もっとわかりやすく理解してもらう方法を考えてほしい。
- ・男女共同参画といってもまだ世間の意識は薄く、広く知られていないように思う。保育や介護施設の充実、生活困難者に対する支援などをお願いします。

- ・男女共同参画と言っても、結局は一部の人たちだけが頑張っているだけのような気がします。一般の人たちにも身近に考えてもらえるように努力した方がよいと思います。
- ・男女共同参画の行事等をしているのでしょうか？その情報を知る手段がわかりません。同じ人間ばかりがそのための講義や講習などを受けている地域もあります。平等に参加する機会が与えられれば良いかと思います。
- ・男性は男性、女性は女性としての特性があり、お互いがそれを認め合い、協力しながら向上していけたらと思います。市の担当者は大変な苦勞があると思いますが頑張ってください。

男性 70 歳以上

- ・掛け声だけの企画は中止する。特定の人々が参加する企画も中止する。さぬき市の住民の多くが理解し、納得できる仕組みを作る政府向けの企画や独善的な企画を中止する。無関心の人々の心を動かすのは難しいと思われるが、そのことを十分に理解し、実践するように努めてもらいたい。
- ・73 歳になって、さぬき市の男女共同参画についての意見を述べることは考えてもいなかった。死ぬまで勉強していくつもりです。
- ・高齢者や障がい者などの介護や介助を支援するサービスを必ず充実させることが大切だと思います。
- ・子どもの頃からの教育が大事だと思います。他人を思いやる心、人権を思いやる心、勉学を重視するあまり、人間としての基本をおろそかにしていると思われます。
- ・設問の内容は非常によくできていると思いますが、設問自体が自分自身の年代（70 歳以上）に合わない部分もあり、適切な回答ができないのもありました。年代に応じた設問内容にいただければ正確なデータができるのではないのでしょうか。
- ・男女が共に健康で長生きできるように取り組んでほしい。
- ・本人が障害者のため、このようなアンケートには答えられず、家族の代筆です。子どもの時から障害を持ち、老齢となり、親も亡くなり兄が面倒を見ているが、障害年金も少額で施設の利用にはとても足りなくて大きな負担です。兄も老齢となり、次の代へどうやって引き継いでもらうか悩みの種です。

女性 70 歳以上

- ・これからの若い人たちが暮らしやすい社会になってほしいです。
- ・高齢なので回答が難しかった。
- ・今頃の人は我がままな人が多いように思います。
- ・質問数が多く、読むだけでも時間がかかります。もう少し質問数を少なくしてほしいです。
- ・人間関係が希薄になってきた現代、難しい問題がたくさんあり、私自身も単独で行動することが多く、いろんな活動が行われても参加していません。今は、あと少し頑張れば何とかかなるという考えで生活している日々です。
- ・推進室が設置されたことは評価できる。活動拠点の整備は喫緊の課題である。市民活動団体が研修し、交流できる場となるように充実させることが必要である。活動団体を登録制にし、相互に情報交換し進化することを望む。広報に男女共同参画のコーナーを設け、毎月関連記事を掲載し、地道な啓発を続けることが大切である。団体の組織化と男女共同参画をメインテーマとした広報活動を望む。継続は力なりである。男女共同推進協議会及びサポーターの会の更なる充実を望む。

- ・男女共同参画が実施している講演会には極力参加するようにしています。非常に勉強になりますので、今後とも継続していただきたいと思います。
- ・定年まで兼業農家にて子育てや介護しながら働いてきました。女性は、職場ではサポート的役割とみなされていました。その分、家庭優先で働けたと思います。男女格差に甘んじていました。男女共同参画では、今以上に厳しくなる部分があると思います。働きやすい環境整備があつてこそ実現できると思います。
- ・理念や理想だけでなく、現実の場面で、どういう状況になれば良いかを考えてほしい。職場や家庭ではまだまだ男性優位の考え方が強い。地域の会合（例えば自治会）などの役員も、ほとんどが男性です。もう少し女性が役員をしてもよいのではないかと思います。男性も女性も、その時にできる人がやっていく。職場でも家でもそうしたいと思います。

性別年齢不明

- ・男女共同参画が実施しているイベントにはあまり参加したことがありません。古い人間なのでやはり男と女とでは役割が違っているのではないかと思います。（何でも男女平等という考え方に対して）

資料 1 集計表

問 10 進路や職業選択時の性別意識

単位：％(以下同様)

	性別意識をかなり	意識しなかった性別をかなり	意識しなかった性別をかなり	意識しなかった性別をかなり	無回答
全体(N=791)	7.2	25.9	23.6	40.8	2.4
年齢別					
29歳以下(n=98)	3.1	14.3	22.4	59.2	1.0
30歳代(n=123)	8.1	24.4	17.1	48.8	1.6
40歳代(n=133)	5.3	25.6	23.3	42.9	3.0
50歳代(n=194)	8.8	30.9	24.2	34.0	2.1
60歳代(n=148)	8.8	26.4	26.4	37.2	1.4
70歳以上(n=91)	7.7	29.7	28.6	27.5	6.6

問 11 女性の働きやすさ

	大変働きやすいと思う	ある程度働きやすいと思う	あまり働きやすいとは思わない	働きやすいとは思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
全体(N=791)	2.8	47.4	27.2	10.5	6.1	4.0	2.0
年齢別							
29歳以下(n=98)	5.1	52.0	27.6	4.1	3.1	7.1	1.0
30歳代(n=123)	4.9	43.1	32.5	13.0	5.7	0.0	0.8
40歳代(n=133)	1.5	46.6	23.3	16.5	2.3	6.8	3.0
50歳代(n=194)	1.5	51.5	27.3	8.2	6.7	2.6	2.1
60歳代(n=148)	4.1	43.2	27.7	12.2	9.5	2.0	1.4
70歳以上(n=91)	0.0	48.4	24.2	5.5	8.8	8.8	4.4
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	2.8	50.3	28.8	11.1	3.5	1.3	2.2
非共働き世帯(n=202)	2.0	38.1	30.2	13.4	8.4	5.4	2.5

問 12 ライフステージの節目での働き方

	介護業務等(育児を含む)	勤務条件などを変えず、パートタイム勤務へ変更など	勤務条件などを変えず、フルタイム勤務へ変更など	結婚を機に仕事をやめた	妊娠を機に仕事をやめた	出産を機に仕事をやめた	家族の介護のために仕事をやめた	旦那の仕事や出産、その後の生活のために仕事をやめた	結婚や妊娠、出産、その後の生活のために仕事をやめた	旦那の仕事や出産、その後の生活のために仕事をやめた	旦那の仕事や出産、その後の生活のために仕事をやめた	旦那の仕事や出産、その後の生活のために仕事をやめた	旦那の仕事や出産、その後の生活のために仕事をやめた	無回答
全体(n=444)	18.7	7.0	11.3	7.0	5.9	2.3	7.0	14.4	1.4	2.7	18.5	4.1		
女性・年齢別														
29歳以下(n=58)	6.9	1.7	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	5.2	3.4	0.0	77.6	1.7		
30歳代(n=66)	25.8	6.1	4.5	12.1	6.1	0.0	6.1	13.6	1.5	3.0	19.7	1.5		
40歳代(n=78)	21.8	9.0	9.0	9.0	5.1	0.0	5.1	17.9	0.0	3.8	11.5	7.7		
50歳代(n=118)	17.8	9.3	13.6	5.9	11.0	3.4	9.3	19.5	0.8	0.8	5.1	3.4		
60歳代(n=79)	22.8	6.3	15.2	8.9	6.3	7.6	11.4	13.9	1.3	0.0	3.8	2.5		
70歳以上(n=45)	13.3	6.7	24.4	2.2	0.0	0.0	6.7	8.9	2.2	13.3	13.3	8.9		
共働き有無別														
共働き世帯(n=196)	23.0	8.2	10.7	8.2	8.2	2.0	9.7	19.9	1.0	1.5	3.1	4.6		
非共働き世帯(n=107)	17.8	5.6	16.8	13.1	7.5	2.8	5.6	16.8	1.9	6.5	2.8	2.8		

問 14 望ましい女性の働き方

	得休不勤 業業、ず、務 を含む、介つ、件 護休働な 業くを 等、を の育え 取児	ど タ イ ム 勤 務 へ 変 更 な ら ば フ ル	て、勤 務 条 件 な ど を 変 え る こ と が あ る こ と	フルに結 ル仕婚 タ事や イムや ム勤娠 務め、 でそ出 働の産 く後機	くパに結 ー仕婚 ト事や タを妊 イ娠、 ムめ、 勤そ出 務の産 でを機	にに結 専仕婚 念事を するや め、 子出 育産 をを 機	そ 他	う女 性は よい は仕 事を しな いほ	無 回 答
全体(N=791)	40.5	26.9	4.4	11.8	5.6	4.8	0.6	5.4	
性・年齢別									
【男性年齢別】(n=343)	42.6	26.5	3.8	10.8	4.1	3.8	0.9	7.6	
29歳以下(n=40)	47.5	30.0	2.5	7.5	7.5	2.5	0.0	2.5	
30歳代(n=57)	38.6	33.3	5.3	7.0	1.8	5.3	1.8	7.0	
40歳代(n=55)	41.8	29.1	3.6	14.5	0.0	3.6	0.0	7.3	
50歳代(n=76)	46.1	25.0	5.3	13.2	1.3	2.6	0.0	6.6	
60歳代(n=69)	42.0	24.6	2.9	11.6	5.8	1.4	2.9	8.7	
70歳以上(n=46)	39.1	17.4	2.2	8.7	10.9	8.7	0.0	13.0	
【女性年齢別】(n=444)	38.5	27.3	5.0	12.6	6.8	5.6	0.5	3.8	
29歳以下(n=58)	53.4	19.0	0.0	10.3	12.1	5.2	0.0	0.0	
30歳代(n=66)	40.9	34.8	3.0	9.1	4.5	7.6	0.0	0.0	
40歳代(n=78)	38.5	26.9	2.6	7.7	5.1	10.3	0.0	9.0	
50歳代(n=118)	39.8	24.6	4.2	17.8	5.1	4.2	0.8	3.4	
60歳代(n=79)	31.6	27.8	10.1	13.9	8.9	5.1	0.0	2.5	
70歳以上(n=45)	24.4	33.3	11.1	13.3	6.7	0.0	2.2	8.9	
年齢別									
29歳以下(n=98)	51.0	23.5	1.0	9.2	10.2	4.1	0.0	1.0	
30歳代(n=123)	39.8	34.1	4.1	8.1	3.3	6.5	0.8	3.3	
40歳代(n=133)	39.8	27.8	3.0	10.5	3.0	7.5	0.0	8.3	
50歳代(n=194)	42.3	24.7	4.6	16.0	3.6	3.6	0.5	4.6	
60歳代(n=148)	36.5	26.4	6.8	12.8	7.4	3.4	1.4	5.4	
70歳以上(n=91)	31.9	25.3	6.6	11.0	8.8	4.4	1.1	11.0	
未婚別									
未婚(n=189)	50.3	24.3	1.6	7.4	5.8	4.8	1.1	4.8	
既婚(n=598)	37.1	27.8	5.4	13.2	5.5	4.8	0.5	5.7	
共働き有無別									
共働き世帯(n=316)	38.0	30.4	4.4	12.7	4.4	4.7	0.3	5.1	
非共働き世帯(n=202)	39.1	21.8	5.4	14.4	6.9	4.5	0.5	7.4	

問 15 ①育児休業の取得状況

	取得したことがある	取得したことがない	取得できなかったが、	取得する必要がある	制度がなかった	無回答
全体(N=791)	9.6	39.8	2.1	17.4	24.8	6.2
年齢別						
29歳以下(n=98)	1.0	57.1	0.0	28.6	3.1	10.2
30歳代(n=123)	16.3	48.8	1.6	19.5	9.8	4.1
40歳代(n=133)	16.5	44.4	3.8	20.3	12.0	3.0
50歳代(n=194)	11.9	40.2	3.6	14.4	26.3	3.6
60歳代(n=148)	6.1	28.4	0.0	13.5	43.2	8.8
70歳以上(n=91)	0.0	20.9	2.2	12.1	53.8	11.0
共働き有無別						
共働き世帯(n=316)	17.7	39.2	3.5	13.3	24.1	2.2
非共働き世帯(n=202)	5.9	34.2	2.5	10.9	40.1	6.4

問 15 ②介護休業の取得状況

	取得したことがある	取得したことがない	取得できなかったが、	取得する必要がある	制度がなかった	無回答
全体(N=791)	1.0	47.2	2.7	24.5	17.4	7.2
年齢別						
29歳以下(n=98)	0.0	57.1	0.0	29.6	3.1	10.2
30歳代(n=123)	0.0	56.1	0.8	27.6	7.3	8.1
40歳代(n=133)	0.0	51.1	2.3	31.6	9.8	5.3
50歳代(n=194)	0.5	53.1	5.7	22.2	14.9	3.6
60歳代(n=148)	3.4	35.1	3.4	20.3	30.4	7.4
70歳以上(n=91)	2.2	26.4	1.1	15.4	41.8	13.2
共働き有無別						
共働き世帯(n=316)	0.6	49.7	2.8	26.3	15.8	4.7
非共働き世帯(n=202)	1.5	42.6	2.5	16.8	29.7	6.9

問 16 ①日常生活に対する考え方(現実)

	る仕事を優先す	る家庭を優先す	を優先する プライベ ート	優先する 仕事と家 庭を	するべし トとプ ライ	するべし トとプ ライ	するべし トとプ ライ	の全 てを 優先 す	無 回 答
全体(N=791)	37.5	14.4	2.0	23.3	6.3	5.8	4.0	6.6	
性・年齢別									
【男性年齢】(n=343)	49.3	5.5	2.6	20.4	8.5	3.5	5.5	4.7	
29歳以下(n=40)	52.5	0.0	7.5	10.0	25.0	0.0	5.0	0.0	
30歳代(n=57)	49.1	5.3	0.0	15.8	10.5	8.8	10.5	0.0	
40歳代(n=55)	49.1	9.1	1.8	20.0	10.9	1.8	1.8	5.5	
50歳代(n=76)	50.0	2.6	2.6	28.9	3.9	1.3	5.3	5.3	
60歳代(n=69)	46.4	10.1	1.4	24.6	4.3	2.9	4.3	5.8	
70歳以上(n=46)	50.0	4.3	4.3	15.2	2.2	6.5	6.5	10.9	
【女性年齢】(n=444)	28.6	20.9	1.6	25.5	4.7	7.7	2.9	8.1	
29歳以下(n=58)	29.3	6.9	8.6	19.0	13.8	8.6	5.2	8.6	
30歳代(n=66)	33.3	25.8	0.0	22.7	6.1	6.1	3.0	3.0	
40歳代(n=78)	26.9	17.9	1.3	37.2	1.3	5.1	2.6	7.7	
50歳代(n=118)	28.0	23.7	0.0	29.7	1.7	8.5	1.7	6.8	
60歳代(n=79)	26.6	22.8	0.0	20.3	5.1	10.1	2.5	12.7	
70歳以上(n=45)	28.9	26.7	2.2	15.6	4.4	6.7	4.4	11.1	
年齢別									
29歳以下(n=98)	38.8	4.1	8.2	15.3	18.4	5.1	5.1	5.1	
30歳代(n=123)	40.7	16.3	0.0	19.5	8.1	7.3	6.5	1.6	
40歳代(n=133)	36.1	14.3	1.5	30.1	5.3	3.8	2.3	6.8	
50歳代(n=194)	36.6	15.5	1.0	29.4	2.6	5.7	3.1	6.2	
60歳代(n=148)	35.8	16.9	0.7	22.3	4.7	6.8	3.4	9.5	
70歳以上(n=91)	39.6	15.4	3.3	15.4	3.3	6.6	5.5	11.0	
共働き有無別									
共働き世帯(n=316)	33.5	14.9	0.6	35.1	1.6	5.7	3.5	5.1	
非共働き世帯(n=202)	35.1	23.3	1.5	14.9	4.0	8.4	3.5	9.4	

問 16 ②日常生活に対する考え方(理想)

	る仕事を優先す	る家庭を優先す	を優先する プライベ ート	優先する 仕事と家 庭を	するべし トとプ ライ	するべし トとプ ライ	するべし トとプ ライ	の全 てを 優先 す	無 回 答
全体(N=791)	3.0	11.6	6.7	16.1	5.7	14.7	33.2	9.0	
性・年齢別									
【男性年齢】(n=343)	4.4	11.7	7.3	18.7	6.1	13.4	31.8	6.7	
29歳以下(n=40)	2.5	10.0	20.0	12.5	15.0	15.0	25.0	0.0	
30歳代(n=57)	3.5	10.5	5.3	7.0	8.8	17.5	47.4	0.0	
40歳代(n=55)	3.6	12.7	12.7	16.4	3.6	14.5	25.5	10.9	
50歳代(n=76)	2.6	11.8	6.6	21.1	3.9	9.2	36.8	7.9	
60歳代(n=69)	4.3	15.9	0.0	21.7	4.3	20.3	24.6	8.7	
70歳以上(n=46)	10.9	6.5	4.3	32.6	4.3	2.2	28.3	10.9	
【女性年齢】(n=444)	1.8	11.7	6.3	14.0	5.4	15.5	34.5	10.8	
29歳以下(n=58)	1.7	10.3	17.2	8.6	8.6	13.8	27.6	12.1	
30歳代(n=66)	3.0	16.7	6.1	12.1	6.1	19.7	33.3	3.0	
40歳代(n=78)	0.0	11.5	3.8	12.8	5.1	16.7	41.0	9.0	
50歳代(n=118)	2.5	11.9	5.1	16.1	4.2	11.9	39.0	9.3	
60歳代(n=79)	0.0	8.9	5.1	19.0	6.3	13.9	29.1	17.7	
70歳以上(n=45)	4.4	11.1	2.2	11.1	2.2	22.2	31.1	15.6	
年齢別									
29歳以下(n=98)	2.0	10.2	18.4	10.2	11.2	14.3	26.5	7.1	
30歳代(n=123)	3.3	13.8	5.7	9.8	7.3	18.7	39.8	1.6	
40歳代(n=133)	1.5	12.0	7.5	14.3	4.5	15.8	34.6	9.8	
50歳代(n=194)	2.6	11.9	5.7	18.0	4.1	10.8	38.1	8.8	
60歳代(n=148)	2.0	12.2	2.7	20.3	5.4	16.9	27.0	13.5	
70歳以上(n=91)	7.7	8.8	3.3	22.0	3.3	12.1	29.7	13.2	
共働き有無別									
共働き世帯(n=316)	1.3	11.1	3.5	18.0	3.2	16.5	37.7	8.9	
非共働き世帯(n=202)	4.0	13.9	3.5	18.3	2.0	15.3	32.2	10.9	

問 17 働きやすい社会環境をめざす取組

	どに協 力して 取り組 む	男 女 で家 事や 育児 、介 護な どを 担 う	誰 もが 利用 しやす くする こと が	育 児休 業や 介護 休業 など を	保 育サ ービス や介 護サ ービ スな どを 充実 させ 、誰 もが 利用 でき るよ うに する	労働 時間 を短 縮す る	男 女 の雇 用機 会（ 採用 、勤 務条 件な ど） を均 等に する	職 場 での 男女 の昇 進や 賃金 など の格 差を なく す	せ る 労働 者の 労働 条件 を向 上さ せる	バ ー ト タ イ ム 労働 者や 派遣 労働 者の 労働 条件 を向 上さ せる	職 場 での ハラ スメ ント （い やが らせ ）の 防止 に努 める	選 択 別 にか かわ らず 、職 業を 選 ぶ	性 別 にか かわ らず 、職 業を 選 ぶ	広 ま る よ う 啓 発 す る	女 性 が 働 くこ とへ の理 解が 深 ま る よ うに す る	そ の 他	す で に男 女が と もに 働 きや す い社 会に な っ て い る	無 回 答
全体(N=791)	56.6	46.0	48.3	21.9	12.9	20.9	27.7	11.8	11.1	9.5	2.3	0.8	1.9					
性・年齢別																		
【男性年齢別】(n=343)	47.2	41.1	46.1	24.5	15.2	19.8	27.7	13.4	16.0	7.6	2.9	1.7	2.0					
29歳以下(n=40)	55.0	52.5	40.0	42.5	22.5	17.5	12.5	15.0	12.5	5.0	0.0	5.0	0.0					
30歳代(n=57)	40.4	47.4	47.4	29.8	14.0	19.3	26.3	14.0	12.3	10.5	3.5	3.5	0.0					
40歳代(n=55)	45.5	30.9	40.0	29.1	16.4	25.5	23.6	20.0	16.4	10.9	3.6	0.0	1.8					
50歳代(n=76)	43.4	34.2	48.7	17.1	14.5	17.1	28.9	9.2	14.5	11.8	3.9	2.6	2.6					
60歳代(n=69)	50.7	49.3	53.6	21.7	10.1	15.9	39.1	10.1	18.8	4.3	4.3	0.0	0.0					
70歳以上(n=46)	52.2	34.8	41.3	13.0	17.4	26.1	28.3	15.2	21.7	0.0	0.0	0.0	8.7					
【女性年齢別】(n=444)	64.4	49.5	49.8	19.8	11.3	21.4	27.7	10.6	7.4	11.0	1.8	0.0	1.8					
29歳以下(n=58)	56.9	51.7	44.8	32.8	17.2	34.5	12.1	10.3	6.9	3.4	0.0	0.0	1.7					
30歳代(n=66)	56.1	57.6	37.9	34.8	10.6	25.8	27.3	12.1	7.6	13.6	3.0	0.0	0.0					
40歳代(n=78)	73.1	59.0	38.5	24.4	9.0	21.8	26.9	10.3	7.7	9.0	5.1	0.0	0.0					
50歳代(n=118)	64.4	40.7	55.1	10.2	12.7	19.5	38.1	12.7	6.8	9.3	1.7	0.0	1.7					
60歳代(n=79)	69.6	53.2	67.1	11.4	8.9	8.9	29.1	10.1	5.1	8.9	0.0	0.0	2.5					
70歳以上(n=45)	62.2	35.6	48.9	13.3	8.9	24.4	20.0	4.4	13.3	28.9	0.0	0.0	6.7					
年齢別																		
29歳以下(n=98)	56.1	52.0	42.9	36.7	19.4	27.6	12.2	12.2	9.2	4.1	0.0	2.0	1.0					
30歳代(n=123)	48.8	52.8	42.3	32.5	12.2	22.8	26.8	13.0	9.8	12.2	3.3	1.6	0.0					
40歳代(n=133)	61.7	47.4	39.1	26.3	12.0	23.3	25.6	14.3	11.3	9.8	4.5	0.0	0.8					
50歳代(n=194)	56.2	38.1	52.6	12.9	13.4	18.6	34.5	11.3	9.8	10.3	2.6	1.0	2.1					
60歳代(n=148)	60.8	51.4	60.8	16.2	9.5	12.2	33.8	10.1	11.5	6.8	2.0	0.0	1.4					
70歳以上(n=91)	57.1	35.2	45.1	13.2	13.2	25.3	24.2	9.9	17.6	14.3	0.0	0.0	7.7					
共働き有無別																		
共働き世帯(n=316)	59.5	44.6	49.1	24.4	10.4	18.7	30.1	9.5	8.9	11.4	3.5	0.3	0.3					
非共働き世帯(n=202)	60.9	45.0	53.5	14.9	10.9	18.8	29.2	12.4	11.9	8.9	2.0	0.5	4.5					

問 19 望ましい子どもの育て方

	無回答	その他	男女ともに、個性に 関わり、子育て	男子は男らしく、 女子は女らしく育 てる	男子は外で働き、 家庭を守るように 育てる	男女ともに、性 に 関 係 を す る 正 し い 知 識 と 理 解 を す る 身 に つ け さ せ る	男女ともに、社 会 人 と し て 自 立 で き る よ う に 育 て る	男子とともに、 家事ができる ように育てる	男女の役割を固 定せず、しつけ や教育は区別し ないで育てる
全体(N=791)	2.0	2.0	64.0	17.6	2.7	42.4	83.3	61.6	54.5
年齢別									
29歳以下(n=98)	0.0	1.0	69.4	13.3	3.1	51.0	85.7	61.2	61.2
30歳代(n=123)	0.8	2.4	73.2	11.4	3.3	46.3	76.4	69.9	62.6
40歳代(n=133)	2.3	3.0	66.9	15.0	5.3	40.6	82.0	63.2	50.4
50歳代(n=194)	2.6	2.1	57.2	17.0	2.1	39.2	82.0	67.5	50.5
60歳代(n=148)	2.7	1.4	61.5	21.6	1.4	36.5	88.5	50.0	50.7
70歳以上(n=91)	3.3	2.2	60.4	28.6	1.1	46.2	85.7	52.7	58.2
共働き有無別									
共働き世帯(n=316)	0.9	2.2	65.2	15.8	2.2	41.5	85.4	65.2	54.4
非共働き世帯(n=202)	4.0	1.5	65.3	20.8	2.0	44.1	86.1	58.9	55.9

問 20 家庭生活の役割分担(①生活費を得る)【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	43.5	2.8	41.1	4.3	0.0	0.3	7.9
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	46.9	2.5	37.2	2.1	0.0	0.4	10.9
29歳以下(n=4)	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
30歳代(n=28)	46.4	7.1	42.9	0.0	0.0	0.0	3.6
40歳代(n=37)	59.5	2.7	29.7	0.0	0.0	0.0	8.1
50歳代(n=63)	44.4	3.2	33.3	4.8	0.0	0.0	14.3
60歳代(n=63)	46.0	1.6	39.7	3.2	0.0	0.0	9.5
70歳以上(n=44)	40.9	0.0	43.2	0.0	0.0	2.3	13.6
【女性年齢別】(n=359)	41.2	3.1	43.7	5.8	0.0	0.3	5.8
29歳以下(n=9)	55.6	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
30歳代(n=47)	57.4	2.1	36.2	0.0	0.0	0.0	4.3
40歳代(n=66)	39.4	4.5	43.9	6.1	0.0	0.0	6.1
50歳代(n=114)	36.8	3.5	44.7	7.9	0.0	0.0	7.0
60歳代(n=78)	41.0	1.3	46.2	6.4	0.0	0.0	5.1
70歳以上(n=45)	35.6	4.4	46.7	6.7	0.0	0.0	6.7
年齢別							
29歳以下(n=13)	53.8	0.0	30.8	0.0	0.0	7.7	7.7
30歳代(n=75)	53.3	4.0	38.7	0.0	0.0	0.0	4.0
40歳代(n=103)	46.6	3.9	38.8	3.9	0.0	0.0	6.8
50歳代(n=177)	39.5	3.4	40.7	6.8	0.0	0.0	9.6
60歳代(n=141)	43.3	1.4	43.3	5.0	0.0	0.0	7.1
70歳以上(n=89)	38.2	2.2	44.9	3.4	0.0	1.1	10.1
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	40.2	2.5	51.9	4.4	0.0	0.0	0.9
非共働き世帯(n=202)	58.4	3.0	30.2	3.5	0.0	1.0	4.0

問 20 家庭生活の役割分担(②日常の家事(料理・掃除など))【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	0.7	69.7	17.2	4.3	0.0	0.3	7.7
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	0.8	65.3	19.7	3.3	0.0	0.4	10.5
29歳以下(n=4)	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
30歳代(n=28)	0.0	39.3	57.1	0.0	0.0	0.0	3.6
40歳代(n=37)	0.0	67.6	21.6	2.7	0.0	0.0	8.1
50歳代(n=63)	0.0	58.7	20.6	6.3	0.0	0.0	14.3
60歳代(n=63)	3.2	74.6	9.5	3.2	0.0	1.6	7.9
70歳以上(n=44)	0.0	77.3	6.8	2.3	0.0	0.0	13.6
【女性年齢別】(n=359)	0.6	72.7	15.6	5.0	0.0	0.3	5.8
29歳以下(n=9)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=47)	0.0	72.3	19.1	4.3	0.0	0.0	4.3
40歳代(n=66)	0.0	71.2	13.6	7.6	0.0	1.5	6.1
50歳代(n=114)	0.0	72.8	12.3	7.9	0.0	0.0	7.0
60歳代(n=78)	1.3	74.4	17.9	1.3	0.0	0.0	5.1
70歳以上(n=45)	2.2	73.3	15.6	2.2	0.0	0.0	6.7
年齢別							
29歳以下(n=13)	0.0	61.5	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7
30歳代(n=75)	0.0	60.0	33.3	2.7	0.0	0.0	4.0
40歳代(n=103)	0.0	69.9	16.5	5.8	0.0	1.0	6.8
50歳代(n=177)	0.0	67.8	15.3	7.3	0.0	0.0	9.6
60歳代(n=141)	2.1	74.5	14.2	2.1	0.0	0.7	6.4
70歳以上(n=89)	1.1	75.3	11.2	2.2	0.0	0.0	10.1
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	0.3	71.8	22.5	4.7	0.0	0.0	0.6
非共働き世帯(n=202)	1.0	77.2	14.9	3.0	0.0	0.5	3.5

問 20 家庭生活の役割分担(③日常の家計の管理)【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	6.4	66.1	18.1	1.7	0.0	0.3	7.5
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	8.8	61.1	19.2	0.4	0.0	0.0	10.5
29歳以下(n=4)	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
30歳代(n=28)	17.9	60.7	17.9	0.0	0.0	0.0	3.6
40歳代(n=37)	8.1	59.5	24.3	0.0	0.0	0.0	8.1
50歳代(n=63)	9.5	57.1	17.5	1.6	0.0	0.0	14.3
60歳代(n=63)	9.5	63.5	19.0	0.0	0.0	0.0	7.9
70歳以上(n=44)	2.3	68.2	15.9	0.0	0.0	0.0	13.6
【女性年齢別】(n=359)	4.7	69.4	17.3	2.5	0.0	0.6	5.6
29歳以下(n=9)	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=47)	6.4	66.0	19.1	4.3	0.0	0.0	4.3
40歳代(n=66)	4.5	68.2	16.7	3.0	0.0	1.5	6.1
50歳代(n=114)	6.1	67.5	15.8	3.5	0.0	0.0	7.0
60歳代(n=78)	3.8	70.5	19.2	0.0	0.0	1.3	5.1
70歳以上(n=45)	2.2	77.8	15.6	0.0	0.0	0.0	4.4
年齢別							
29歳以下(n=13)	0.0	53.8	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7
30歳代(n=75)	10.7	64.0	18.7	2.7	0.0	0.0	4.0
40歳代(n=103)	5.8	65.0	19.4	1.9	0.0	1.0	6.8
50歳代(n=177)	7.3	63.8	16.4	2.8	0.0	0.0	9.6
60歳代(n=141)	6.4	67.4	19.1	0.0	0.0	0.7	6.4
70歳以上(n=89)	2.2	73.0	15.7	0.0	0.0	0.0	9.0
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	7.9	67.7	22.2	1.6	0.0	0.0	0.6
非共働き世帯(n=202)	5.9	71.8	17.3	1.5	0.0	0.0	3.5

問 20 家庭生活の役割分担(④家族の介護や看護)【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	1.3	42.3	26.6	9.7	0.2	4.7	15.2
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	1.3	34.7	31.0	9.6	0.0	4.6	18.8
29歳以下(n=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0
30歳代(n=28)	3.6	32.1	35.7	7.1	0.0	7.1	14.3
40歳代(n=37)	0.0	43.2	27.0	10.8	0.0	8.1	10.8
50歳代(n=63)	0.0	36.5	31.7	12.7	0.0	3.2	15.9
60歳代(n=63)	3.2	34.9	31.7	9.5	0.0	1.6	19.0
70歳以上(n=44)	0.0	29.5	27.3	6.8	0.0	4.5	31.8
【女性年齢別】(n=359)	1.4	47.4	23.7	9.7	0.3	4.7	12.8
29歳以下(n=9)	0.0	22.2	44.4	0.0	0.0	11.1	22.2
30歳代(n=47)	0.0	48.9	29.8	4.3	0.0	6.4	10.6
40歳代(n=66)	3.0	39.4	22.7	9.1	0.0	9.1	16.7
50歳代(n=114)	0.9	50.0	24.6	11.4	0.0	4.4	8.8
60歳代(n=78)	2.6	50.0	20.5	12.8	0.0	1.3	12.8
70歳以上(n=45)	0.0	51.1	17.8	8.9	2.2	2.2	17.8
年齢別							
29歳以下(n=13)	0.0	15.4	46.2	0.0	0.0	15.4	23.1
30歳代(n=75)	1.3	42.7	32.0	5.3	0.0	6.7	12.0
40歳代(n=103)	1.9	40.8	24.3	9.7	0.0	8.7	14.6
50歳代(n=177)	0.6	45.2	27.1	11.9	0.0	4.0	11.3
60歳代(n=141)	2.8	43.3	25.5	11.3	0.0	1.4	15.6
70歳以上(n=89)	0.0	40.4	22.5	7.9	1.1	3.4	24.7
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	1.3	44.6	31.0	9.8	0.3	5.1	7.9
非共働き世帯(n=202)	1.5	42.1	26.2	10.9	0.0	5.0	14.4

問 20 家庭生活の役割分担(⑤子育て(育児・しつけなど))【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	0.2	41.5	37.0	7.0	0.2	1.2	13.0
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	0.0	34.3	43.5	5.4	0.4	1.3	15.1
29歳以下(n=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
30歳代(n=28)	0.0	21.4	67.9	3.6	0.0	0.0	7.1
40歳代(n=37)	0.0	35.1	48.6	5.4	0.0	0.0	10.8
50歳代(n=63)	0.0	30.2	47.6	4.8	0.0	1.6	15.9
60歳代(n=63)	0.0	41.3	34.9	4.8	1.6	1.6	15.9
70歳以上(n=44)	0.0	38.6	31.8	6.8	0.0	2.3	20.5
【女性年齢別】(n=359)	0.3	46.2	32.6	8.1	0.0	1.1	11.7
29歳以下(n=9)	0.0	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	44.4
30歳代(n=47)	0.0	48.9	38.3	6.4	0.0	0.0	6.4
40歳代(n=66)	0.0	45.5	34.8	6.1	0.0	3.0	10.6
50歳代(n=114)	0.0	50.9	24.6	10.5	0.0	1.8	12.3
60歳代(n=78)	1.3	42.3	39.7	10.3	0.0	0.0	6.4
70歳以上(n=45)	0.0	46.7	28.9	4.4	0.0	0.0	20.0
年齢別							
29歳以下(n=13)	0.0	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0	38.5
30歳代(n=75)	0.0	38.7	49.3	5.3	0.0	0.0	6.7
40歳代(n=103)	0.0	41.7	39.8	5.8	0.0	1.9	10.7
50歳代(n=177)	0.0	43.5	32.8	8.5	0.0	1.7	13.6
60歳代(n=141)	0.7	41.8	37.6	7.8	0.7	0.7	10.6
70歳以上(n=89)	0.0	42.7	30.3	5.6	0.0	1.1	20.2
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	0.3	45.3	41.8	5.7	0.3	1.3	5.4
非共働き世帯(n=202)	0.0	39.6	37.6	8.9	0.0	1.5	12.4

問 20 家庭生活の役割分担(⑥地域活動(自治会など))【現実】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(n=598)	24.4	24.7	30.8	8.9	0.0	2.7	8.5
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=239)	34.7	16.3	28.0	7.9	0.0	2.1	10.9
29歳以下(n=4)	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0
30歳代(n=28)	46.4	3.6	32.1	7.1	0.0	3.6	7.1
40歳代(n=37)	27.0	24.3	18.9	16.2	0.0	5.4	8.1
50歳代(n=63)	36.5	15.9	27.0	6.3	0.0	0.0	14.3
60歳代(n=63)	30.2	17.5	36.5	7.9	0.0	0.0	7.9
70歳以上(n=44)	40.9	18.2	22.7	2.3	0.0	2.3	13.6
【女性年齢別】(n=359)	17.5	30.4	32.6	9.5	0.0	3.1	7.0
29歳以下(n=9)	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1	33.3
30歳代(n=47)	8.5	40.4	29.8	10.6	0.0	4.3	6.4
40歳代(n=66)	12.1	33.3	31.8	7.6	0.0	9.1	6.1
50歳代(n=114)	19.3	29.8	30.7	11.4	0.0	1.8	7.0
60歳代(n=78)	29.5	24.4	34.6	6.4	0.0	0.0	5.1
70歳以上(n=45)	13.3	28.9	40.0	11.1	0.0	0.0	6.7
年齢別							
29歳以下(n=13)	0.0	15.4	23.1	15.4	0.0	15.4	30.8
30歳代(n=75)	22.7	26.7	30.7	9.3	0.0	4.0	6.7
40歳代(n=103)	17.5	30.1	27.2	10.7	0.0	7.8	6.8
50歳代(n=177)	25.4	24.9	29.4	9.6	0.0	1.1	9.6
60歳代(n=141)	29.8	21.3	35.5	7.1	0.0	0.0	6.4
70歳以上(n=89)	27.0	23.6	31.5	6.7	0.0	1.1	10.1
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	25.3	26.9	33.5	10.1	0.0	2.5	1.6
非共働き世帯(n=202)	27.2	23.3	34.7	6.4	0.0	3.5	5.0

問 21 家庭生活の役割分担(①生活費を得る)【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	28.7	0.5	56.3	12.3	0.0	0.0	2.3
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	35.0	0.3	50.1	10.8	0.0	0.0	3.8
29歳以下(n=40)	45.0	0.0	42.5	12.5	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=57)	19.3	0.0	61.4	15.8	0.0	0.0	3.5
40歳代(n=55)	34.5	1.8	49.1	7.3	0.0	0.0	7.3
50歳代(n=76)	35.5	0.0	46.1	13.2	0.0	0.0	5.3
60歳代(n=69)	33.3	0.0	52.2	11.6	0.0	0.0	2.9
70歳以上(n=46)	47.8	0.0	47.8	2.2	0.0	0.0	2.2
【女性年齢別】(n=444)	23.4	0.7	61.3	13.5	0.0	0.0	1.1
29歳以下(n=58)	12.1	1.7	67.2	17.2	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	31.8	0.0	59.1	7.6	0.0	0.0	1.5
40歳代(n=78)	19.2	1.3	66.7	12.8	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=118)	22.9	0.0	60.2	15.3	0.0	0.0	1.7
60歳代(n=79)	25.3	0.0	59.5	15.2	0.0	0.0	0.0
70歳以上(n=45)	31.1	2.2	53.3	11.1	0.0	0.0	2.2
年齢別							
29歳以下(n=98)	25.5	1.0	57.1	15.3	0.0	0.0	1.0
30歳代(n=123)	26.0	0.0	60.2	11.4	0.0	0.0	2.4
40歳代(n=133)	25.6	1.5	59.4	10.5	0.0	0.0	3.0
50歳代(n=194)	27.8	0.0	54.6	14.4	0.0	0.0	3.1
60歳代(n=148)	29.1	0.0	56.1	13.5	0.0	0.0	1.4
70歳以上(n=91)	39.6	1.1	50.5	6.6	0.0	0.0	2.2
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	29.7	0.6	61.7	6.6	0.0	0.0	1.3
非共働き世帯(n=202)	32.7	0.0	55.0	9.9	0.0	0.0	2.5

問 21 家庭生活の役割分担(②日常の家事(料理・掃除など))【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	0.1	25.0	47.5	24.9	0.0	0.0	2.4
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	0.0	36.2	40.5	19.5	0.0	0.0	3.8
29歳以下(n=40)	0.0	42.5	27.5	30.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=57)	0.0	21.1	54.4	21.1	0.0	0.0	3.5
40歳代(n=55)	0.0	38.2	38.2	16.4	0.0	0.0	7.3
50歳代(n=76)	0.0	35.5	39.5	19.7	0.0	0.0	5.3
60歳代(n=69)	0.0	33.3	42.0	21.7	0.0	0.0	2.9
70歳以上(n=46)	0.0	52.2	37.0	8.7	0.0	0.0	2.2
【女性年齢別】(n=444)	0.2	16.2	53.2	29.1	0.0	0.0	1.4
29歳以下(n=58)	0.0	10.3	58.6	29.3	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	0.0	12.1	63.6	22.7	0.0	0.0	1.5
40歳代(n=78)	0.0	15.4	56.4	28.2	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=118)	0.0	16.9	47.5	33.9	0.0	0.0	1.7
60歳代(n=79)	0.0	12.7	55.7	30.4	0.0	0.0	1.3
70歳以上(n=45)	2.2	35.6	35.6	24.4	0.0	0.0	2.2
年齢別							
29歳以下(n=98)	0.0	23.5	45.9	29.6	0.0	0.0	1.0
30歳代(n=123)	0.0	16.3	59.3	22.0	0.0	0.0	2.4
40歳代(n=133)	0.0	24.8	48.9	23.3	0.0	0.0	3.0
50歳代(n=194)	0.0	24.2	44.3	28.4	0.0	0.0	3.1
60歳代(n=148)	0.0	22.3	49.3	26.4	0.0	0.0	2.0
70歳以上(n=91)	1.1	44.0	36.3	16.5	0.0	0.0	2.2
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	0.0	24.1	55.7	19.0	0.0	0.0	1.3
非共働き世帯(n=202)	0.5	32.2	44.1	20.8	0.0	0.0	2.5

問 21 家庭生活の役割分担(③日常の家計の管理)【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	2.8	38.4	50.4	5.4	0.0	0.1	2.8
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	3.8	40.2	46.6	4.7	0.0	0.0	4.7
29歳以下(n=40)	0.0	40.0	52.5	7.5	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=57)	7.0	24.6	54.4	8.8	0.0	0.0	5.3
40歳代(n=55)	0.0	41.8	49.1	1.8	0.0	0.0	7.3
50歳代(n=76)	7.9	40.8	40.8	2.6	0.0	0.0	7.9
60歳代(n=69)	2.9	43.5	44.9	5.8	0.0	0.0	2.9
70歳以上(n=46)	2.2	52.2	41.3	2.2	0.0	0.0	2.2
【女性年齢別】(n=444)	2.0	36.7	53.6	6.1	0.0	0.2	1.4
29歳以下(n=58)	1.7	43.1	51.7	1.7	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	1.5	37.9	54.5	4.5	0.0	0.0	1.5
40歳代(n=78)	2.6	35.9	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=118)	1.7	31.4	55.1	10.2	0.0	0.0	1.7
60歳代(n=79)	3.8	34.2	55.7	3.8	0.0	1.3	1.3
70歳以上(n=45)	0.0	46.7	46.7	4.4	0.0	0.0	2.2
年齢別							
29歳以下(n=98)	1.0	41.8	52.0	4.1	0.0	0.0	1.0
30歳代(n=123)	4.1	31.7	54.5	6.5	0.0	0.0	3.3
40歳代(n=133)	1.5	38.3	51.9	5.3	0.0	0.0	3.0
50歳代(n=194)	4.1	35.1	49.5	7.2	0.0	0.0	4.1
60歳代(n=148)	3.4	38.5	50.7	4.7	0.0	0.7	2.0
70歳以上(n=91)	1.1	49.5	44.0	3.3	0.0	0.0	2.2
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	3.5	41.1	51.3	2.8	0.0	0.0	1.3
非共働き世帯(n=202)	2.0	40.1	50.0	5.4	0.0	0.0	2.5

問 21 家庭生活の役割分担(④家族の介護や看護)【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	0.3	6.3	48.0	41.2	0.0	0.8	3.4
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	0.3	9.6	49.9	34.4	0.0	0.9	5.0
29歳以下(n=40)	0.0	5.0	52.5	42.5	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=57)	1.8	5.3	47.4	42.1	0.0	0.0	3.5
40歳代(n=55)	0.0	16.4	38.2	36.4	0.0	1.8	7.3
50歳代(n=76)	0.0	7.9	56.6	28.9	0.0	0.0	6.6
60歳代(n=69)	0.0	11.6	44.9	37.7	0.0	1.4	4.3
70歳以上(n=46)	0.0	10.9	60.9	19.6	0.0	2.2	6.5
【女性年齢別】(n=444)	0.2	3.8	46.8	46.2	0.0	0.7	2.3
29歳以下(n=58)	0.0	0.0	46.6	51.7	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	0.0	6.1	50.0	39.4	0.0	3.0	1.5
40歳代(n=78)	0.0	0.0	53.8	44.9	0.0	0.0	1.3
50歳代(n=118)	0.0	5.1	47.5	44.1	0.0	0.8	2.5
60歳代(n=79)	1.3	2.5	41.8	51.9	0.0	0.0	2.5
70歳以上(n=45)	0.0	11.1	37.8	46.7	0.0	0.0	4.4
年齢別							
29歳以下(n=98)	0.0	2.0	49.0	48.0	0.0	0.0	1.0
30歳代(n=123)	0.8	5.7	48.8	40.7	0.0	1.6	2.4
40歳代(n=133)	0.0	6.8	47.4	41.4	0.0	0.8	3.8
50歳代(n=194)	0.0	6.2	51.0	38.1	0.0	0.5	4.1
60歳代(n=148)	0.7	6.8	43.2	45.3	0.0	0.7	3.4
70歳以上(n=91)	0.0	11.0	49.5	33.0	0.0	1.1	5.5
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	0.3	7.9	54.4	34.5	0.0	0.6	2.2
非共働き世帯(n=202)	0.0	8.4	49.0	36.6	0.0	1.0	5.0

問 21 家庭生活の役割分担(⑤子育て(育児・しつけなど))【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	0.4	5.2	64.6	26.3	0.3	0.3	3.0
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	0.6	7.9	63.6	22.4	0.3	0.6	4.7
29歳以下(n=40)	0.0	7.5	72.5	17.5	2.5	0.0	0.0
30歳代(n=57)	3.5	5.3	59.6	28.1	0.0	0.0	3.5
40歳代(n=55)	0.0	9.1	52.7	30.9	0.0	0.0	7.3
50歳代(n=76)	0.0	5.3	76.3	11.8	0.0	1.3	5.3
60歳代(n=69)	0.0	11.6	49.3	31.9	0.0	1.4	5.8
70歳以上(n=46)	0.0	8.7	73.9	13.0	0.0	0.0	4.3
【女性年齢別】(n=444)	0.2	3.2	65.3	29.3	0.2	0.0	1.8
29歳以下(n=58)	0.0	3.4	63.8	31.0	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	0.0	1.5	74.2	22.7	0.0	0.0	1.5
40歳代(n=78)	0.0	2.6	64.1	33.3	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=118)	0.0	3.4	64.4	28.8	0.0	0.0	3.4
60歳代(n=79)	1.3	2.5	65.8	30.4	0.0	0.0	0.0
70歳以上(n=45)	0.0	6.7	57.8	28.9	2.2	0.0	4.4
年齢別							
29歳以下(n=98)	0.0	5.1	67.3	25.5	1.0	0.0	1.0
30歳代(n=123)	1.6	3.3	67.5	25.2	0.0	0.0	2.4
40歳代(n=133)	0.0	5.3	59.4	32.3	0.0	0.0	3.0
50歳代(n=194)	0.0	4.1	69.1	22.2	0.0	0.5	4.1
60歳代(n=148)	0.7	6.8	58.1	31.1	0.0	0.7	2.7
70歳以上(n=91)	0.0	7.7	65.9	20.9	1.1	0.0	4.4
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	0.3	4.1	73.7	19.9	0.0	0.3	1.6
非共働き世帯(n=202)	0.0	8.4	63.4	22.3	0.5	0.5	5.0

問 21 庭生活の役割分担(⑥地域活動(自治会など))【理想】

	主に夫	主に妻	夫婦が協力	家族が協力	主に子ども	その他の人	無回答
全体(N=791)	8.2	2.8	50.6	34.6	0.1	1.4	2.3
性・年齢別							
【男性年齢別】(n=343)	12.2	4.1	47.5	29.7	0.0	2.6	3.8
29歳以下(n=40)	10.0	0.0	47.5	37.5	0.0	5.0	0.0
30歳代(n=57)	10.5	3.5	35.1	42.1	0.0	5.3	3.5
40歳代(n=55)	10.9	7.3	41.8	30.9	0.0	1.8	7.3
50歳代(n=76)	13.2	3.9	51.3	23.7	0.0	2.6	5.3
60歳代(n=69)	7.2	4.3	55.1	30.4	0.0	0.0	2.9
70歳以上(n=46)	23.9	4.3	52.2	15.2	0.0	2.2	2.2
【女性年齢別】(n=444)	5.0	1.8	52.9	38.5	0.2	0.5	1.1
29歳以下(n=58)	1.7	0.0	53.4	43.1	0.0	0.0	1.7
30歳代(n=66)	1.5	1.5	59.1	34.8	0.0	1.5	1.5
40歳代(n=78)	3.8	0.0	59.0	37.2	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=118)	2.5	3.4	47.5	44.1	0.0	0.8	1.7
60歳代(n=79)	13.9	1.3	49.4	34.2	1.3	0.0	0.0
70歳以上(n=45)	6.7	4.4	53.3	33.3	0.0	0.0	2.2
年齢別							
29歳以下(n=98)	5.1	0.0	51.0	40.8	0.0	2.0	1.0
30歳代(n=123)	5.7	2.4	48.0	38.2	0.0	3.3	2.4
40歳代(n=133)	6.8	3.0	51.9	34.6	0.0	0.8	3.0
50歳代(n=194)	6.7	3.6	49.0	36.1	0.0	1.5	3.1
60歳代(n=148)	10.8	2.7	52.0	32.4	0.7	0.0	1.4
70歳以上(n=91)	15.4	4.4	52.7	24.2	0.0	1.1	2.2
共働き有無別							
共働き世帯(n=316)	7.9	2.5	59.8	27.5	0.0	0.9	1.3
非共働き世帯(n=202)	11.9	5.4	51.0	29.2	0.0	0.0	2.5

問 22 地域活動への参加状況

	自治会、 会など 婦人会、 老人	P T A、 子 ど も 会 な ど	ツ、 味や レク リ エ ー シ ョ ン な ど	趣 味 や 教 養 、 ス ポ ー ン	護、 サイ クル、 ま ち づ く り な ど	リ サ イ ク ル、 環 境 保	N P O 活 動 な ど	福 祉 ・ ボ ラ ン テ ィ ア ・	防 災 ・ 防 犯 活 動 な ど	の 国 際 交 流 活 動	ホ ー ム ス テ ィ ア な れ や	活 動 の 委 員 な ど の 公 的 審	議 会 の 各 種 委 員 会 や	行 政 の 各 種 委 員 会 な ど	そ の 他	特 に 参 加 し て い な い	無 回 答
全体(N=791)	55.9	19.2	20.1	8.8	8.8	10.7	2.0	2.1	0.6	30.1	0.6						
年齢別																	
29歳以下(n=98)	10.2	2.0	12.2	4.1	9.2	1.0	3.1	1.0	0.0	69.4	1.0						
30歳代(n=123)	37.4	43.1	17.9	9.8	2.4	2.4	2.4	0.8	1.6	38.2	0.8						
40歳代(n=133)	44.4	42.9	17.3	8.3	7.5	9.0	1.5	0.8	0.8	31.6	0.0						
50歳代(n=194)	68.6	11.9	14.4	5.7	5.7	7.2	1.0	1.5	0.0	23.7	0.5						
60歳代(n=148)	74.3	5.4	25.0	12.8	12.2	16.2	2.0	3.4	0.7	19.6	0.7						
70歳以上(n=91)	87.9	7.7	37.4	14.3	19.8	33.0	3.3	6.6	1.1	6.6	1.1						
未婚別																	
未婚(n=189)	14.8	2.6	11.1	5.8	7.4	3.7	2.1	1.1	0.5	65.6	1.1						
既婚(n=598)	68.6	24.2	22.6	9.9	9.2	12.9	2.0	2.5	0.7	19.1	0.5						
共働き有無別																	
共働き世帯(n=316)	67.7	33.2	22.8	8.2	5.4	7.6	2.5	2.2	0.3	17.7	0.3						
非共働き世帯(n=202)	70.3	13.9	22.3	13.9	13.9	18.3	1.5	3.0	1.5	19.8	1.0						

問 25 ハラスメントの経験(①セクシュアルハラスメント)

	とを自 がふ分 がある るが る暴 た力 こ等	がを自 あ受分 るけが た暴 こ力 と等	るるに つ暴分 た力の 人等ま がをわ いふり	けに自 た暴分 人力の が等ま いをわ る受り	がをに あ受暴 るけ力 た等 こ被 と害	いとし る一般 る知的 な知 つ知 て識	が聞言 あき葉 るしと るた こて と見	知 ら な か つ た	無 回 答
全体(N=791)	0.8	5.6	4.7	8.1	2.1	71.3	11.3	1.8	4.8
性・年齢別									
【男性年齢】(n=343)									
29歳以下(n=40)	1.5	2.0	5.5	8.7	2.9	68.8	11.1	2.3	6.4
30歳代(n=57)	0.0	0.0	2.5	10.0	0.0	80.0	7.5	2.5	0.0
40歳代(n=55)	3.5	1.8	7.0	8.8	0.0	73.7	3.5	3.5	5.3
50歳代(n=76)	0.0	5.5	7.3	20.0	9.1	63.6	9.1	1.8	5.5
60歳代(n=69)	2.6	1.3	6.6	3.9	2.6	65.8	15.8	1.3	7.9
70歳以上(n=46)	0.0	2.9	2.9	5.8	2.9	72.5	11.6	0.0	7.2
【女性年齢】(n=444)									
29歳以下(n=58)	2.2	0.0	6.5	6.5	2.2	58.7	17.4	6.5	10.9
30歳代(n=66)	0.2	8.3	4.1	7.7	1.6	73.2	11.3	1.4	3.6
40歳代(n=78)	0.0	10.3	1.7	8.6	1.7	77.6	6.9	1.7	1.7
50歳代(n=118)	0.0	13.6	6.1	9.1	1.5	74.2	7.6	0.0	4.5
60歳代(n=79)	0.0	10.3	10.3	12.8	2.6	71.8	9.0	0.0	0.0
70歳以上(n=45)	0.0	6.8	3.4	6.8	0.8	76.3	6.8	0.8	4.2
年齢別									
29歳以下(n=98)	1.3	5.1	0.0	2.5	1.3	69.6	22.8	0.0	6.3
30歳代(n=123)	0.0	4.4	2.2	6.7	2.2	66.7	17.8	8.9	4.4
40歳代(n=133)	0.0	6.1	2.0	9.2	1.0	78.6	7.1	2.0	1.0
50歳代(n=194)	1.6	8.1	6.5	8.9	0.8	74.0	5.7	1.6	4.9
60歳代(n=148)	0.0	8.3	9.0	15.8	5.3	68.4	9.0	0.8	2.3
70歳以上(n=91)	1.0	4.6	4.6	5.7	1.5	72.2	10.3	1.0	5.7

問 25 ハラスメントの経験(②パワーハラスメント)

	とを自 がふ分 あるが る暴 た力 こ等	がを自 あ受分 るけが た暴 こ力 と等	るるに つ暴分 た力の 人等ま がをわ いふり	けに自 た暴分 人の が等ま いをわ る受り	がをに あ受つ るけい たの こ相被 と談害	いと一 るし般 て的 知な つ知 て識	が聞言 あき葉 るしと たして こと見	知ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	0.6	10.9	5.9	9.9	2.8	60.3	14.2	2.4	4.6
性・年齢別									
【男性年齢別】(n=343)	1.5	8.7	5.8	9.0	2.0	59.8	13.7	2.9	6.4
29歳以下(n=40)	2.5	0.0	5.0	10.0	0.0	70.0	12.5	5.0	0.0
30歳代(n=57)	1.8	24.6	3.5	14.0	1.8	52.6	1.8	5.3	3.5
40歳代(n=55)	0.0	12.7	5.5	9.1	5.5	61.8	16.4	1.8	5.5
50歳代(n=76)	2.6	7.9	10.5	10.5	2.6	53.9	10.5	1.3	9.2
60歳代(n=69)	1.4	2.9	1.4	5.8	1.4	72.5	15.9	0.0	7.2
70歳以上(n=46)	0.0	2.2	8.7	4.3	0.0	47.8	28.3	6.5	10.9
【女性年齢別】(n=444)	0.0	12.6	6.1	10.4	3.4	60.6	14.4	2.0	3.2
29歳以下(n=58)	0.0	10.3	1.7	6.9	3.4	70.7	10.3	1.7	1.7
30歳代(n=66)	0.0	19.7	12.1	16.7	4.5	60.6	10.6	0.0	1.5
40歳代(n=78)	0.0	16.7	11.5	17.9	2.6	59.0	10.3	0.0	0.0
50歳代(n=118)	0.0	11.9	3.4	6.8	2.5	66.9	9.3	0.8	2.5
60歳代(n=79)	0.0	8.9	5.1	10.1	2.5	49.4	25.3	2.5	8.9
70歳以上(n=45)	0.0	6.7	2.2	2.2	6.7	53.3	26.7	11.1	4.4
年齢別									
29歳以下(n=98)	1.0	6.1	3.1	8.2	2.0	70.4	11.2	3.1	1.0
30歳代(n=123)	0.8	22.0	8.1	15.4	3.3	56.9	6.5	2.4	2.4
40歳代(n=133)	0.0	15.0	9.0	14.3	3.8	60.2	12.8	0.8	2.3
50歳代(n=194)	1.0	10.3	6.2	8.2	2.6	61.9	9.8	1.0	5.2
60歳代(n=148)	0.7	6.1	3.4	8.1	2.0	60.1	20.9	1.4	8.1
70歳以上(n=91)	0.0	4.4	5.5	3.3	3.3	50.5	27.5	8.8	7.7

問 25 ハラスメントの経験(③マタニティハラスメント)

	とを自 がふ分 あるが る暴 た力 こ等	がを自 あ受分 るけが た暴 こ力 と等	るるに つ暴分 た力の 人等ま がをわ いふり	けに自 た暴分 人の が等ま いをわ る受り	がをに あ受つ るけい たの こ相被 と談害	いと一 るし般 て的 知な つ知 て識	が聞言 あき葉 るしと たして こと見	知ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	0.1	1.1	1.4	3.7	1.0	66.6	18.0	7.5	5.3
性・年齢別									
【男性年齢別】(n=343)	0.0	0.0	1.2	2.6	0.9	63.3	17.5	9.6	7.3
29歳以下(n=40)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	17.5	12.5	0.0
30歳代(n=57)	0.0	0.0	0.0	7.0	1.8	68.4	12.3	7.0	5.3
40歳代(n=55)	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	65.5	20.0	10.9	5.5
50歳代(n=76)	0.0	0.0	1.3	2.6	0.0	63.2	15.8	5.3	11.8
60歳代(n=69)	0.0	0.0	1.4	2.9	1.4	60.9	15.9	13.0	7.2
70歳以上(n=46)	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	52.2	26.1	10.9	10.9
【女性年齢別】(n=444)	0.2	2.0	1.6	4.5	1.1	69.1	18.2	5.9	3.8
29歳以下(n=58)	0.0	3.4	1.7	3.4	1.7	72.4	17.2	5.2	1.7
30歳代(n=66)	0.0	4.5	4.5	10.6	3.0	71.2	18.2	0.0	1.5
40歳代(n=78)	0.0	2.6	1.3	5.1	0.0	73.1	14.1	6.4	0.0
50歳代(n=118)	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	79.7	12.7	3.4	4.2
60歳代(n=79)	1.3	1.3	1.3	2.5	0.0	54.4	29.1	6.3	8.9
70歳以上(n=45)	0.0	2.2	2.2	2.2	4.4	53.3	22.2	20.0	6.7
年齢別									
29歳以下(n=98)	0.0	2.0	1.0	2.0	1.0	71.4	17.3	8.2	1.0
30歳代(n=123)	0.0	2.4	2.4	8.9	2.4	69.9	15.4	3.3	3.3
40歳代(n=133)	0.0	1.5	1.5	3.8	0.8	69.9	16.5	8.3	2.3
50歳代(n=194)	0.0	0.0	0.5	3.1	0.0	73.2	13.9	4.1	7.2
60歳代(n=148)	0.7	0.7	1.4	2.7	0.7	57.4	23.0	9.5	8.1
70歳以上(n=91)	0.0	1.1	2.2	1.1	2.2	52.7	24.2	15.4	8.8

問 25 ハラスメントの経験(④パタニティハラスメント)

	とを自 がふ分 あるが ある暴 た力 こ等	がを自 あ受分 るけが た暴 こ等	るるに つ暴 た力 人等 がを いふ	けに自 た暴 人力 が等 いを る受	がをに あ受 るけ たの こ相 と被 と害	いと一 るし般 て的 知な つ知 て識	が聞言 あき業 るし たと こ見	知ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	0.0	0.0	0.4	1.3	0.3	27.4	11.1	54.6	6.1
性・年齢別									
【男性年齢】(n=343)	0.0	0.0	0.6	1.2	0.0	31.5	10.2	49.6	7.9
29歳以下(n=40)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	7.5	55.0	0.0
30歳代(n=57)	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	26.3	8.8	56.1	5.3
40歳代(n=55)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.2	7.3	49.1	5.5
50歳代(n=76)	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	27.6	10.5	48.7	11.8
60歳代(n=69)	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	31.9	7.2	52.2	8.7
70歳以上(n=46)	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	30.4	21.7	34.8	13.0
【女性年齢】(n=444)	0.0	0.0	0.2	1.1	0.5	24.5	11.9	58.3	4.7
29歳以下(n=58)	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	24.1	8.6	63.8	1.7
30歳代(n=66)	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	15.2	10.6	71.2	3.0
40歳代(n=78)	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	32.1	6.4	59.0	0.0
50歳代(n=118)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.6	8.5	61.9	5.1
60歳代(n=79)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	22.8	46.8	11.4
70歳以上(n=45)	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	33.3	17.8	42.2	6.7
年齢別									
29歳以下(n=98)	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	29.6	8.2	60.2	1.0
30歳代(n=123)	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	20.3	9.8	64.2	4.1
40歳代(n=133)	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	34.6	6.8	54.9	2.3
50歳代(n=194)	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	25.8	9.3	56.7	7.7
60歳代(n=148)	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	25.7	15.5	49.3	10.1
70歳以上(n=91)	0.0	0.0	1.1	1.1	2.2	31.9	19.8	38.5	9.9

問 25 ハラスメントの経験(⑤ドメスティック・バイオレンス)

	とを自 がふ分 あるが ある暴 た力 こ等	がを自 あ受分 るけが た暴 こ等	るるに つ暴 た力 人等 がを いふ	けに自 た暴 人力 が等 いを る受	がをに あ受 るけ たの こ相 と被 と害	いと一 るし般 て的 知な つ知 て識	が聞言 あき業 るし たと こ見	知ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	1.1	4.0	3.8	9.2	2.3	68.8	12.6	3.4	4.3
性・年齢別									
【男性年齢】(n=343)	1.5	0.6	3.5	5.8	2.3	70.3	11.1	4.4	6.1
29歳以下(n=40)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	87.5	5.0	5.0	0.0
30歳代(n=57)	0.0	1.8	10.5	5.3	0.0	77.2	1.8	5.3	3.5
40歳代(n=55)	3.6	1.8	3.6	3.6	3.6	72.7	16.4	3.6	3.6
50歳代(n=76)	3.9	0.0	1.3	7.9	1.3	67.1	9.2	1.3	9.2
60歳代(n=69)	0.0	0.0	2.9	7.2	4.3	69.6	10.1	4.3	5.8
70歳以上(n=46)	0.0	0.0	2.2	8.7	2.2	50.0	26.1	8.7	13.0
【女性年齢】(n=444)	0.9	6.8	4.1	11.9	2.3	67.8	13.5	2.7	2.9
29歳以下(n=58)	1.7	3.4	3.4	5.2	1.7	84.5	5.2	1.7	1.7
30歳代(n=66)	3.0	10.6	7.6	22.7	4.5	69.7	6.1	0.0	1.5
40歳代(n=78)	1.3	7.7	6.4	20.5	1.3	66.7	10.3	1.3	0.0
50歳代(n=118)	0.0	7.6	4.2	11.0	0.8	72.0	9.3	0.8	2.5
60歳代(n=79)	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	60.8	27.8	2.5	8.9
70歳以上(n=45)	0.0	6.7	2.2	6.7	8.9	46.7	26.7	15.6	2.2
年齢別									
29歳以下(n=98)	1.0	2.0	2.0	3.1	2.0	85.7	5.1	3.1	1.0
30歳代(n=123)	1.6	6.5	8.9	14.6	2.4	73.2	4.1	2.4	2.4
40歳代(n=133)	2.3	5.3	5.3	13.5	2.3	69.2	12.8	2.3	1.5
50歳代(n=194)	1.5	4.6	3.1	9.8	1.0	70.1	9.3	1.0	5.2
60歳代(n=148)	0.0	2.0	1.4	5.4	2.0	64.9	19.6	3.4	7.4
70歳以上(n=91)	0.0	3.3	2.2	7.7	5.5	48.4	26.4	12.1	7.7

問 26 DVの相談先

	警察に相談した	員窓法た相女相生市ブ士民間たラ医家し友そ相ど無 (等)口務談性談児(会等)間の師や人、他談こ回 に)人局(員相談)のや、知に、しな答 相権(人権擁護に相談したたにも									
全体(n=117)	4.3	0.9	4.3	3.4	4.3	5.1	28.2	34.2	9.4	35.9	0.9
性・年齢別											
【男性年齢別】(n=37)	5.4	0.0	5.4	0.0	2.7	2.7	24.3	13.5	13.5	43.2	0.0
29歳以下(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0
40歳代(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0
50歳代(n=10)	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	60.0	0.0
60歳代(n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0
70歳以上(n=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
【女性年齢別】(n=80)	3.8	1.3	3.8	5.0	5.0	6.3	30.0	43.8	7.5	32.5	1.3
29歳以下(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	50.0	0.0
30歳代(n=20)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	35.0	60.0	5.0	30.0	0.0
40歳代(n=21)	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	19.0	23.8	28.6	4.8	38.1	4.8
50歳代(n=21)	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	33.3	42.9	9.5	28.6	0.0
60歳代(n=5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
70歳以上(n=7)	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0
年齢別											
29歳以下(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	42.9	0.0
30歳代(n=27)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	33.3	48.1	11.1	29.6	0.0
40歳代(n=28)	0.0	0.0	3.6	3.6	7.1	14.3	21.4	25.0	7.1	42.9	3.6
50歳代(n=31)	3.2	0.0	3.2	6.5	3.2	0.0	29.0	32.3	6.5	38.7	0.0
60歳代(n=13)	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	30.8	23.1	23.1	23.1	0.0
70歳以上(n=11)	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	36.4	27.3	9.1	36.4	0.0

問 29 用語の認知度(①男女共同参画社会)

	て内 い容 るま で知 つ	と見 が聞 きし たこ	知 ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	24.5	51.2	18.6	5.7
年齢別				
29歳以下(n=98)	49.0	35.7	11.2	4.1
30歳代(n=123)	18.7	45.5	31.7	4.1
40歳代(n=133)	21.1	51.9	23.3	3.8
50歳代(n=194)	17.5	61.9	14.9	5.7
60歳代(n=148)	23.6	52.7	16.2	7.4
70歳以上(n=91)	27.5	48.4	14.3	9.9

問 29 用語の認知度(②ジェンダー)

	て内 い容 るま で知 つ	と見 が聞 きし たこ	知 ら な かつ た	無 回 答
全体(N=791)	17.7	33.1	43.4	5.8
年齢別				
29歳以下(n=98)	36.7	28.6	30.6	4.1
30歳代(n=123)	24.4	35.8	35.0	4.9
40歳代(n=133)	16.5	39.8	39.8	3.8
50歳代(n=194)	16.0	33.0	45.4	5.7
60歳代(n=148)	10.1	29.7	52.7	7.4
70歳以上(n=91)	5.5	30.8	53.8	9.9

問 29 用語の認知度(③ワーク・ライフ・バランス)

	て内容 いる まで 知っ	と見 が聞 きあ るし たこ	知 ら な か つ た	無 回 答
全体(N=791)	21.1	40.1	32.6	6.2
年齢別				
29歳以下(n=98)	33.7	36.7	25.5	4.1
30歳代(n=123)	34.1	31.7	30.1	4.1
40歳代(n=133)	21.1	40.6	33.8	4.5
50歳代(n=194)	17.5	44.3	31.4	6.7
60歳代(n=148)	12.8	43.9	35.8	7.4
70歳以上(n=91)	11.0	38.5	39.6	11.0

問 29 用語の認知度(④男女雇用機会均等法)

	て内容 いる まで 知っ	と見 が聞 きあ るし たこ	知 ら な か つ た	無 回 答
全体(N=791)	39.7	45.4	9.0	5.9
年齢別				
29歳以下(n=98)	48.0	38.8	9.2	4.1
30歳代(n=123)	49.6	41.5	4.9	4.1
40歳代(n=133)	42.1	45.9	8.3	3.8
50歳代(n=194)	36.6	49.5	8.2	5.7
60歳代(n=148)	33.8	47.3	10.8	8.1
70歳以上(n=91)	29.7	45.1	14.3	11.0

問 29 用語の認知度(⑤女性活躍推進法)

	て内容 いる まで 知っ	と見 が聞 きあ るし たこ	知 ら な か つ た	無 回 答
全体(N=791)	8.7	38.8	46.3	6.2
年齢別				
29歳以下(n=98)	11.2	40.8	43.9	4.1
30歳代(n=123)	6.5	38.2	51.2	4.1
40歳代(n=133)	12.0	36.1	48.1	3.8
50歳代(n=194)	6.2	41.8	45.9	6.2
60歳代(n=148)	8.8	36.5	46.6	8.1
70歳以上(n=91)	9.9	37.4	40.7	12.1

問 29 用語の認知度(⑥LGBT)

	て内容 いる まで 知っ	と見 が聞 きあ るし たこ	知 ら な か つ た	無 回 答
全体(N=791)	21.2	45.0	28.1	5.7
年齢別				
29歳以下(n=98)	33.7	30.6	31.6	4.1
30歳代(n=123)	34.1	36.6	25.2	4.1
40歳代(n=133)	20.3	46.6	29.3	3.8
50歳代(n=194)	16.5	47.4	30.4	5.7
60歳代(n=148)	15.5	52.7	25.0	6.8
70歳以上(n=91)	11.0	51.6	26.4	11.0

問 29 用語の認知度(⑦さぬき市男女共同参画プラン)

	内容まで知 っている	見聞きしたこ とがある	知らなかつた	無回 答
全体(N=791)	3.9	37.8	52.5	5.8
年齢別				
29歳以下(n=98)	3.1	30.6	62.2	4.1
30歳代(n=123)	2.4	26.8	66.7	4.1
40歳代(n=133)	4.5	39.1	52.6	3.8
50歳代(n=194)	1.5	37.1	55.7	5.7
60歳代(n=148)	4.7	45.9	41.9	7.4
70歳以上(n=91)	9.9	46.2	33.0	11.0

問 30 さぬき市に期待する取組

	進を人 支侵権 援害を した守 たり 被た 害た 者 取を 組を を	のの 発活 行動 をを 充充 実実 させ る	パの ンフ レレ ット とや 情情 報報 紙紙	備条 例や 見直 し制 度な どの 整	を学 校で の男 女平 等教 育	を施 設の 男男 女女 平平 等教 育	で公 民館 など の社 会教 育	めで る DV や 虐 待 な ど の 相 問 題	を政 策決 定の 場 に 登 用 す る 女 性	市が 開催 する 会 議 な ど	めや 女性 を対 象と した 就 業	性職 場を 問わ ず勤 きや す	性性 化イ ア地 域活 動を 支 援・ 活	す 別を 問わ ず参 加し や
全体(N=791)	16.6	9.7	11.3	16.3	2.7	20.6	9.6	8.3	33.9	10.9				
性・年齢別														
【男性年齢別】(n=343)	22.2	11.4	14.3	17.2	2.6	22.4	9.9	3.8	27.7	11.1				
29歳以下(n=40)	35.0	7.5	20.0	12.5	2.5	27.5	7.5	7.5	32.5	10.0				
30歳代(n=57)	12.3	8.8	19.3	21.1	1.8	31.6	15.8	7.0	26.3	8.8				
40歳代(n=55)	21.8	9.1	21.8	18.2	0.0	18.2	12.7	1.8	29.1	9.1				
50歳代(n=76)	23.7	10.5	7.9	11.8	3.9	21.1	7.9	3.9	31.6	7.9				
60歳代(n=69)	20.3	18.8	11.6	18.8	2.9	20.3	7.2	2.9	23.2	15.9				
70歳以上(n=46)	23.9	10.9	8.7	21.7	4.3	17.4	8.7	0.0	23.9	15.2				
【女性年齢別】(n=444)	12.2	8.6	9.0	15.8	2.7	18.9	9.0	11.9	39.0	10.6				
29歳以下(n=58)	5.2	3.4	10.3	10.3	0.0	20.7	8.6	15.5	48.3	10.3				
30歳代(n=66)	7.6	3.0	10.6	12.1	3.0	21.2	7.6	18.2	33.3	9.1				
40歳代(n=78)	11.5	5.1	5.1	21.8	2.6	19.2	10.3	12.8	39.7	9.0				
50歳代(n=118)	16.1	11.0	10.2	14.4	1.7	17.8	9.3	15.3	39.0	11.0				
60歳代(n=79)	15.2	17.7	11.4	21.5	2.5	19.0	7.6	5.1	34.2	8.9				
70歳以上(n=45)	13.3	6.7	4.4	11.1	8.9	15.6	11.1	0.0	42.2	17.8				
年齢別														
29歳以下(n=98)	17.3	5.1	14.3	11.2	1.0	23.5	8.2	12.2	41.8	10.2				
30歳代(n=123)	9.8	5.7	14.6	16.3	2.4	26.0	11.4	13.0	30.1	8.9				
40歳代(n=133)	15.8	6.8	12.0	20.3	1.5	18.8	11.3	8.3	35.3	9.0				
50歳代(n=194)	19.1	10.8	9.3	13.4	2.6	19.1	8.8	10.8	36.1	9.8				
60歳代(n=148)	17.6	18.2	11.5	20.3	2.7	19.6	7.4	4.1	29.1	12.2				
70歳以上(n=91)	18.7	8.8	6.6	16.5	6.6	16.5	9.9	0.0	33.0	16.5				
未婚別														
未婚(n=189)	18.0	7.4	16.9	10.1	1.6	20.1	12.2	8.5	32.3	11.1				
既婚(n=598)	16.1	10.5	9.5	18.4	3.0	20.6	8.5	8.4	34.6	10.7				
共働き有無別														
共働き世帯(n=316)	13.9	7.3	9.2	18.4	2.2	20.3	7.9	11.1	38.9	8.9				
非共働き世帯(n=202)	19.3	15.8	8.4	20.3	4.5	22.3	8.9	4.5	28.7	11.9				

	る指男をどの外に健康にから加に育充子サ介高性Lす親非そ特無	す女進、交人応じだ、男、児や実育て	市共、多流やなどづくたと性、男やサ	民同参、文化や多様を涯とこ生の積家援サ	活参情報提様な進にの活生極活ス	動推の供なをわのたの参	支進の理なとるの特性	援を目解と				
全体(N=791)	6.7	3.8	7.6	12.9	29.1	32.2	2.5	14.3	1.1	3.5	4.7	
性・年齢別												
【男性年齢別】(n=343)	9.6	4.4	6.7	6.7	25.9	31.8	1.5	16.0	0.6	3.8	4.1	
29歳以下(n=40)	12.5	7.5	0.0	12.5	25.0	17.5	2.5	20.0	0.0	5.0	2.5	
30歳代(n=57)	5.3	10.5	7.0	12.3	36.8	19.3	5.3	17.5	0.0	1.8	1.8	
40歳代(n=55)	7.3	7.3	9.1	5.5	34.5	21.8	0.0	16.4	0.0	7.3	3.6	
50歳代(n=76)	5.3	1.3	6.6	5.3	26.3	38.2	1.3	18.4	1.3	3.9	2.6	
60歳代(n=69)	15.9	0.0	5.8	5.8	20.3	44.9	0.0	14.5	0.0	1.4	4.3	
70歳以上(n=46)	13.0	2.2	10.9	0.0	10.9	41.3	0.0	8.7	2.2	4.3	10.9	
【女性年齢別】(n=444)	4.5	3.4	8.3	17.6	31.8	32.4	3.4	13.1	1.6	3.2	5.2	
29歳以下(n=58)	1.7	6.9	3.4	17.2	36.2	25.9	5.2	8.6	1.7	5.2	3.4	
30歳代(n=66)	4.5	1.5	15.2	18.2	59.1	19.7	6.1	13.6	3.0	1.5	4.5	
40歳代(n=78)	3.8	6.4	6.4	17.9	39.7	38.5	7.7	14.1	1.3	2.6	2.6	
50歳代(n=118)	5.9	3.4	8.5	17.8	26.3	28.8	0.0	8.5	1.7	3.4	5.1	
60歳代(n=79)	5.1	1.3	7.6	16.5	17.7	40.5	1.3	16.5	0.0	2.5	7.6	
70歳以上(n=45)	4.4	0.0	8.9	17.8	11.1	44.4	2.2	22.2	2.2	4.4	8.9	
年齢別												
29歳以下(n=98)	6.1	7.1	2.0	15.3	31.6	22.4	4.1	13.3	1.0	5.1	3.1	
30歳代(n=123)	4.9	5.7	11.4	15.4	48.8	19.5	5.7	15.4	1.6	1.6	3.3	
40歳代(n=133)	5.3	6.8	7.5	12.8	37.6	31.6	4.5	15.0	0.8	4.5	3.0	
50歳代(n=194)	5.7	2.6	7.7	12.9	26.3	32.5	0.5	12.4	1.5	3.6	4.1	
60歳代(n=148)	10.1	0.7	6.8	11.5	18.9	42.6	0.7	15.5	0.0	2.0	6.1	
70歳以上(n=91)	8.8	1.1	9.9	8.8	11.0	42.9	1.1	15.4	2.2	4.4	9.9	
未婚別												
未婚(n=189)	6.3	6.9	6.9	9.5	27.0	31.2	4.2	17.5	0.5	5.3	4.2	
既婚(n=598)	6.9	2.8	7.9	13.9	29.9	32.4	2.0	13.4	1.3	2.8	4.8	
共働き有無別												
共働き世帯(n=316)	5.4	3.8	7.3	15.2	32.3	28.5	2.2	11.7	1.9	2.8	4.4	
非共働き世帯(n=202)	8.4	1.5	7.9	14.4	27.2	35.6	1.5	12.9	1.0	2.0	5.9	

資料2 調査票

第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画） 市民アンケート

～ご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。
さぬき市では、「自分らしく、ともにいきいきと生きることができるまち」の実現に向けて取り組んでいます。

このアンケートは、市民の皆様の男女共同参画に関する意識やご意見等をお伺いし、「第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）」の基礎資料とすることを目的に、18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人の方に回答をお願いするものです。

回答は、すべて統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することは一切ありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年8月

さぬき市長 **大山 茂樹**

記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で、記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して代筆してください。
- 2 この調査票に黒の鉛筆またはボールペンで記入してください。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。また、各設問文にある（○印1つ）（○印いくつでも）などの指示に従って記入してください。

お問い合わせ先

さぬき市総務部秘書広報課 男女共同参画・国際交流推進室

〒769-2195 さぬき市志度 5385 番地 8

電話 (087) 894-1660 メール danjokokusai@city.sanuki.lg.jp

**記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒に入れて（切手不要）
8月25日（金）までに投函してください。**

1 男性	2 女性
------	------

1	18～29 歳	2	30～39 歳	3	40～49 歳
4	50～59 歳	5	60～69 歳	6	70 歳以上

1 ひとり暮らし
2 夫婦二人暮らし
3 親と子（二世帯世帯）
4 祖父母と親と子（三世帯世帯）
5 その他（ ）

1 小学校入学前の子ども	5 介護を必要とする方
2 小学生・中学生の子ども	6 障害のある方
3 中学校卒業以上の未成年	7 いずれもない
4 65 歳以上の方	

1 結婚している

2 結婚していたが、離別・死別した ----- → 問7へお進みください

3 結婚していない ----- → 問7へお進みください

1 共働きしている 2 共働きしていない

問7 あなたの職業をお答えください。(○印1つ)

1 自営業主（農林水産業）	7 公務員・団体職員
2 家族従事者（農林水産業）	8 パート・アルバイト・派遣・内職など
3 自営業主（商工・サービス業）	9 家事専業
4 家族従事者（商工・サービス業）	10 学生
5 自由業（開業医・弁護士・芸術家など）	11 無職
6 正社員・正職員	12 その他（ ）

問8 あなたは、次の分野で、男女は平等になっていると思いますか。

①から⑧までの項目についてお答えください。(〇印1つずつ)

	男性の方が 非常に優遇されている	どちらかといえば男性 の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性 の方が優遇されている	女性の方が 非常に優遇されている	わからない
①家庭生活では	1	2	3	4	5	6
②職場では	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
④地域活動では	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念やしきたり・慣習では	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体としては	1	2	3	4	5	6

問9 あなたは、次の分野で、さぬき市の男女共同参画の取組に満足していますか。

①から⑦までの項目についてお答えください。（○印1つずつ）

	満足できる	やや満足できる	やや不満である	不満である
①雇用等での均等な機会と待遇の推進 （就労支援、結婚・妊娠しても働き続けられる環境づくり等）	1	2	3	4
②農山漁村における男女共同参画 （女性の能力を経営等に生かせる環境の整備等）	1	2	3	4
③子育て世代が安心して暮らせる支援 （児童虐待防止やひとり親世帯支援などの相談窓口の充実等）	1	2	3	4
④高齢者等が安心して暮らせる支援 （高齢者の健康・生きがいづくりや社会参画の支援等）	1	2	3	4
⑤ライフステージに応じた健康支援 （思春期や更年期の健康問題への対応、妊産婦の支援等）	1	2	3	4
⑥誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりの推進 （多言語による生活情報支援、学習の機会の提供等）	1	2	3	4
⑦国際交流や平和活動の推進 （民間国際交流活動の支援、平和啓発の推進等）	1	2	3	4

問10 あなたは、進路や職業を選ぶ時に、性別を意識しましたか。（○印1つ）

1 性別をかなり意識した 2 どちらかといえば性別を意識した 3 どちらかといえば性別を意識しなかった 4 性別をほとんど（全く）意識しなかった

問11 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。（○印1つ）

1 大変働きやすいと思う 2 ある程度は働きやすいと思う 3 あまり働きやすいとは思わない 4 働きやすいとは思わない 5 どちらともいえない 6 わからない
--

問 12 【女性の方におたずねします】

あなたは、結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目に、どのような働き方を選びましたか。過去の経験を含めてお答えください。（○印1つ）

- 1 勤務条件などを変えず、ずっと働いた（育児休業、介護休業等の取得を含む）
- 2 勤務条件などを変えて、ずっと働いた（フルタイム勤務からパートタイム勤務へ変更など）
- 3 結婚を機に仕事をやめた
- 4 妊娠を機に仕事をやめた
- 5 出産を機に仕事をやめた
- 6 家族の介護のために仕事をやめた
- 7 結婚や妊娠、出産等でいったん仕事をやめ、その後フルタイム勤務で働いた
- 8 結婚や妊娠、出産等でいったん仕事をやめ、その後パートタイム勤務で働いた
- 9 もともと働いていなかった
- 10 その他（ ）
- 11 該当しない

問 13 【問 12 で「3～8」と答えた方におたずねします】

仕事をやめた理由は何ですか。（○印いくつでも）

- 1 もともと仕事をやめたかったから
- 2 家事に十分な時間をかけたかったから
- 3 子育てに十分な時間をかけたかったから
- 4 職場の理解や育児休業などの制度がなかったから
- 5 家族や親族の理解や協力が得られなかったから
- 6 保育所など子どもを預かってくれる場所や介護施設などがなかったから
- 7 体力的に自信がなかったから
- 8 働く必要がなかったから
- 9 その他（ ）

問 14 【全ての方におたずねします】

あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。（○印1つ）

- 1 勤務条件などを変えず、ずっと働く（育児休業、介護休業等の取得を含む）
- 2 勤務条件などを変えて、ずっと働く（フルタイム勤務からパートタイム勤務へ変更など）
- 3 結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、その後フルタイム勤務で働く
- 4 結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、その後パートタイム勤務で働く
- 5 結婚や妊娠、出産を機に仕事をやめ、子育てに専念する
- 6 その他（ ）
- 7 女性は仕事をしないほうがよい

問 15 あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。（○印1つずつ）

	取得したことがある	取得したことがない	取得できなかったが、取得できなかった	取得する必要がなかった	制度がなかった
①育児休業 （原則として1歳に満たない子を養育するための休業制度）	1	2	3	4	5
②介護休業 （2週間以上の期間にわたり、常時介護を必要とする状態にある家族を介護するための休業制度（通算93日まで））	1	2	3	4	5

問 16 日常生活における「仕事」「家庭（家事・育児・介護を含む）」「プライベート（趣味や学習・地域活動・付き合いなど）」のバランスについて、①あなたの現実と②あなたの理想とする優先度をお答えください。（○印1つずつ）

	仕事を優先する	家庭を優先する	プライベートを優先する	仕事と家庭を優先する	仕事とプライベートを優先する	家庭とプライベートを優先する	仕事と家庭、プライベートの全てを優先する
①現実	1	2	3	4	5	6	7
②理想	1	2	3	4	5	6	7

問 17 あなたは、男女がともに働きやすい社会環境をつくるためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印3つまで）

1 男女で家事や育児、介護などに協力して取り組む 2 育児休業や介護休業などを誰もが利用しやすくする 3 保育サービスや介護サービスなどを充実させ、誰もが利用できるようにする 4 労働時間を短縮する 5 男女の雇用機会（採用、勤務条件など）を均等にする 6 職場での男女の昇進や賃金などの格差をなくす 7 パートタイム労働者や派遣労働者の労働条件を向上させる 8 職場でのハラスメント（いやがらせ）の防止に努める 9 性別にかかわらず、職業を選択できるようにする 10 女性が働くことへの理解が広まるよう啓発する 11 その他（ ） 12 すでに男女がともに働きやすい社会になっている
--

問 18 あなたは、次の①から⑧までの項目について、どのように思いますか。（○印1つずつ）

	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対
①「男は男らしく、女は女らしく」という価値観や考え方	1	2	3	4
②家事や育児は女性の仕事である	1	2	3	4
③女性は男性に従うべきだ	1	2	3	4
④結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4
⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである （「男は仕事、女は家庭」という考え方）	1	2	3	4
⑥結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
⑦男性は、もっと家事や育児、介護などの家庭生活に参加するべきである	1	2	3	4
⑧結婚しない人が増えたり晩婚化が進んだりしているのは、仕事と家庭生活の両立が難しいためである	1	2	3	4

問 19 あなたは、どのような子どもの育て方が望ましいと思いますか。（○印いくつでも）

- 1 男女の役割を固定せず、しつけや教育は区別しないで育てる
- 2 男女ともに、身の回りの家事ができるように育てる
- 3 男女ともに、社会人として自立できるように育てる
- 4 男女ともに、性に関する正しい知識と理解を身につけさせる
- 5 男は外で働き、女は家庭を守るように育てる
- 6 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる
- 7 男女に関わらず、子どもの個性に応じて育てる
- 8 その他（

）

問 20 【結婚している方（事実婚を含む）におたずねします（問5で「1」「2」と答えた人）】
 あなたの家庭では、①から⑥までの項目について、主に誰が担っていますか。
 過去の経験を含めてお答えください。（○印1つずつ）

現 実 【結婚している方】	主 に 夫	主 に 妻	協 力 し て 夫 婦 が	協 力 し て 家 族 が	主 に 子 ど も	そ の 他 の 人
①生活費を得る	1	2	3	4	5	6
②日常の家事（料理・掃除など）	1	2	3	4	5	6
③日常の家計の管理	1	2	3	4	5	6
④家族の介護や看護	1	2	3	4	5	6
⑤子育て（育児・しつけなど）	1	2	3	4	5	6
⑥地域活動（自治会など）	1	2	3	4	5	6

問 21 【全ての方におたずねします】
 あなたは、①から⑥までの項目について、主に誰が担うのが理想だと思いますか。
 （○印1つずつ）

理 想 【全ての方】	主 に 夫	主 に 妻	協 力 し て 夫 婦 が	協 力 し て 家 族 が	主 に 子 ど も	そ の 他 の 人
①生活費を得る	1	2	3	4	5	6
②日常の家事（料理・掃除など）	1	2	3	4	5	6
③日常の家計の管理	1	2	3	4	5	6
④家族の介護や看護	1	2	3	4	5	6
⑤子育て（育児・しつけなど）	1	2	3	4	5	6
⑥地域活動（自治会など）	1	2	3	4	5	6

問 22 あなたは、次の地域活動に参加していますか。（○印いくつでも）

- 1 自治会、婦人会、老人会など
- 2 P T A、子ども会など
- 3 趣味や教養、スポーツ、レクリエーションなど
- 4 リサイクル、環境保護、まちづくりなど
- 5 福祉・ボランティア・N P O活動など
- 6 防災・防犯活動など
- 7 ホームステイ受入れや海外ボランティアなどの国際交流活動
- 8 行政の各種委員会や審議会の委員などの公的活動
- 9 その他（
- 10 特に参加していない →問 23 へお進みください

問 23 【問 22 で「10」と答えた方におたずねします】

「特に参加していない」理由を教えてください。（○印いくつでも）

- 1 忙しくて時間がない
- 2 参加したいが、家族の理解がない
- 3 一緒に参加する人（顔見知りなど）がいない
- 4 意見を発言しにくい（意見を取り上げられにくい）
- 5 人間関係がわずらわしい
- 6 役員や世話人になりたくない
- 7 参加するきっかけがない
- 8 必要性を感じない
- 9 地域活動に関する情報がない
- 10 地域活動が衰退している
- 11 その他（

問 24 【全ての方におたずねします】

防災・災害復興対策において、女性の視点が必要とされています。どのような取組や活動において、より女性の活躍が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- 1 防災訓練などへの参加
- 2 防災講座や防災研修など、防災知識の習得の場への参加
- 3 地域の自主防災組織への積極的な参画
- 4 避難所機能の充実に向けた検討
- 5 避難所運営マニュアルの作成
- 6 避難所の運営における女性リーダーの配置
- 7 防災会議への女性委員の登用
- 8 女性消防団員の確保・育成
- 9 災害時ボランティアへの参加
- 10 その他（
- 11 現在のままで十分である

問 25 あなたは、次の①から⑤までの項目について経験したり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。（○印それぞれいくつでも）

※用語の解説は、12 ページをご覧ください。

	自分が暴力等を ふるったことがある	自分が暴力等を 受けたことがある	自分のまわりに暴力等を ふるった人がいる	自分のまわりに暴力等を 受けた人がいる	暴力等の被害について 相談を受けたことがある	一般的な知識として 知っている	言葉として見聞きした ことがある	知らなかった
①セクシュアルハラスメント （セクハラ）	1	2	3	4	5	6	7	8
②パワーハラスメント （パワハラ）	1	2	3	4	5	6	7	8
③マタニティハラスメント （マタハラ）	1	2	3	4	5	6	7	8
④パタニティハラスメント （パタハラ）	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ドメスティック・バイオレンス （DV）	1	2	3	4	5	6	7	8

問 26 【問 25 ⑤「DV」について「1～5」と答えた方におたずねします】

あなたは、経験したことや見聞きしたことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
（○印いくつでも）

1 警察に相談した 2 法務局（人権相談窓口、人権擁護委員等）に相談した 3 女性相談所（女性相談員）に相談した 4 市（相談窓口や民生児童委員等）に相談した 5 民間の機関（弁護士会や市民グループ等）に相談した 6 医師やカウンセラーなどに相談した 7 家族に相談した 8 友人、知人に相談した 9 その他（ ） 10 どこ（だれ）にも相談しなかった → 問 27 へお進みください
--

問 27 【問 26 で「10」と答えた方におたずねします】

あなたが「どこ（だれ）にも相談しなかった」のは、なぜですか。（○印いくつでも）

- 1 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 2 そのことについて思い出したくなかったから
- 3 仕返しなど、もっとひどいことをされと思ったから
- 4 自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから
- 5 自分にも悪いところがあると思ったから
- 6 他人を巻き込みたくなかったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 どこ（だれ）に相談してよいか、わからなかったから
- 9 相談しても無駄だと思ったから
- 10 相談窓口の対応が悪く、不快な思いをと思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他（ ）

問 28 【全ての方におたずねします】

あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）に対する対策や支援として、どのような取組が必要だと思いますか。（○印3つまで）

- 1 DVに関する広報・啓発活動の積極的な実施
- 2 家庭や地域での暴力を防止するための学習等の場の充実
- 3 学校での暴力を防止するための学習等の場の充実
- 4 被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実
- 5 被害者のカウンセリングなど、精神的な援助の充実
- 6 被害者の一時保護を行う緊急避難場所（シェルター）などの整備
- 7 被害者家庭の子どもへのサポートの充実
- 8 加害者の更生に向けた対策やサポートの充実
- 9 メディア・リテラシー*教育の充実
- 10 その他（ ）

※メディア・リテラシーとは

テレビ番組や新聞記事などメディアからのメッセージを正しく読み解く能力。

用語解説

セクシュアルハラスメント（セクハラ）とは

- 職場などにおいて、相手の望まない性的な言動のこと（性的嫌がらせ）。
- 相手は異性だけに限らず、同性同士でもセクハラは起こりえます。

パワーハラスメント（パワハラ）とは

- 職場などにおいて、職務上の地位や人間関係などといった権力（パワー）を利用して、精神的・身体的苦痛を与える行為や職場環境を悪化させる嫌がらせ行為のこと。
- 業務上必要な指示や注意・指導などは、パワハラには当たりません。
- 上司と部下の関係だけに限らず、同僚の関係でもパワハラは起こりえます。

マタニティハラスメント（マタハラ）とは

- 職場などにおいて、働く女性が妊娠や出産を理由に精神的・肉体的な苦痛を受ける嫌がらせ行為のこと。
- 妊娠や出産を理由とした解雇、雇用契約の変更、雇止めなどもマタハラに当たります。
- 相手は異性だけに限らず、同性同士でもマタハラは起こりえます。

パタニティハラスメント（パタハラ）とは

- 職場などにおいて、働く男性が育児を理由に精神的・肉体的な苦痛を受ける嫌がらせ行為のこと。妊娠した女性を意味する「マタニティ」に対し、父性を意味する「パタニティ」からつくられた言葉。
- 男性の育児休業や時短勤務などの申請を断ることはパタハラに当たります。
- 上司と部下の関係だけに限らず、同僚の関係でもパタハラは起こりえます。

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

- 夫婦や恋人などの親密な関係にある（あった）パートナーからふるわれる暴力のこと。
（夫婦には、婚姻届を出していない事実婚や同性婚を含む。）
- ①身体的暴力（殴る、蹴る、首を絞める、髪を引っ張る など）
- ②精神的暴力（大声で怒鳴る、無視する、大切にしているものを壊す など）
- ③経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを邪魔する など）
- ④性的暴力（性行為を強要する、避妊に協力しない、妊娠中絶を強要する など）
- ⑤社会的隔離（勝手にメールなどを見る、家族や友人との付き合いを制限する など）
- ⑥子どもを巻き込んだ暴力（子どもに暴力を見せる、子どもの前でパートナーをバカにする など）

資料：厚生労働省ホームページ内資料他より作成

問 29 あなたは、次の用語の意味を知っていますか。（○印1つずつ）

	知っている 内容まで	見聞きした ことがある	知らなかった
①男女共同参画社会 性別にかかわらず、一人ひとりの個性を尊重し、個人の能力を十分に発揮することができる社会のこと。	1	2	3
②ジェンダー しきたりや慣習など、社会的、文化的につくられた「男らしさ」「女らしさ」という性別に関する意識。	1	2	3
③ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） 「仕事」と「仕事以外の生活（育児や介護、趣味、学習、地域活動等）」とのバランスを取り、その両方を充実させる働き方、生き方のこと。	1	2	3
④男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律） 職場における男女の差別を禁止し、募集、採用、配置・昇進、教育訓練、解雇などの面で平等に扱うことを定めた法律。	1	2	3
⑤女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律） 働く場面で活躍したい全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するため、事業主に数値目標を盛り込んだ行動計画の策定や情報の公表などを義務付けた法律。 （常時雇用する労働者が300人以下の民間企業等は努力義務）	1	2	3

続く



	知っている 内容まで	見聞きした ことがある	知らなかった								
⑥LGBT 次の4つの頭文字から表現した言葉で、性の多様性を表す。 「セクシュアルマイノリティ」とも呼ばれ、L、G、B、T 以外の人たちもいる。 <table><tr><td>L（レズビアン）</td><td>女性の同性愛者</td></tr><tr><td>G（ゲイ）</td><td>男性の同性愛者</td></tr><tr><td>B（バイセクシュアル）</td><td>両性愛者</td></tr><tr><td>T（トランスジェンダー）</td><td>からだところの性が 一致しない人</td></tr></table>	L（レズビアン）	女性の同性愛者	G（ゲイ）	男性の同性愛者	B（バイセクシュアル）	両性愛者	T（トランスジェンダー）	からだところの性が 一致しない人	1	2	3
L（レズビアン）	女性の同性愛者										
G（ゲイ）	男性の同性愛者										
B（バイセクシュアル）	両性愛者										
T（トランスジェンダー）	からだところの性が 一致しない人										
⑦さぬき市男女共同参画プラン 男女があらゆる場面において共に参画し、活躍できる社会の 実現を目指すことを目的とした、総合的な取組指針をまとめた 市の計画。	1	2	3								

問 30 あなたは、男女共同参画を積極的に進めるために、さぬき市にどのようなことを期待しますか。
(○印3つまで)

- 1 人権を守ったり、人権を侵害された被害者を支援したりする取組を進める
- 2 パンフレットや情報紙の発行など、広報・啓発活動を充実させる
- 3 条例や制度などの整備・見直しを進める
- 4 学校での男女平等教育を充実する
- 5 公民館などの社会教育施設での男女平等教育を充実する
- 6 DVや虐待などの問題について、気軽に相談できる体制づくりを進める
- 7 市が開催する会議など政策決定の場に、女性を積極的に登用する
- 8 女性を対象とした就業やステップアップのための取組を進める
- 9 性別を問わず働きやすい職場をつくるため、企業などへの支援・啓発を強める
- 10 性別を問わず参加しやすい地域活動やボランティア活動を支援・活性化させる
- 11 男女共同参画推進を目指す市民活動を支援する
- 12 外国人など多様な人との交流や情報提供など、多文化共生の理解を進める
- 13 からだとところの特性に応じた生涯にわたる健康づくりを進める
- 14 育児や家庭生活などに、男性の積極的な参加を促す
- 15 子育て支援サービスを充実させる
- 16 高齢者や障害者などの介護・介助を支援するサービスを充実させる
- 17 L G B Tなどの多様な性を認める意識づくりを啓発する
- 18 非正規労働者やひとり親など、生活上の困難に直面する家庭を支援する
- 19 その他（）
- 20 特にない

問 31 男女共同参画についてのご意見・ご要望など、どのようなことでも自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

「第2次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）」
男女共同参画に関する意識調査報告書
【市民アンケート】

発 行／平成30年（2018年）1月
発 行 者／香川県 さぬき市
問 合 せ 先／さぬき市 総務部 秘書広報課 男女共同参画・国際交流推進室
〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8
TEL（087）894-1660
FAX（087）894-4440
E - Mail／danjokokusai@city.sanuki.lg.jp
